

山辺郡山添村大字西波多

古文書調査報告書  
中西家文書目録・解題

2025.6

山添村教育委員会  
奈良大学文学部史学科

## 序 文

奈良県山辺郡山添村大字西波多（上津）に所在する中西家に伝わる古文書群は、近世から近現代にかけての地域の歴史を多面的に物語る貴重な史料です。二〇二一年度から二〇二三年度にかけて、山添村教育委員会と奈良大学文学部史学科研究チームが協力して本格的な調査を行い、総点数五〇〇〇点を超える文書を確認しました。

中西家は近世においては旗本奥田氏の地役人や上津村庄屋を務め、近代には村長や県会議員として公職に就くなど、常に地域の政治的中枢に位置してきた家系です。特に御用金の調達に関する史料は、当時の領主支配の実態を具体的に示しており、全国的にも注目すべき内容といえます。

史料の年代は享保一五年（一七三〇）から平成二四年（二〇一二）に及び、長期間にわたる地域史の基層を成すものです。また、中西家文書の全体の様子を見ると、庄屋として村の自治を主導してきたというより、庄屋の上に立って奥田氏領地の自治に関与し、地域における中西家の特異な位置づけも浮かび上がります。

本書が広く活用され、地域史および日本近世・近代史研究の一助となることを願ってやみません。調査と刊行に際しご協力を賜った関係各位に深く感謝申し上げます。

二〇二五年六月三〇日

山添村教育委員会

教育長 池住 寿弘



## 例言

- 一、本書は、奈良県山辺郡山添村大字西波多（上津）の中西家で保存されてきた中西家文書の調査報告書である。
- 一、本調査は、山添村教育委員会と奈良大学文学部史学科研究チーム（教員・学生・院生）が、文化財保護を目的に共同で実施したものであり、奈良大学特別研究地域課題解決型プロジェクト共同研究「奈良県山添村教育委員会との共同事業としての同村所在の歴史資料の調査と保全」（二〇二〇年度）の研究成果の一部である。
- 一、調査は、二〇二一～二三年度に実施した。調査体制は、以下の通りである。

山添村教育委員会 教育長 池住寿弘

事務局長 上脇 力（二〇二一） 馬場宏樹（二〇二二） 菊岡啓典（二〇二三）

主 査 向井一俊

主事補 吉住春樹（二〇二三）

奈良大学文学部史学科研究チーム（順不同） 井岡康時 河内将芳 木下光生 外岡慎一郎 村上紀夫 森川正則

荒木かなう 安樂智帆 石川ひかる 市橋葉香 伊藤央貴 内海遙花 上床風雅 大関栄治 大谷風咲

大向大晴 奥野夏妃 甲斐夏輝 笠原優歌 勝木美桜 川合瑞穂 川北翔太 河津紗希 九内陸斗 久保田源規

小出磨奈 紺野佑介 柴尚玖 柴野優太 神内悠里 千徳ことり 高平祐利 竹下優花 千代森健人

津田ありさ 都築海月 飛岡健 富永音羽 戸谷光希 豊田美結 中井榛菜 中島愛彩 中西栄美 長野晃久

中村知尋 中山みゆる 奈須あいか 仁科脩太 西村美香 二ノ宮由大 濱松里美 坂東佑真 福森楓

藤本卓磨 古村優花 部屋裕俊 増岡大勢 松原萌恵 松藤拓也 宮崎太郎 村山祐一郎 矢田晴紀 山口由麻

山口莉穂 山崎晴人 山下慈英 米川慧

- 一、本調査では、以下の関係者からご協力を得た（敬称略）。

中西達成

- 一、本書は、文書目録と解題で構成される。目録の記載は、箱番、文書番号、文書名、作成年月日、差出人、宛先、形態、備考、の順であり、次の内容分類ごとに、作成年月日順に配列した。ただし、一括の関係で、年月日が前後している箇所もある。

近世 支配・行財政／近世 村政／近現代 村政・行財政／戸口／土地・山林・家屋・土木／金融・売買／産業・組合／宗教／教育・文化・婦人会・青年団／軍事／家 経営・相続／家 教育・文化／家 中西檜治郎／その他

- 一、箱番および文書番号は、文書整理時に便宜的につけた通し番号である。

- 一、文書名は、原則として文書の原題をとり、（ ）内に内容を補足した。原題がない場合は、〔 〕内に適宜文書名をつけた。

- 一、推測した作成年月日には、（ ）を付した。

- 一、本書全体の編集は山添村教育委員会が担当し、目録の編集および解題の執筆は奈良大学文学部史学科研究チームの木下光生が担当した。

## 解題

中西家文書は、近世では大和国山辺郡上津村の領主・旗本奥田氏に仕える「地役人」や同村の庄屋を務め、近代では波多野村の収入役、村会議員、村長、および奈良県会議員、議長、そして戦後は山添村の村会議議員などを歴任した、中西家で長年保存されてきた文書群である。文書類は当初、木箱など諸種の容器に収められていたので、その一括状況を崩さぬよう専用の文書箱に移し替え、整理した結果、箱番は一七、文書カードの総点数は二三五一点におよんだ。

調査は、『山添村文化財調査報告第二集 山辺郡山添村大字広瀬古文書調査報告書 広瀬区有文書目録・解題』（山添村教育委員会、二〇二一年）で示したのと同様、史料一点一点についてカードをとることを基本方針とした。ただし、領収証の束や、諸種の文書を綴じた簿冊、あるいは複数の文書を収めた袋や封筒など、調査時間の関係で一点目録をとることができず、致し方なく一括ないし仮綴扱いにしたものも少なくない。また、同じく調査時間の都合上、箱8以降には、点数のみを数えて未整理のままとせざるを得なかった文書が、計三〇一三点もある（箱8・四一五点、箱9・三四九点、箱11・一二五五点、箱13・四五七点、箱14・三二六六点、箱16・八五五点、箱17・二三六六六点）。したがって、カード点数は二三五一点であるものの、実際の総点数は最低でも五三六四四点あり、一括や仮綴などを含めると、さらに多くの史料が残されていることになる。

史料の作成年代は、実年代が不明な天正一三年（一五八五）の「大和国波多の由来記写」（教育3・484）を除くと、享保一五年（一七三〇）～平成二四年（二〇一二）の二八二年間におよび、一六五〇～一六〇年代作成と推測される年未詳の「奥田忠虎由緒書」（近世支配1-1）を含めると、約三五〇年間に至る。ただし、文書群全体からみれば、享保年間の史料（土地3・15）も、平成年間の史料（家教育12・30）もやや浮いており、大半は一九世紀前半～昭和四〇年代の文書で占められる。

現当主の中西達成氏によれば、近世後期以降の歴代当主は、源太夫、喜平治（源太夫子）、喜市郎（喜平治子）、楢治郎（喜市郎子）、喜久雄（楢治郎子）、喜正（喜久雄子）、達成（喜久雄弟武之助子）、と続くという。近世後期の源太夫については、その名を確認できる史料上の上限は天保八年（一八三七）（近世支配10・164）であり、残された文書の宛先などから判断するに、源太夫の先代は喜左衛門と考えられる。嘉永元・七年（一八四八・五四）では、中西源太夫と中西喜左衛門は、文書の宛先としても差出人としても並び立つことがあり、差出人とし

て連署するときは同一の判子を用いているので、おそらく喜左衛門と源太夫は親子関係にあるのであろう（近世支配10・141・163）。

なお、喜左衛門、喜平治、喜市郎、喜久雄、喜正と、中西家では「喜」の字を歴代当主の通字にする傾向があったことからすると、享保一五年（一七三〇）～天明二年（一七八二）に上津村庄屋として登場する喜七郎も気になるところだが（土地3・15～18）、喜七郎の判子は、上津村庄屋として類出する喜兵衛のそれと酷似しており（土地3・18、近世村政3・14など）、前述の中西源太夫・喜左衛門の判子とも異なっていて、かつ、喜兵衛とは藤田喜兵衛のことを指す可能性が高いので（近世支配10・121・146）、喜七郎も喜兵衛も別の家の者であろう。このほか、嘉永五年（一八五二）には中西政助が上津村庄屋となっているが（近世村政3・81）、これも同時期の中西喜左衛門・源太夫との関係は不明である。以下、内容分類ごとに、中西家文書の特徴を紹介していきたい。

### 【近世 支配・行財政】

近世の上津村は、知行高三千三百石の旗本奥田氏が領主となっていた。『寛政重修諸家譜』によれば、初代忠高が慶長五年（一六〇〇）の関ヶ原合戦後、徳川家康より大和国山辺郡などで二千八百石を拝領し、天和二年（一六八二）、五代忠信のときに五百石を増増されたという。三千三百石のうち二千石は、大和国山辺郡の上津、下津、大西、春日、広代、中之庄、中峯山、吉田の八カ村に宛がわれ（『波多野村史』一九六二年、二五七ページ）、後述する奥田氏の「地役人」たちが弘化二年（一八四五）、山辺郡大塩村勇助に宛てた借銀証文でも、元銀と利足は「八ヶ村」の蔵米から返済されることとなっている（10・148）。

中西家は、奥田氏と早くから特別な関係を築いていたようで、一六五〇～一六〇年代に中西家側で作成されたと推測される「奥田忠虎由緒書」（1-1）もその一端を示す。同由緒書は、奥田氏四代の忠虎が三歳で跡目を相続するまでの（『寛政重修諸家譜』では寛永一四年（一六三七）とする）、「家祖」忠高、二代忠次、三代忠一の事績を綴るもので、とりわけ慶長二〇年（一六一五）五月六日、大坂夏の陣における河内国分での戦いで後藤又兵衛軍と交戦し「討死」した忠次の記述が大半を占める。その忠次に付き従った家臣の一人が中西源大（太）夫であり、「たぶん後藤又兵衛にて可有御座と存」せられる「敵之内、大将と覺敷者」を、「十匁筒」にて「うちたおし」という。この初代源太夫は、中西家の「家祖」とされ、大正五年（一九一六）一月二日には「家祖中西源太夫三百年祭法会」が執り行われている（家教育10・54）。『波多野村史』一〇二ページに

よれば、源太夫が七五歳であった慶安元年（一六四八）に、自作の木造肖像を上津村の阿弥陀寺に納めたというから、それに従えば、大坂夏の陣で戦果を挙げたときは四二歳、ということになる。したがって大正五年の三百年祭も、初代源太夫の生年や没年ではなく、由緒書に記される大坂夏の陣での活躍を起点としたものだといえよう。

初代源太夫以降、一七〇一八世紀における中西家の歴代当主が、奥田氏とどのような関係にあったのかは不明だが、遅くとも一九世紀前半には、百姓身分の村人でありながら、同時に奥田氏家臣の一員として、普段は江戸に住む主人の奥田氏に代わって、山辺郡知行所八カ村の支配・行政を現場で担っていたようだ。近世後期の中西源太夫は天保一四年（一八四三）、藤井佐蔵、大久保平次、吉住栄次郎、吉住猪兵衛と連名で、中峯山村と中之庄村の庄屋・年寄宛に文書を発給しており（10・123・136）、そのうち藤井佐蔵、吉住栄次郎、吉住猪兵衛は嘉永元年（一八四八）、「地頭役所」の「地役人」を名乗っている（10・141）、中西源太夫も地役人の一員であったと考えられる（後述する寺社名目金の借り入れでは、「掛所」とも名乗る）。また年未詳であるものの、源太夫の父と推測される中西喜左衛門は、「御勝手方其外共御用向」、すなわち財政管理を中心とする領主御用を勤めるよう奥田氏から申し付けられており、高金二両と老人扶持を宛がわれて、まがりなりにも家臣＝武士として、奥田氏と主従関係を結んでいた（2・24）。天保一四年に上津村が幕府公金を借り入れた際も、中西源太夫は「奥田主馬内」として奥印を認めている（近世村政10・149）。中西家に甲冑一式が現存しているのも、「武士としての中西家」を指し示しているよう（写真参照）。なお、先述した弘化二年（一八四五）の大塩村勇助宛借銀証文（10・148）で中西源太夫、吉住猪兵衛と連署する川上直右衛門は、文政元年（一八一八）以降、奥田氏の「代官」となり、江戸末期の火災を契機に、奥田氏の陣屋を春日村から大西村へ移したという（『波多野村史』二六〇（二六一ページ））。

中西家が、御勝手方をあずかる地役人として、おそらく奥田氏と上津村からもっとも期待されていたのは、資金提供（ないしその取り次ぎや管理）者としての役割であったろう。奥田氏は資金繰りが悪くなると、「御用金」や「御用達銀」などといった名目で、通常の年貢以外の追加負担を



（写真参照）。なお、先述した弘化二年（一八四五）の大塩村勇助宛借銀証文（10・148）で中西源太夫、

たびたび知行所村々へ要求していたようで（多くは、村全体ないし個別の村人からの借金という体裁をとる）、奥田氏から要請されたカネを工面するため、上津村ではしばしば、「村支配」の「絶人地」（村全体で管理する破産世帯の田畑）を中西家に売り払っていた。文久二年（一八六二）には「御殿様御官位御用金御入用銀」、すなわち奥田氏の官位昇進にあたって必要となった経費が村々へ課された際、その用意に差し詰まった上津村では、「村中」で管理する「荒畑」を喜左衛門に売り渡すことで、当該入用銀を工面している（3・100）。また天保四年（一八三三）、「御殿様」の奥田氏が江戸城の「清水御門御勤」を幕府から命じられ、新たな任務に要する経費が「御用金」名目で奥田氏から村々へ課されたときも、上津村は喜左衛門へ「村支配」の「荒畑」を売り払い、その売却代金を御用金に充てた（3・31）。さらに嘉永七年（一八五四）、「御殿様」の「御役進」を祝する「御祝銀」についても、上津村は喜左衛門へ「村支配」の畑を売り渡して、御祝銀を調達した（3・83）。加えて天保一一年（一八四〇）、「御上様御大借」の「練替」が上津村へ仰せ付けられたときも（奥田氏が抱えた借金の肩代わりとその借り換えを、知行所村々へ押し付けたのであろう）、やはり「村支配」の畑が中西源太夫に売り払われている（3・49・50）。このときは、村側が借り入れていた「紀州様元入金」、すなわち紀州徳川家が運用する紀州家名目金も活用されていたようだ（大和国では、安政五年（一八五八）に確認できる「南都紀州御屋鋪」内の「紀州様御用途御貸附所」が拠点となっていたのである（「金融3・4・5」）。各種負担を奥田氏に納める（強制的に貸し付けさせられる）責任は村にあったが、実際の資金源は中西家にあった、ということであろう。

一方、知行所村々を経由せず、中西家から直接、奥田氏へ資金が融通される場合もあった。嘉永元年（一八四八）、中西源太夫と中西喜左衛門は、地頭役所が借り入れた「紀州名目」（紀州家名目金）と「紀州三山名目」（熊野三山名目金）の総計銀二九貫目について、奥田氏に代わって返済を引き受け、利足は上津村の「御物成上納銀」（年貢銀）から「直二相渡」されることとなった（10・141）。また年未詳ながら、「御殿向御修覆」（奥田氏の江戸屋敷修復工事）のため、「御用達金」一〇〇両を用意した中西源太夫は、その工事が無事「出来」（竣工）したことに「御満足」した奥田氏から、褒美として毎年玄米一石の「利米」にあずかっている（3・152）。褒美が「利米」なのだから、この御用達金一〇〇両は事実上、中西家からの借金であったのだらう。さらに天保九年（一八三八）、江戸に住む「奥田外記様」から依頼された「下シ金」の調達に差し支えたため、中西源太夫は梅田伝左衛門なる人物からわざわざ金二五両を借用している（3・

46)。知行所村々を介する場合であれ、直接提供の形であれ、自己資本を元手に奥田氏の領主財政を支える中西家の姿が浮かび上がってこよう。

このほか中西家文書には、「相渡置書付之事」や「証文之事」という表題のもと、奥田氏が天保一四年（一八四三）（慶応元年（一八六五）に、中西家以外の上津村住民や、上津村以外の知行所内外の村々から、「江戸表御普請御入用金」「御仕法之頼母子、此度割戻御入用」「御仕法ニ付増銀上納」などといった名目で借金をし、利足銀や利米については知行所村々の庄屋から——領民についてはおそらく年貢と相殺する形で——直接受け取るよう指示する文書も多く残されている（10・114・120・123・136・138など）（広代村の庄屋・年寄へも天保三年（一八三二）、「江戸表御入用金」を借り入れる旨の「相渡置書付之事」が、奥田氏役所から発給されている（『波多野村史』三三二～三三三ページ）。これらの文書は、中西家が直接資金源になっていたからではなく、奥田氏の御勝手方をあずかる地役人として、領主財政を管理する業務の一環で中西家に残されたのであろう（地頭役所として借金を完済した結果、証文が銀主から役所へ戻され、地役人を代表して中西家がそれを保管したのであろう）。嘉永六年（一八五三）、大西村の住人が、河内国石川郡山田村（大阪府太子町）の村人から借金をする際、大西村の庄屋・年寄らが中西喜左衛門へ奥印を依頼しに来ているのも（金融3・79）、喜左衛門が地役人の一員であったからに違いない。なお、山辺郡知行所八カ村の「御払米」（年貢米の換金）は、南都町人が引き受けていたことが、嘉永五年（一八五二）の史料から確認できる（10・159）。

### 【近世 村政】

中西家の歴代当主、および中西姓を冠する人物のなかで、上津村の庄屋を務めていたことが確認されるのは、年未詳および明治四年（一八七一）の喜左衛門（3・180、土地3・120）、明治五年（一八七二）一二月の中西喜平次（治）（金融8・159）（庄屋役が廃止されるのは明治五年四月だが、現場ではなお一二月まで通用していたのであろう）、嘉永五年（一八五二）の中西政助（3・81）の三人である。したがって中西家も、「庄屋の家」であったと一応言えようが、一方で中西家文書には、通常の庄屋文書であればよく見かける年貢免定や宗門改帳、村入用帳、村明細帳といった、典型的な近世の村方文書が——総点数が五千点を優に超えながらも——ほとんど残されていない。「もともととはあったけれども、長い年月のなかで処分された」、あるいは「庄屋を代々務めてきたけれども、村方文書は家文書とは別に、持ち回りの区有文書として村側で管理・保管されてき

た」可能性ももちろんある。だが、中西家文書全体の様子から判断するに、おそらく中西家は、庄屋を代々受け継いで村落自治を主導してきたと言うよりも、地役人として庄屋のもう一段上に立ち、いわゆる大庄屋ないし在地代官的な立場にて、上津村を含む奥田氏領村々の自治に関与していたのではないかと思われる。典型的な近世の村方文書が中西家文書のなかに「見られない」こと自体に、中西家の歴史的品格があらわされているのではないか、ということである。

そうしたなか、近世上津村の村政と中西家の関係で興味深いのは、両者のつながりを示す文化八年（一八一）～文久四年（一八六四）における史料の多くが、【近世 支配・行財政】で指摘した奥田氏御用金と同じく、毎年の「当冬出シ物銀」を工面するために、上津村が「村支配」の「絶人地」を中西家に売り払ったときの売券で占められている点である（3・11・99など）。ここでいう「当冬出シ物銀」とはおそらく、領主の奥田氏に毎年納める年貢銀を指すと思われる。本来ならば個別世帯で年貢を負担すべきところ、当該世帯が破産して「絶人」となってしまうがために、年貢村請の原理——近世では、領主に対する納税責任は、「個人」ではなく「村」にあった——に規定されて、今度は村全体で「絶人地」となった田畑、山林、屋敷地を管理し、年貢を肩代わりせねばならなくなり、それに耐えきれなくなった村側が、その負担を少しでも和らげるために、中西家に絶人地を買い取ってもらったのであろう。上津村にとって中西家は、奥田氏からたびたび押し付けられる借金の肩代わりや御用金などの追加負担を凌ぐための資金源であったばかりでなく、当時、大和国内の多くの村々が頭を悩ませていた村支配地——「中地」とも呼ばれた村惣作地（谷山正道『近世民衆運動の展開』高科書店、一九九四年）——の処分先ともなっていたわけである。

後段の【土地・山林・家屋・土木】にみられる個別の村人からの土地購入とも関わって、右のような村有地の買い取りは、中西家からしてみれば、一面では「地主経営の拡大」にもつながっていたであろう。だが、その買い付け地は、御用金の場合であれ、「当冬出シ物銀」の場合であれ、生産性のあまり見込めない「荒畑」であったことが少なくなかった（近世支配3・31、近世村政3・30など）。それをふまえると、中西家にとつて絶人地の購入は、地主経営の拡大のために積極的におこなっていたというよりも、奥田氏の御勝手方をあずかる地役人として、領主財政を安定させる責を負い、そのためには知行所村々にも安定してもらおう必要のあった立场上、たとえ自家経営的には採算に見合わずとも、それを度外視して無理に村支配地を買い取っていた（買わされていた）、というのが実情であつたらう。

## 〔近代 村政・行財政〕

〔近世 村政〕で述べたように、村落自治に対する中西家の関与は、一般的な庄屋の家と比べると、近世段階ではやや稀薄であった。だが近代に入ると、中西家の歴代当主が上津村の戸長〔3・265〕や西波多村の惣代〔3・335〕（上津村と下津村は明治八年〔一八七五〕に合併して西波多村を結成）、大字西波多の惣代・区長〔10・18、5・104など〕、波多野村の村会議員〔11・37など〕、収入役〔5・119、家楯治郎7・126など〕、村長、そして戦後の波多野村・山添村の村議会議員〔4・331・322など〕を歴任することもあって、旧近世村々大字の自治、および明治二年（一八八八）の町村制と、その後継法たる昭和二年（一九四七）の地方自治法にもとづいて設置される波多野村と山添村の行財政関連史料が多く残されることとなる。『波多野村史』三八三〜三八七・四〇八〜四一五ページによれば、明治二年（一八八九）〜昭和三年（一九六一）に村長、村会・村議会議員に就いた中西家の歴代当主は、以下の通りである。

〔波多野村長〕

中西楯治郎 明治三九〜四〇年（一九〇六〜〇七）  
大正八〜十二年（一九一九〜二三）

〔波多野村会議員〕

中西喜市郎 明治二二〜二八年（一八八九〜九五）  
中西楯治郎 大正二〜六年（一九一三〜一七）  
中西喜久雄 昭和八〜十二年（一九三三〜四七）

〔波多野村・山添村議会議員〕

中西喜正 昭和三〇〜三六年（一九五五〜六一）  
中西家文書でも、中西喜正の昭和三〇年（一九五五）四月三日付波多野村議会議員当選証書〔4・331〕や、昭和三年（一九五七）九月二日付山添村議会議員当選証書〔4・322〕が残されている。また、喜正のあとを継いだ現当主の中西達成氏も、二世紀初頭に山添村議会議員を務めている。

多種多様な自治関連史料のうち、明治七年（一八七四）「癸酉年諸入費帳控」

「当酉年一ヶ年中小入用帳」〔3・265・408〕、明治四年（一八九一）「大字費徴収簿」〔10・7〕、昭和四年（一九二九）「大字費徴収帳」〔5・117・118〕、昭和三年（一九五九）「大字費歳入歳出予算書」〔4・369〕などを比較検討すれば、近世が終わった直後の一八七〇年代から、高度経済成長に突入する一九五〇年代までの八〇年間で、旧近世村々大字の自治に要する経費とその徴収方法が、どのように変化し、ないしはしなかったのが明らかとなろう。

明治二〇年（一八八七）三月公布の所得税法にもとづいて導入される国税の所得税に関する史料も、同年以降、複数確認できる〔5・188・213・215など〕。所得税の納税額決定などの現場実務は、選挙で選ばれた所得税調査委員が担っており、遅くとも明治三年（一八九九）には中西喜市郎が同委員に当選しているの〔5・206〕、その影響で中西家文書に関連史料が残されることになったのである。所得税は、いまでもこそ国税の主要税目となっているが、導入当初は国税収入の二%にも満たず、大正二年（一九一三）段階でもまだ二割を切っていた（林健久『日本における租税国家の成立』東京大学出版会、一九六五年、関野満夫「日本の戦時財政と所得課税」中央大学経済学研究会『経済学論纂』五七・三・四、二〇一七年）。その背景には、田畑の広さと地味（等級）をもとに、いわば機械的に算出、課税できた近世の年貢や近代の地租とは異なり、個々の人・世帯の「稼ぎの内実」にまで踏み込まなければならなかったという、所得税固有の問題があった。ゆえに所得税調査委員も、地域住民の「社会上の地位や生活状態」にある程度通曉することで、「納税者間の権衡」をはかり、「納税者と税務当局との間の感情を融和」できるような人物でなければならなかった（牛米努『近代日本の課税と徴収』有志舎、二〇一七年）。中西家文書に残された所得税調査関連史料を繙けば、所得調査という、従前にはなかった——だが徴税実務が村落自治に依存するという点では中近世から陸続きな——徴税制度をめぐって、中西喜市郎のような調査委員がいかなる「苦勞」に現場で直面していたのか、生々しく見えてくるであろう。

徴税実務と並んで、第一次的な消防・防災を地域住民の自治に依存するところも近現代日本社会の特徴であり、現在もその伝統は続いている。大字西波多でも、明治二年（一八九六）に名古屋市の会社から「唧筒（ポンプ）」を購入し、住民の寄付で「唧筒倉庫」を建て〔5・86〜90〕、大字費とは別に「消防費徴収簿」（明治三年〔一八九九〕など）〔10・23など〕を作成して、消防にかかる経費を大字自治にて徴収、管理していた。中西喜久雄は大正七〜八年（一九一八〜一九）奈良県警察部から任命される形で、波多野村大字西波多を管轄する「波三消防組」の小頭や組頭に就いている〔4・214・215〕（戦前・戦後の消防団については、『波多野村史』四四八〜四五四ページも参照）。

戦後の史料としては、中西千加（喜正の妻）が昭和四一〜四九年（一九六六〜七四）頃、大字上西波多（旧上津村）と下西波多（旧下津村）を担当地区とする民生委員・児童委員に就任していた関係で、関連史料がいくつか残されている〔4・86、14・2・7など〕。昭和四四年（一九六九）の「世帯票 児童票」

〔4-94〕には、担当地区全世帯の世帯人員や類別、「上中下」の経済状況などが記録されたうえで、何らかの困難を抱える「選定世帯」については、「家族構成状況」などが事細かく記され、当該世帯に対する千加の「指導記録」が日単位で詳述されている。昭和三〇年（一九五五）一月に発刊された地域機関誌『上津』〔4-362〕（『波多野村史』一〇五ページ）と合わせ、高度経済成長期の旧上津村が、どのような状況にあったのかを解明し得る、非常に貴重な史料となる。

## 【戸口】

通常の庄屋文書であれば、大量に見つかることの多い近世の戸別送りや戸別請込も、やはり中西家文書にはあまり残されていない。このあたりも、先述した近世における中西家の歴史的な立ち位置と関わってくるであろう。

近世・近代に中西家が雇っていた奉公人については、いくつか史料が残されており、安政六年（一八五九）に山辺郡三ヶ谷村、明治三年（一八七〇）に同郡幡村、明治九年（一八八六）に三重県阿拜郡東村（伊賀市）、明治二〇年（一八八七）に山辺郡伏拝村の村人が中西家に雇用されている〔3-121・147・148・150・9-45〕。賃金労働は、今でこそ昭和二年（一九四七）の労働基準法で前借金と賃金の相殺が禁止され、賃金は、労働した「あと」に、働いた「本人」に「直接」支払われることとなっているが、近世も含め戦前までは逆に、労働する「前」に、奉公人本人ではなく、その親ないし血縁者に、契約期間分の賃金（の一部）が一括して手渡されるという、前借金形態が一般的であった。前述の安政六年・三ヶ谷村の例では、奉公人の父親が「借主」として、奉公人となる俸の五年間分の給銀全額を受け取っており、明治九年・東村の場合でも、兄の「賃金取引用」に弟が中西喜市郎に雇用されている。また明治三年・切幡村の例では、奉公人の親が給金の半分を「前給金」として受け取っている。【金融・売買】に分類している安政四年（一八五七）の借銀証文（金融3-90）では、年貢上納に差し詰まって借用した銀札二〇〇目の「質物」として、一七歳の女性（おそらく借主の娘であろう）が差し出されている。今とは異なり、戦前までの日本社会は、賃金労働が「借金のカタ」として扱われることが、ごく普通に存在していたのである。

家族労働以外で中西家の経営を支えていた人びととしては、【土地・山林・家屋・土木】に分類している「普（譜）代召抱」庄吉の存在も興味深い。有期で雇用される通常の奉公人とは異なり、「譜代」として無期限で中西家に召し抱えら

れていた庄吉が、嘉永七年（一八五四）、抱え主の中西源太夫から田地・山林を譲られ、上津村からも村有地の「あれ畑ケ」を買い取る形で（実際には源太夫が購入していたのであろう）、中西家から「自立／独立」を果たした様子がかがえる（土地3-135-138）。庄吉のような「従属的」な人びとは従来、「譜代下人」や「名子」などと呼ばれ、一七世紀以降「小農自立」の過程で減少、消滅していくものとされてきたが——いたとしても、それは「後進地」の話、とされる——、実際には、大和国のような「先進地」でも幕末に至るまで存在し続け、中西家のような地域有力者の経営を支えていたわけである（木下光生「村・小農・農業の長期史」『新しい歴史学のために』一九三、二〇一八年）。

## 【土地・山林・家屋・土木】

後段の【家 経営・相続】とも関わって、中西家の個別経営としては、文政六年（一八二三）〜大正七年（一九一八）に、上津村や近隣村々の住人から田畑、山林などの不動産を断続的に購入していたことがわかる〔8-130、4-29など〕。また、一般的には口頭契約が多いと言われる小作契約についても、明治三年（一八七〇）以来の小作証を確認できる〔8-149・152、11-64など〕。明治一八年（一八八五）、中西喜市郎に田畑を売った山辺郡下笠間村（宇陀市）の村人が、そのまま当該売却地の小作人に移行している例も存在する〔11-41・52〕。

道橋の改修、新設といった公共土木事業が、金銭面でも労働力面でも地域住民の自治で支えられるところは、近現代日本社会の特徴である。中西家文書でも明治二四年（一八九一）、中西喜市郎も「大字西波多改修委員」となって橋梁架設の工夫が大字から提供され〔10-32〕、明治二五年（一八九二）にも「新田街道」改修費を大字西波多の住民が寄付したとして、奈良県知事から褒められている〔11-20〕。さらに、明治四三年（一九一〇）に開通した西波多「遅瀬間の道路開削改修工事」も、大字住民からの寄付金で賄われ〔3-328、6-177・179、9-89〕、「地元民は連日出役奉仕」したという（『波多野村史』四六五ページ）。戦後も昭和三二〜三三年（一九五七〜五八）に「上津岩屋線道路改修促進期成同盟会」が結成されているが、大字菅生は同盟会の役員会を欠席し、計画に反対意見を述べるなど、同一地域内でも改修工事に対する温度差がみられた〔4-59・82・176・203・276・278〕。住民自治に依拠しながら、公共土木事業を進めることの難しさが示されているよう。

## 【金融・売買】

後段の【家 経営・相続】で述べるように、近代の中西家では貸金利子が大きな収入源となっていた。その淵源は、おそらく近世にまで遡り、天保五〜七年（一八三四〜三六）には、喜左衛門から大塩村や瀬瀬（遅瀬）村の住民へ、銀一〇〜一七〇匁が貸し付けられている〔3・34、2・11〕。また中西家は、返済が長期にわたることも認めていたようで、喜左衛門が弘化四年（一八四七）に下津村の村人へ貸した銀二八匁余が、最終的に返されたのは、約三〇年後の明治九年（一八七六）であった〔3・69〕。さらに中西家は、他人の借金を肩代わりするときもあり、天保一四年（一八四三）、「御上納未進并借用銀」二貫二三三匁余を滞納しているとして大西村から訴えられた上津村の由兵衛について、間に入った中西源太夫が「御損銀」を相手方に支払うことで事態が収拾している〔3・8〕。このとき由兵衛は、借金を肩代わりしてくれた源太夫に対し、「来ル巳年・午年」の二年間分の「江戸御中間御奉公御給米」にて「御損銀」を返済することを約しており、江戸に住む領主・奥田氏のもとで武家奉公人を務めることが、上津村の人びとにとって「食い扶持」の一つとなっていたことがわかるとともに、借金返済の方策ともなっていたことがうかがえ、興味深い。

近代で注目されるのは、特定世帯の経営を支えるために、頼母子講（救済講）が広範に展開している点である。とりわけ明治三九年（一九〇六）以降、昭和一九年（一九四四）に至るまで、「信用頼母子講」「共済頼母子講」「寄貸講」「救済寄貸講」「信用寄貸講」などといった名目の頼母子講関連史料が多数残されている〔5・10・134・137・142、10・78、7・195など〕。そのなかで中西家は、今中菊石が講元となった大正二五年（一九二六）の救済寄貸講や、昭和二年（一九二七）の廣亀吉救済寄貸講のごとく、講金の出資者や世話掛、管理人として救済「する」側に回ることもあれば〔11・4、10・53など〕、昭和二〜三年（一九二七〜二八）の中西橋治郎救済寄貸講のように、救済「される」側になることもあった〔8・60、7・197など〕。二〇世紀前半の村社会における救済講については近年、実証研究が深められつつあり（小島庸平『大恐慌期における日本農村社会の再編成』ナカニシヤ出版、二〇二〇年）、頼母子講のようないわゆるマイクロ・クレジットは、世界的にも注目されているところなので、中西家文書に大量に残される救済講関連史料は、日本史と世界史、双方の研究に寄与するところ大であるろう。

## 【産業・組合】

近世・近代の上津村や周辺村々の産業については、関連史料があまり残されていないが、それでも明治七年（一八七四）に、中西喜左衛門が下津村の住人へ茶業の前金を貸していたり〔8・161〕、明治九〜一五年（一八七六〜八二）の西波多村に「炭竈営業」や酒造業に従事する村人がいたことを確認できる〔3・414・1、3・419〕。一方、戦後については、昭和二五年（一九五〇）に中西喜正が組合長となって上津共同製茶組合が設立され、共同製茶工場が建てられていく〔4・202・370など〕。ただし、昭和五〇年（一九七五）頃にはその製茶工場も別用途に転用されていくようで〔4・192〕、一九七〇年代以降、地域産業が転換していく様子がうかがえる。

比較的多くの史料が残されているのが、有限責任西波多信用購買組合と保証責任波多野村信用販売購買利用組合の関連文書である。『波多野村史』一〇三三〜一〇三八ページによれば、前者については、「明治四十年（一九〇七）ごろより任意の購買組合」が上津で始まり、明治四四年（一九一一）一月には、上津・下津・大西の三大字を区域として、中西橋治郎が組合長となって、法人登記されるに至ったという。また後者については、当初は「西波多組合の事業全部をそのまま引継いで発足した」が、「その筋より、村（波多野村）一円の組合を設立するよう指示」されたので、「村会・区長会の議を経て」昭和一〇年（一九三五）一月に設立認可をうけ、同年六月に設立総会が開かれて、中西喜久雄が専務理事となった。中西家文書に残された両組合の史料は、まさにこの記述と符合し、西波多購買組合の明治四〇年「組合員名簿」〔5・36〕や「出勤出張簿」〔7・27〕、中西橋治郎を理事・組合長とする明治四四年一月付の「有限責任西波多信用購買組合出資券」〔6・223〕や産業銀行春日支店「当座預金通帳」〔4・35〕、昭和一四年度（一九三九）に設立二九年度目を迎えた西波多信用購買組合の昭和一五年度（一九四〇）一月付「財産目録・貸借対照表・事業報告書・欠損金処分案」〔5・12〕、および昭和一三年度（一九三八）に設立四年度目を迎えた波多野村信用販売購買利用組合の昭和一四年度一月付「財産目録・貸借対照表・事業報告書・剰余金処分案」〔5・5〕などが存在する。両組合は昭和三〜一〇年（一九二八〜三五）、【金融・売買】で指摘した救済寄貸講の預金先ともなっていた〔10・48・63〕。西波多信用購買組合は最終的に、敗戦をはさむ昭和二〇年（一九四五）三月〜二二年（一九四七）五月に、中西喜久雄を清算人代表として解散されるようである〔5・98・109・111〕。

## 【宗教】

寺社が運用する寺社名目金は、一九世紀の大和国でも広く村人たちに浸透していた。奥田氏の知行所村々でも天保二年（一八四二）、下津村と大西村が村全体として、長谷寺からそれぞれ金一五両を借りており、五、六年後に無事完済している（10・165・166）。また寺社名目金の「流用」もおこなわれていたようで、嘉永元年（一八四八）、大西村は村で肩代わりしなければならぬ「絶人株」の年貢銀を工面するため、もともとは上津村名義で多武峯から借りられていた名目金を、大西村名義の借金に変更させたい（10・115）。興味深いのは三例とも、奥田氏の地役人であった吉住猪兵衛や中西家が「掛所」として関わっていることで、領民による寺社名目金借り入れの監督も、地役人たちの職務であったことが知られる。

村内寺社の維持・管理は、近世と同様、近現代でも地域自治でなされており、旧上津村の氏神社・春日神社についても、大字による大正四年（一九一五）の造営願い（8・148）や、昭和二年（一九二七）の燈明料徴収（5・96）が確認される。大字住民からの燈明料徴収は、戦後の昭和二年（一九四九）でも同じようにおこなわれ（3・323）、昭和二四―三四年度（一九四九―五九）には、「社寺費」の予算書までもが旧近世村単位で作成されている（4・371・372など）。阿弥陀寺については、明治七年（一八七四）にいったん廃寺願いが出されたが（3・243）、寺としてはその後も維持されたようで、明治三七年（一九〇四）には屋根の葺き替えなど、「新建」のごとき改築がなされた（3・314）。「中西本家」としてその改修がなされたところをみると、一七世紀半ばに初代源太夫像を奉納して以来、中西家は阿弥陀寺と特別な関係を結び続けていたといえよう。

上津村の「道行」（同行）四人が嘉永元年（一八四八）、富士山に参詣しているところも興味深い（3・145）。おそらく近世にはすでに上津村でも富士講が結成され、それを前提に、約七〇年後の大正四年（一九一五）段階でも富士講が営まれているのであろう（12・12）。なお、中西香溪（楡治郎）も明治三三年（一九〇〇）に「富士登山旅行」を経験している（家庭教育3・321）。

## 【教育・文化・婦人会・青年団】

【土地・山林・家屋・土木】で指摘した公共土木事業と並んで、学校教育、とりわけ小学校教育が旧近世村＝大字の自治で支えられるところも、近代日本社会の世界的な特徴である。上津村でも明治五年（一八七二）八月の学制公布以前から、すでに学校資本金の準備に取り掛かっていたようで（10・31）、明治二二

年（一八七九）には「学校資本金貸付帳」（10・34）を作成して、学校資本金の運用にて得られた貸付利子を小学校経営に活用していた。明治四年（一八九一）以降、「教育費補助金／補足金」を大字単位で徴収していたことも確認でき（10・36・45など）、大字住民は「生徒飯用割木」（生徒が学校に持参した米麦を炊くための薪か）の供出にも応じる必要があった（11・34）。学区内住民からの金銭や物品の寄付も重要で、中西楡治郎は明治三九―四四年（一九〇六―一一）、大字西波多の子どもたちも通う春日尋常高等小学校へ基本金などを寄付して感謝状を贈られており（3・473・481）、後段の【家 経営・相続】でも紹介するように、中西家の明治三三年度（一八九九）収支では、「春日尋常高等小学校改築用材」の寄付金一三円五〇銭が、歳出の「臨時部」に計上されている。

戦後の史料としては、戦前の婦人会を再編した波多野村婦人会が昭和二年（一九四六）一月に立ち上がり、その初代会長に中西直江（喜久雄の妻）が就き、また昭和三〇年度（一九五五）以降は中西千加が会長を務めた関係で（『波多野村史』九四二―九四三ページ）、波多野村・山添村婦人会の関係文書が複数残されている。婦人会の活動も大字単位で支えられており、昭和三三―三七年（一九五八―六二）における上津村婦人会の事業計画書や予算書、日記、総会・役員会メモなどを確認できる（4・87・92・106・332）。上津（大字上西波多）は、昭和三〇年以降、全国で展開されるようになる「新生活実践運動」において、昭和三五年（一九六〇）に全国優良地区第一位として内閣総理大臣から表彰されている（『波多野村史』一〇四―一〇五ページ）。「新生活実践運動移動展示室」の開設が昭和三一年（一九五六）、山添村長から「上西波多 中西婦人会長」に通知され（4・271）、中西千加が昭和三三年度（一九五八）の「新生活婦人教室課程」を修了していることが示すように（6・193）、この全国第一位の活動を支えていたのも大字単位の婦人会であった（年末詳ながら「波多野村新生活実践協議会規約 波多野村新生活実践要目」（4・107）も残されている）。なお千加は、昭和三五年度をもって山添村婦人会長を退職したようで、昭和三六年（一九六一）四月に感謝状を贈られている（6・196）。婦人会関連史料は、菅生区有文書にも大量に残されているので、そちらも参照されたい（『山添村文化財調査報告第四集 山辺郡山添村大字菅生古文書調査報告書 菅生区有文書目録・解題』二〇二三年）。

## 【軍事】

明治六年（一八七三）の徴兵令を出発点に、日本でも近代的な徴兵が始まる。

中西家では明治十九年（一八八六）、喜市郎の弟・菊次郎が徴兵され（3・331など）、ついで楢治郎が明治二七（一八九四）の日清戦争に従軍した（3・462、7・122など）。「大津宮（衛）<sup>えい</sup> 戌歩兵第九聯隊補充大隊第一中隊」として、滋賀県大津町に駐屯していた楢治郎の明治二八年「紀念懷中日記」（4・30）には、一月六日条「午前、狹窄射撃、余、五発ニテ十八点合格ス」、一二日条「午前八時整列、石山二行軍」、一七日条「京都二行軍」など、ほぼ毎日おこなわれる軍事訓練の様子がつぶさに記されている。楢治郎はその後、明治四四年（一九一）二月に帝國在郷軍人会波多野村分会の初代分会長となり（『波多野村史』四四二ページ）、中西家文書にもそのときの辞令（3・440）が残されている。楢治郎の次男・武之助は大正二四年（一九二五）に入営し、昭和四年（一九二九）、陸軍の三等獣医に任命された（7・35・123）。中西喜正も、日中戦争が勃発した翌年の昭和十三年（一九三八）に入隊したようである（7・44）。

このほか、昭和十八年（一九四三）には、「義勇軍」前川正一のためにつくられた、波多野村信用販売購買利用組合の「普通貯金通帳」（8・70）も確認できる。ここでいう義勇軍とは、一六（一九歳）の男子を対象とした「満蒙開拓青少年義勇軍」のことと考えられ、波多野村のなかにも満洲移民と関わった村人がいたことが知られる。『波多野村史』八六八ページにも、「満蒙開拓青少年義勇軍の出發」をあらわす写真が掲載されている。

### 【家 経営・相続】

近世における中西家の経営実態を詳しく教えてくれる史料は、残念ながらあまり存在しないが、「百姓喜左衛門」が天保十五年（一八四四）、居宅（梁行三間半×桁行六間半の二・七五坪、屋根は茅葺きで、四方に三尺ずつの瓦葺きの庇あり）の建て直しを、大工仲間の頂点に立つ京都の大工頭・中井家へ願ひ出たときには、「持高拾五石余」と願書に記すから（土地3・146）、「武士」として奥田氏の地役人を務めるかたわら、普段は「百姓」として農業を基幹的な生業としていたことがわかる。ただ、農業一辺倒ではなかったようで、安政四年（一八五七）（慶応三年（一八六七）には「酒屋」や「梅屋」という屋号を用いつつ（3・88・109）、嘉永七年（一八五四）には質屋仲間<sup>しちや</sup>に所属し（15・1）、酒造株も購入して（2・25）、質屋業や酒造業を営むとともに、茶の販売（3・132など）や梅の買い付け（2・21など）にも従事するなど、多角的な経営をおこなっていた。近代に入ると、「店勘定（覚）帳」「会計収支決算帳」などと題する経営帳簿が、明治六年（一八七三）～昭和二九年（一九五四）の約八〇年間にわたって数

多く確認されるようになる（7・64・79・96、5・30など）。その中身を丁寧に分析すれば、実生活ではまだ近世が息づく一八七〇年代から、高度経済成長直前の時期に至るまで、中西家の経営がどのように変化したのか、つぶさに解明されるよう。

一例として、明治三十三年（一九〇〇）二月一日付「明治卅二年度会計決算帳」（7・43）によれば、明治三二年（一八九九）の一年間における「中西本家」の「経常歳入」総計は三五八三円余で、その筆頭は三九%を占める貸金利子一四〇〇円余であり、公債利子など他の利子も含めると、利子収入だけで計一九〇二円余、経常歳入全体の五三%にも及んだ（表参照）。残り半分は、山林

中西家の明治32年度（1899）収支

収入			支出		
費目	金額(円)	割合	費目	金額(円)	割合
貸金利子	1,400.187	39.1%	諸税	171.181	20.9%
公債利子	278.985	7.8%	生計費	293.142	35.7%
銀行預金利子	141.650	4.0%	被服費	88.951	10.8%
寄貸講利息	51.629	1.4%	備品費	37.634	4.6%
郵便貯金利子	29.554	0.8%	文具及通信運搬費	1.218	0.1%
山林立木竹藪薪売揚代	782.338	21.8%	交際費及寄付金	25.285	3.1%
小作料揚り金	435.386	12.2%	修繕費	3.810	0.5%
製茶売揚代	370.000	10.3%	医薬費	16.550	2.0%
自作穀類売揚代	39.825	1.1%	種苗費	7.430	0.9%
桑場揚金	29.300	0.8%	雑費・消費費	95.994	11.7%
報酬・諸給及雑収入	24.363	0.7%	雇人料	71.293	8.7%
経常歳入総計	3,583.217	100.0%	茶製雇人料	84.254	10.3%
歳入臨時部*1	815.000	—	製茶食料	47.500	5.8%
			年内自家食料見積り	137.000	16.7%
			米13石代	117.000	14.3%
			麦其他代	20.000	2.4%
			乳子養育料	15.750	1.9%
			経常費歳出総計	820.120	100.0%
			歳出臨時部*2	13.500	—

\* 1：財産売却代

\* 2：春日尋常高等小学校改築用材寄付見積価格

資源の売り上げ、小作料の換金分（小作料は通常、現物で納入される）、製茶の売り上げ、「自作穀類」（小豆、大豆、豌豆〔エンドウ〕、菜種、柏、土芋〔里芋〕）の売り上げなどで構成された。多角経営という点では近世と変わりないが、史料上、明治一七〜一八年（一八八四〜八五）まで一応確認できる酒造業〔4-187、3-445〕については、すでにこの頃には撤退しているようだ。

一方、「経常費歳出」総計は八二〇円余で、経常歳入との差引で二七六三円余の黒字となる。費目別では、被服費などで構成される生計費（事業経費たる種苗費は通常、生計費に含めないが、この帳簿では生計費に組み込まれている）が三五・七%でもっとも比重が大きく、次いで奉公人や製茶業などでの人件費（雇人料、茶製雇人料、製茶食料）が計二四・八%、諸税二〇・九%、と続く。

そのなかで、帳簿としては「決算」であるにもかかわらず、「年内自家食料」だけ、実費ではなく「見積り」となっていて、一三石分の米代金は、一石につき九円の米価で単純計算されている（『明治三十二年奈良県統計書』によれば、同年の奈良市平均米価は、上米一石一〇・三二五円、中米九・九九五円、下米九・六一九円）。家計の主要支出費目の一つである食料費をわざわざ概算扱いにしてるのは、米麦などの「自家食料」は、経常費歳出の計算上、一応金銭表記しておくが、実際には「カネを出して買って来た」わけではなく、自作の農作物や、現物で受け取ることの多い小作料で「自給」していたからかもしれない。その点で、歳入に計上される「小作料揚り金」も、現物も含めた小作料の全額ではなく、あくまで現物で受け取った小作料のうち、市場で売り払って現金化した部分（および最初から現金で受け取った小作料）のみを示しているのであろう。さらに、「自作穀類売揚代」にあらわれる小豆や大豆、土芋なども、販売用として歳入にあがっている分以外に、当然のことながら、自家消費に回された分もあったろう。「自給用の現物」が息づく村社会において、「金銭表記」された史料のみで世帯経営を分析することの難しさがあらわされている。

明治三二年度経常歳入で圧倒的一位の貸金利率について、その元金の内訳をみると、「登記付」五七四三円余、「信用貸」九八九三円余、「年賦貸」一五八二円余と、信用貸が過半を占めていた。それからおよそ二〇年経った大正八年（一九一九）一月付「貸附金台帳」〔7-22〕でも、中西家は貸し付けにあたって、家屋、生命保険金、債券、小作米代を抵当に設定させる場合もあるが、全体としては無担保の「信用貸」が多く、なかには「信用貸（証文ナシ）」と、借金証文すら作成せず、口頭契約のみで貸している場合も少なくなかった。加えて利足も、ほとんどが月一步（一%）かそれ未満、年利でも年五〜八朱（五〜八%）

であった。一九世紀末における中西家の経営を牽引した貸金業は、「高利貸し」的なものではまったくなく、貸す方も借りる方も狭い地域内に住み、お互い顔見知りの、文字通り「信用」にもとづいて低利・無担保でなされた、「融通」とでもいえるべき業態であったといえよう。

## 【家 教育・文化】

一般に、近世から続く地域有力者の家は、「蔵書の家」であることが多い。中西家もまた、多くの書籍を所蔵していたようで、その詳細は、中西香溪（檜治郎）の明治三二年（一八八九）「所蔵書籍録」〔9-42〕や、明治一八〜三五年（一八八五〜一九〇二）における書籍購入年を記した「図書目録」〔15-2〕のほか、近代に作成されたと推測される二冊の「書籍目録」〔4-194、5-141〕で確認できる。檜治郎の「所蔵書籍録」には、「スマイルズ自助論 金参拾五銭」「ナシヨナル第一読本 代金七銭」「スペルリング 代金四銭五厘」「ペンマンシップ 代金三銭五厘」などとあって、若き日の檜治郎が、日本でもベストセラーとなったサミュエル・スマイルズの『自助論』を入手し、英語の勉強に勤しんでいた様子が見えがえる。

また中西喜久雄は戦後、「菊麻呂」という俳号にて『ホトトギス』でも活躍する俳人ともなっていて、昭和四一年（一九六六）には句集『菊』を自费出版している（俳人協会・俳人文学館蔵書検索）。中西家文書にも、俗名の喜久雄ではなく、「中西菊麻呂」に宛てた昭和四〇年代の葉書や書状が多数残されており、なかには東大寺長老の狭川明俊〔4-257・388〕や、戦前『ホトトギス』を主導した著名な俳人・阿波野青畝〔4-394〕からの年賀状や便りもある。昭和三六〜三九年（一九六一〜六四）に刊行された神波多神社（大字中峯山）祇園句会の会誌『干柿』（『教育4-406』）や、芭蕉翁顕彰会による昭和三八〜四一年（一九六三〜六六）の句集〔教育5-60・127〕が残されているのも、菊麻呂の活動によるものであろう。

このほか中西家は、『西洋中世世界の成立』（岩波書店、一九五〇年）や『大学でいかに学ぶか』（講談社現代新書、一九六六年）など、数多くの研究業績を残し、一橋大学長も務めた著名な中世ヨーロッパ史研究者・増田四郎（一九〇八〜九七年）の実家でもあった。大正六年（一九一七）の「戸籍謄本」〔戸口4-27〕によれば、四郎は明治四一年（一九〇八）一月六日、檜治郎の四男（長男・喜久雄、次男・武之助の弟）として生まれ、明治四三年（一九一〇）一月二八日、満一歳数ヶ月ほどで、奈良県添上郡月瀬村大字尾山（奈良市）の増田勘

三郎家へ養子に出された。その後、昭和十五年（一九四〇）に奈良市登大路町の中西瑛子と結婚する（4・190）。中西家文書には、東京都国分寺市に住む四郎から、兄・喜久雄に宛てた年未詳の句集（前述の『菊』のことか）札状（4・227）や、昭和四五年（一九七〇）、喜久雄の喜寿を祝う四郎と瑛子からの葉書（4・319）などが残されている。なお四郎は、『波多野村史』編纂の賛助者ともなっていた（『波多野村史別冊 波多野村史賛助者芳名録』）。

### 【家 中西檐治郎】

中西家文書のなかで、独立項目を立てられるぐらい多くの史料を残すのが、中西檐治郎である。それは檐治郎が、山添村と奈良県全体の歴史において、特筆すべき人物であったことの裏返しでもあった。【近代 村政・行財政】でも整理したように、檐治郎は波多野村の収入役、村長、村会議員を歴任し、大正四一二年（一九一五―二三）には奈良県会議員ともなっており、副議長も務めた（『波多野村史』四一五―四一六ページ）。中西家文書にも、波多野村収入役としての職務勉勵を慰労する明治三十三年（一九〇〇）の賞与状（7・126）や、大正四年一月二日付の県会議員当選証書（4・122）、およびその選挙活動時のものと思われる日誌（3・318）が残されている。檐治郎はほかに、株式会社伊賀上野銀行取締役にも就任していた（大正四年一月『人事興信録』第四版）。

檐治郎が波多野村長と県会議員を務めていたとき、地域経済にとって大きな意味をもったのが、大正六年（一九一七）から本格化する山辺街道（波多野街道、丹波市―上野線）の改修工事であった。その工事の一環で昭和三年（一九二八）に竣工したのが五月橋であり、昭和六年（一九三一）に五月橋のたもとに建立された彰功碑には、檐治郎が県議員として「県費補助」を獲得してきたことが顕彰されている（『波多野村史』四六一―四六三ページ）。中西家文書にも、昭和七年（一九三二）一月三十一日付「彰功碑除幕式紀念」冊子（17・9）がある。

地域経済と絡んで注目されるのが、大正八年（一九一九）三月二三日、「奈良市公園菊水楼」にて創立総会が開かれ、同社の発起人総代であった檐治郎が取締役社長に選ばれた野川電気株式会社、およびそれと連動する曾爾川電気株式会社、東和電気株式会社の設立事業であり、箱6・16を中心に関係史料が大量に残されている（16・13など）（箱16は、「野川電気株式会社保存書類」と箱書きされた、専用のスーツケースである）。曾爾川電気株式会社の大正八年五月一日付奈良県知事宛「水利使用許可申請書」（3・329）や、東和電気株式会社の大正一〇年（一九二二）一月一日付大和電気株式会社宛通知（6・137）によれば、

これらの会社は、淀川水系名張川支流の野川・曾爾川から取水した水力発電にて、宇陀郡曾爾村、御杖村、室生村一円の「供給区域内ニ於ケル電灯電力ノ供給、並ニ之ニ附帯セル電気機械器具ノ販売」を目指したものであった。檐治郎は、この水力発電事業の主導者となっていたが、どうやらうまくいかなかったようで、野川電気株式会社については早くも大正一〇年四月に清算に入り、大正一四年（一九二五）一〇月には添上郡東山村大字的野・峯寺に所在する会社所在地が、同社清算人代表者の中西檐治郎から、中西喜久雄らへ売却されている（16・13、9・36など）。会社所有地の売却先が、とりもなおさず檐治郎の長男・喜久雄であったことが示すように、この電力事業の清算は、中西家の経営にも大きな影響をおよぼしたようで、大正一二年（一九二三）以降における中西家の財産整理と親族負担の分担に関する史料（家経営5・220・228、9・46など）や、檐治郎を講元とする救済奇貸講・頼母子講の関係史料（金融8・60、7・197など）が昭和二三年（一九二七―二八）に残されているのも、そのためであろう。檐治郎はその後、家の経営と政界から退き、奈良市法蓮町に設けられた「波多の園中西茶店」の店主に収まって最期を迎えるようである（家経営4・150など）。

檐治郎の葬儀は、昭和九年（一九三四）五月六日に執り行われ、そのときの弔詞が複数残されている（9・106―114）。弔詞を述べたのは、立憲政友会奈良県支部長の岩本武助、波多野村長の中谷善吉、春日小学校校長の富村直道、奈良県蚕種業組合長の木口常治郎、山辺郡養蚕実行組合副組合長の三浦信次郎、山城宇治銘茶株式会社代表者の松本茂雄、大和山林会頭の児玉政介、日本赤十字社長の徳川家達らであり、「葬儀覚元」（家教育7・41）によれば、立憲政友会大和支部、奈良県乾蘭倉庫、奈良県養蚕業組合聯合会、蚕業取締所々員一同、愛宕山復興会、国粋会伊賀支部、伊賀上野労働組合、廣栄組配下一同、大春席芸妓一同、田山八十吉（中外医薬生産創業者）などからも供花があったという。政治、経済、社会における、檐治郎の幅広い顔と活躍が知られよう。



3	83	先渡し畑ケ之事(御殿様御役進御祝銀差上のため、村支配畑先渡し)	嘉永7.2.-	売主 村中、庄や 政助、年寄 定七、ほか 2名	上津村 喜左衛門殿	一紙	
10	150	覚(銀3貫600目のうち御仕法頼母子銀元利3貫303匁御返下、残銀297匁上納につき)	安政5.5.28	中西喜左衛門	御陣屋 川上様	一紙	150~158こよりにて一括
10	120	証文之事(御仕法頼母子割戻御入用銀800目操[繰]替につき)	安政5.5.-	地頭役所	上津村庄屋、年寄、井銀主 中西政次殿	一紙	113~124こよりにて一括
10	121	証文之事(御仕法頼母子割戻御入用銀800目操[繰]替につき)	安政5.5.-	地頭役所	上津村庄屋、年寄、井銀主 藤田喜兵衛	一紙	113~124こよりにて一括
10	162	証文之事(御仕法頼母子割戻御入用銀400目操[繰]替につき)	安政5.5.-	地頭役所	上津村庄屋、年寄、井銀主 治兵衛	一紙	159~162こよりにて一括
10	160	証文之事(御用達銀元銀2貫400目利米式割下ケ、利米は村方庄屋より請取につき)	安政6.6.-	地頭役所	上津村庄屋、年寄、銀主 中西政次郎殿	一紙	159~162こよりにて一括
10	161	証文之事(御用達銀元銀100目増銀上納、利米は村方庄屋より請取につき)	安政6.6.-	地頭役所	上津村庄屋、年寄、銀主 多兵衛	一紙	159~162こよりにて一括
3	100	先渡し申荒畑ケ之事(御殿様御官位御入金御入用銀差詰につき)	文久2.6.-	売主 村中、惣代 新蔵、年寄 勇次、同断 多平、同断 勇助、庄屋 清六	喜左衛門殿	一紙	包紙あり
3	106	借用申金子之事(金200両)	元治元.7.10	借用主 中西喜左衛門、同 政次郎、進藤勇助	吉住勇治様	一紙	
10	114	証文之事(元銀1貫296匁、上津村出作礎石をもって同村庄屋より利米受取につき)	元治元.12.-	地頭役所	銀主菅生村 清左衛門殿	一紙	113~124こよりにて一括
10	131	証文之事(御仕法増銀元銀4貫500目請取、利米は村方庄屋より請取につき)	元治2.正.-	地頭役所	上津村銀主 中西政吉	一紙	131~139こよりにて一括
10	132	証文之事(御仕法増銀上納元銀1貫600目・増銀800目・新規上納銀1貫500目請取、利米は村方庄屋より請取につき)	元治2.正.-	地頭役所	上津村銀主 卯兵衛	一紙	131~139こよりにて一括
10	133	証文之事(御仕法増銀上納元銀1貫390匁・増銀695匁請取、利米は村方庄屋より請取につき)	元治2.正.-	役所	上津村銀主 平太	一紙	131~139こよりにて一括
10	134	証文之事(御仕法増銀上納元銀500目請取、利米は村方庄屋より請取につき)	元治2.正.-	地頭役所	上津村改銀主 与兵衛	一紙	131~139こよりにて一括
10	135	証文之事(御仕法増銀上納元銀1貫1目・増銀500目請取、利米は村方庄屋より請取につき)	元治2.正.-	地頭役所	上津村銀主 清七	一紙	131~139こよりにて一括
10	137	証文之事(御仕法増銀上納元銀3貫80匁・増銀1貫540匁請取、利米は村方庄屋より請取につき)	元治2.正.-	地頭役所	上津村銀主 民蔵	一紙	131~139こよりにて一括
10	138	証文之事(御仕法増銀上納元銀・増銀8貫950目請取、利米は村方庄屋より請取につき)	元治2.正.-	地頭役所	上津村銀主 井岡清六	一紙	131~139こよりにて一括
10	139	証文之事(御仕法増銀上納元銀270目・増銀135匁請取、利米は村方庄屋より請取につき)	元治2.正.-	地頭役所	上津村銀主 新蔵	一紙	131~139こよりにて一括
10	113	証文之事(元銀500目、村方庄屋より利米請取につき)	元治2.12.-	地頭役所	上津村銀主 多平	一紙	113~124こよりにて一括
10	117	証文之事(元銀400目、利米は村方庄屋より請取につき)	元治2.12.-	地頭役所	上津村銀主 定七	一紙	113~124こよりにて一括
10	118	証文之事(元銀100目、利米は村方庄屋より請取につき)	元治2.12.-	地頭役所	上津村銀主 新次	一紙	113~124こよりにて一括
10	119	証文之事(元銀60目、利米は村方庄屋より請取につき)	元治2.12.-	地頭役所	上津村銀主 下出中ケ間	一紙	113~124こよりにて一括
10	128	証文之事(増銀上納元銀1貫950目受取、利米は庄屋方にて差引請取につき)	慶応元.12.-	地頭役所	上津村庄屋、年寄、銀主 弥三郎	一紙	
10	140	証文之事(御用達銀上納元銀900目受取、利米は村方庄屋より受取につき)	慶応元.12.-	地頭役所	上津村庄屋、年寄、銀主 惣次郎	一紙	140~147こよりにて一括
10	143	証文之事(増銀上納元銀900目請取、利米は庄屋方にて差引受取につき)	慶応元.12.-	地頭役所	上津村庄屋、年寄、銀主 常八	一紙	140~147こよりにて一括
10	144	証文之事(増銀上納元銀400目請取、利足は村方庄屋より受取につき)	慶応元.12.-	地頭役所	上津村庄屋、年寄、銀主 次兵衛	一紙	140~147こよりにて一括
10	145	証文之事(仕法増銀上納元銀3貫目受取、利米は村方庄屋より請取につき)	慶応元.12.-	地頭役所	上津村庄屋、年寄、銀主 進藤勇助	一紙	140~147こよりにて一括

10	146	証文之事 (御用達銀上納元銀3貫目受取、利米は村方庄屋より受取につき)	慶応元.12.—	地頭役所	上津村庄屋、年寄、銀主 藤田喜兵衛	一紙	140～147こよりにて一括
10	122	証文之事 (金180両・50両拝借につき、裏書「皆済利足共受取」)	慶応2.4.—	中西喜左衛門、同 勘兵衛	川上棟	一紙	113～124こよりにて一括
2	24	(補任状写、御勝手方其外共御用向相勤につき、高金2両・吾人扶持)	丑 (近世) .11.23	役所	中西喜左衛門	一紙	
2	17	覺 (村弥三郎口銀800目借用につき)	申 (近世) .正.22	進藤勇助	中西喜左衛門様	一紙	包紙あり
3	152	覺 (酉11月御用達金100両にて御殿向御修覆出来御満足のため、利米として年々玄米1石宛被下の趣、江戸表より被仰登につき)	戌 (近世) .9.—	井上小四郎、井上四郎兵衛	中西源大夫殿	一紙	152～153包紙にて一括
2	30	(付箋、「御年貢弍斗弍升定メ九百四匁八分 喜左衛門」)	(近世)	—	—	付箋	
10	158-2	(簿、元興田様へ御貸上銀・米利証文御しらへにつき)	(明治2カ)	—	—	一紙	150～158こよりにて一括
3	185	元御地頭様江御貸上金証文控	(明治)	—	—	堅帳	

【近世 村政】

3	289	売渡シ申絶人地之事 (冬出し物銀差支のため、村支配田畑売渡)	文化8.12.—	上津村売主 村中、庄屋 喜兵衛、年寄 甚之丞、同断 源次	政右衛門	一紙	238～312ひもにて一括、289～290こよりにて一括
3	11	売渡シ申絶人地之事 (当冬出し物銀差支のため、村支配絶人地売渡)	文政5.12.—	上津村売主 村中、組頭 源次、庄屋 喜兵衛、ほか9名	政右衛門殿、喜左衛門殿	一紙	
3	14	売渡シ申絶人地之事 (当冬出し物銀差支のため、村支配絶人島売渡)	文政5.12.—	上津村売主 村中、組頭 源次、庄屋 喜兵衛、ほか9名	平助殿	一紙	
3	22	売渡シ申田地之事 (当冬出し物銀差支のため、村支配絶人地売渡)	文政7.12.—	上津村売主 村中、組頭 源次、庄屋 喜兵衛、ほか9名	喜左衛門殿	一紙	
3	12	売渡シ申山林之事 (当四分御上納銀差支のため、村支配山林売渡)	文政11.9.—	売主 村中、組頭 庄兵衛、村惣代 甚七、年寄 林蔵、同断 甚之丞、庄屋 喜兵衛、ほか9名	政右衛門殿	一紙	
3	13	売渡シ申荒島之事 (当冬出し物銀差支のため、村支配荒島売渡)	文政11.12.—	上津村売主 村中、村惣代 甚七、年寄 林蔵、同断 甚之丞、庄屋 喜兵衛	喜左衛門殿、勇助殿	一紙	
3	9	売渡シ申絶地之事 (当冬出し物銀差支のため、村支配荒畑売渡)	文政12.12.—	上津村売主村中、庄屋 喜兵衛、年寄 甚之丞、同断 甚七、村惣代 甚蔵	喜左衛門殿	一紙	包紙あり
8	129	売渡シ申荒畑之事	天保2.12.—	上津村売主 村中、惣代 甚蔵、年寄 甚助、甚七、庄屋 喜兵衛	嘉兵衛	一紙	
3	30	売渡シ申荒畑之事 (当冬出し物銀差支のため、村支配荒島売渡)	天保3.12.—	売主 村中、村惣代 甚蔵、年寄 甚助、同断 甚七、庄屋 喜兵衛	喜左衛門殿	一紙	
3	60	売渡シ申絶人地之事 (当冬出し物銀差支のため、村支配絶人島売渡、奥に天保14年5月23日付源大夫宛彦蔵畑売渡証文あり)	天保3.12.—	売主 村中、村惣代 甚蔵、年寄 甚助、同断 甚七、庄屋 喜兵衛	彦蔵殿	一紙	
3	43	売渡申絶人田地之事 (当冬出し物銀差支のため、村支配絶人田地売渡)	天保8.12.—	上津村売主 村中、村惣代 武兵衛、年寄 甚蔵、同断 甚七、庄屋 喜兵衛	喜左衛門殿	一紙	
3	45	売渡シ申絶人地之事 (当冬出し物銀差支のため、村支配絶人畑地売渡)	天保9.12.—	上津村売主 村中、庄屋 喜兵衛、年寄 甚七、同断 甚助、同断 甚蔵、村惣代 衛	中西源大夫様	一紙	
3	53	売渡シ申絶人地之事 (当村へ八瀬銀借請のところ、返済仰せ付けのため、村支配絶人畑地売渡、長谷山へ返済につき)	天保12.8.—	売り主 村中、惣代 武兵衛、年寄 甚助、同断 甚七、庄屋 喜兵衛	源大夫殿	一紙	

10	149	質入直段積帳(上田・中田2町5畝歩質入にて、上津村へ御貸附銀9貫500目拜借につき)	天保14.正一	奥田主馬知行所和州山辺郡上津村質地主兵衛、百姓代徳兵衛、年寄 甚七、庄屋 藤次郎、(ほか質地主4名、奥田主馬内中西源大夫の奥印あり)	喜小堀主悦様御役所	整帳	
3	61	売渡シ申証文之事(冬出シもの銀差詰のため、村支配荒畑売渡)	天保14.12.20	上津村売主 村中、惣代 多蔵、年寄 林蔵、同 武平、同 甚七、庄屋 藤次郎	村 源大夫殿	一紙	
3	64	売渡シ申絶入地之事(当冬出シもの銀差詰のため、村支配善次屋敷売渡)	天保15.12.一	上津村売主村惣代 多蔵、年寄 林蔵、同 武兵衛、同 甚七、庄屋 藤次郎	村 源大夫殿	一紙	包紙あり
3	65	売渡シ申荒畑ケ之事(当御上納差詰のため、村支配荒畑売渡)	弘化2.2.27	上津村売主惣代 利七、多蔵、年寄 甚七、庄屋 藤次郎、年寄 林蔵、同 武平	村 源大夫殿	一紙	包紙あり
3	66	売渡シ申荒畑ケ之事(当巳冬出シ物銀差詰のため、村支配荒田売渡、右の荒田畑菅生村利七へ売)	弘化2.12.一	上津村売主村惣代 多蔵、年寄 源蔵、同 林蔵、同 甚七、庄屋 藤次郎	村 源大夫様	一紙	
3	67	売渡シ畑ケ之事(当巳冬出シ物銀差詰のため、村支配畑売渡)	弘化2.12.一	上津村売主村惣代 多蔵、年寄 源蔵、同 林蔵、同 甚七、庄屋 藤次郎	村 源大夫様	一紙	
8	138	売渡申絶入地之事	嘉永元.12.一	上津村売り主 村中、惣代 武兵衛、年寄 定七、同 断 多蔵、同 断 林蔵、庄屋 喜兵衛	喜左衛門殿	一紙	
3	290	売渡又申あれ畑之事	嘉永4.12.一	売主 村中、庄や 政助、惣代 武兵衛、ほか3名	上津村 常次殿	一紙	238～312のものにて一括、289～290こよりにて一括
3	81	差入申一札之事(亥年分諸入用算立会相改承知につき、控)	嘉永5.閏2.一	惣代 武兵衛、年寄 定七、同 多蔵、同 林蔵、中西喜左衛門、井岡清六、森川嘉三郎、藤田いち、進藤伊兵衛、進藤嘉平次、進藤藤治郎、進藤平兵衛、ほか35名	庄屋 中西政助殿	一紙	
3	75	売渡シ申荒畑ケ之事(当冬出シ物銀差詰のため、村支配荒畑売渡)	嘉永5.12.11	売主 村中、惣代 武兵衛、年寄 定七、同 多蔵、同 林蔵、庄や 政助	喜左衛門殿	一紙	
3	94	永々譲申田地之事(村支配田地崩埋につき)	安政6.12.一	譲主 村中、村惣代 新蔵、年寄 勇助、同 断 勇次、同 断 多兵衛、庄屋 清六	中西喜左衛門殿	一紙	包紙あり
3	98	売渡シ申畑ケ之事(当冬出シ物銀差詰のため、村支配畑売渡)	文久元.12.一	売主 村中、惣代 新蔵、年寄 勇次、同 断 多平、同 断 勇助、庄屋 清六	中西喜左衛門殿	一紙	
3	99	売渡シ申山林之事(当冬出シ物銀差詰のため、村支配山林売渡)	文久元.12.一	売主 村中、惣代 新蔵、年寄 勇次、同 断 勇助、庄屋 清六	中西喜左衛門殿	一紙	
3	105	売渡シ申山林之事(村出し物銀差詰につき)	文久4.3.一	売主 村中、惣代 新蔵、年寄 多兵衛、同 断 清六、同 断 勇治、庄屋 卯兵衛	喜左衛門様	一紙	包紙あり
3	222	覚(村入用につき)	未(近世).2.19	上津庄屋	菅生村庄屋 半兵衛様	一紙	
3	180	覚(郷割絵米につき)	未(近世).12.晦	中峰山村庄や 常吉	上津村庄屋 喜左衛門様	一紙	
3	223	覚(金子受取につき)	(近世).正.27	春日村 庄一郎	上津村庄屋様	一紙	
3	187	(書状、小入用帳面差出につき)	(近世カ).4.4	福井	中西御氏様	一紙	
3	312-1	口上(吐山村絵図面差上につき)	(近世カ).9.25	下津村役人	役人中様	一紙	238～312のものにて一括、312-1～4包紙にて一括(ほか々に近世断簡多数あり)
3	226	(包紙、金銭受けとり下されたし)	(近世カ)	平蔵	上津村御役人中	包紙	

【近現代 村政・行財政】

8	170	乍恐御断奉申上候	明治2.3.晦	山辺郡上津村庄屋 清六、年寄 大兵衛、右代筆 大和屋久兵衛	奈良府租税御役所様	整帳	153～171こよりにて一括
---	-----	----------	---------	-------------------------------	-----------	----	----------------

8	168	奉拝借米金之事	明治2.4.4	山辺郡上津村庄屋、年寄	奈良府租税御役所様	一紙	153～171こよりにて一括
9	72	控書(村節約につき)	明治3.2.一	—	—	一紙	47～84こよりにて一括
9	85	覚(負担金割付につき)	明治4.2.一	—	喜左衛門	一紙	—
9	3	証(入用金御願につき)	酉(明治6カ).12.29	片平村役人	上津村 中西善平治様	一紙	3～4一括
9	2	覚(人足賃勘定につき)	戌(明治7カ).1.25	片平村役人共	上津村 喜平治様	一紙	—
8	158	売渡申畑山林之事	明治7.11.一	売主 村中、戸長 中西善平次、副戸長 進藤善平、中西藤平、岩窪惣八、井岡清六、百姓代 西久保栄三郎	井岡嘉次郎殿	一紙	153～171こよりにて一括、158包紙あり
3	267	(村費繰、十月より十二月迄三ヶ月分警察掛りなど)	明治7.12.一	—	—	一紙	238～312ひもにて一括
3	265	癸酉年諸入費帳控	明治7	山辺郡吾小区上津村戸長 中西善平治、副戸長 井岡清六	奈良県権合藤井千尋殿代理奈良県権合参事 小池浩輔殿	一紙	238～312ひもにて一括
3	408	当酉年一ヶ年中小入用帳	明治7	—	—	一紙	368～435ひもにて一括、407～414こよりにて一括
3	194	記(副戸長給料相渡につき)	明治8.4.6	神谷利平	上津村副戸長御中	一紙	—
9	102	証(地券1通預かりにつき)	明治9.1.11	中峯山村惣代 馬場伝吉	西波多村 中西善(喜)市郎殿	一紙	—
3	221	[種痘済証一括]	明治9.3.一	—	—	一括	封筒にて25点一括
3	211	証(小区割請取につき)	明治9.8.31	六小区戸長役所	西波多村年番御中	一紙	封筒あり
3	231	記(地券入用、包紙)	明治9.8.一	菅生 植田半平	西波多村年番御中	包紙	—
4	137	(中西喜市郎賞状・辞令一括)	明治9.8.一	—	—	一括	封筒にて15点一括
3	233	記(布告代金受取につき)	明治10.1.27	一大区四小区事務処	西波多村年番御中	一紙	—
3	234	記(製札料請取につき)	明治10.1.27	一大区四小区事務処	西波多村年番御中	一紙	—
8	169	御請書	明治10.3.一	山辺郡西波多村 中西喜市郎	事務処御中	一紙	153～171こよりにて一括
3	174	証(税金受取につき)	明治10.6.一	第四小区営業総代 神谷新七郎	西波多村 中西喜一郎殿	一紙	—
3	171	証(金戸差引勘定につき)	明治11.1.29	総代組頭立会	中西喜市郎殿	一紙	—
3	392	(繰、上申書、宅地成御屋、盗難御屋、廃家御願など、明治12～16年)	明治12.1.15	—	—	一紙	368～435ひもにて一括
8	123	借用証書(地租改正につき)	明治11.1.一	金借主 藤田喜平、受人 進藤甚三郎	中西喜市郎殿	一紙	—
3	335	辞職御願	明治13.9.28	大和国山辺郡西波多村惣代 中西喜市郎	奈良郡長 秋洲長樹殿	一紙	—
3	229	記(地券・紙代勘定につき)	明治15.1.4	箕輪村戸長	西波多村 中西喜市郎殿	一紙	—
3	230	記(地券・紙代勘定につき)	明治15.1.4	堂前村戸長	西波多村 中西喜市郎	一紙	—
3	420	(税金領収証)	明治15.11.1	添上添下山辺広瀬平群郡長稲葉通久代理部書記 田村忠正	井岡彦太郎	一紙	368～435ひもにて一括、420～422反綴
9	87	記(金戸受取につき)	明治16.2.7	箕輪堂前村元戸長	西波多村 中西喜市郎殿	一紙	—
8	144	辞職御願	明治16.3.5	西波多村 中西喜市郎	当村役場戸長御中	一紙	—
3	421	(税金領収証)	明治16.10.26	添上添下山辺広瀬平群郡長 稲葉通久	中西喜市郎	一紙	368～435ひもにて一括、420～422反綴
10	169	記(地券諸費請につき)	明治17.10.6	片平村惣代 豊上	西波多村 中西喜市郎殿	一紙	—
3	422	(税金領収証)	明治17.11.6	添上添下山辺広瀬平群郡長 稲葉通久	中西喜市郎	一紙	368～435ひもにて一括、420～422反綴
5	189	明治十九年度所得調	明治19	—	—	横帳	187～215封筒にて一括
4	139	衆議院議員選挙有権者資格届	明治20(ママ).3.30	中西喜市郎	波多野村長 中森甚治郎殿	一紙	—

5	213	(所得税額通知書綴、明治20～31年)	明治20.12.19	添下添上山辺広瀬平群郡長 福葉通久	山辺郡西波多村 中西喜一郎	仮綴	187～215封筒にて一括
5	188	所得税二関スル往復書類(一括、明治20～30年)	明治20	—	—	仮綴	187～215封筒にて一括
5	204	町村撰挙人辞令証状(一括、所得税村撰挙人・所得税調査委員選挙人など、明治20～30年)	明治20	奈良県山辺郡役所	波多野村大字西波多 中西喜市郎殿	一括	187～215封筒にて一括、204封筒にて5点一括
5	215	(所得税関係書類綴、明治20～30年)	明治20	—	山辺郡元西波多村 中西喜市郎	仮綴	187～215封筒にて一括
5	194	所得金高届(綴)	明治21.7.14	中西喜市郎	奈良郡役所収税課御中	仮綴	187～215封筒にて一括
10	167	(地券書換手数料領収証)	明治21.9.27	役場	中西喜十郎	一紙	—
8	120	豊原村役場へ地租扣	明治23.4.—	中西喜市郎	波多野村長 中森基次郎殿	縦帳	—
10	18	大字諸務取扱日記簿	明治23.9.29	大字西波多惣代 中西喜市郎	—	横帳	—
10	35	大字掛金銭取替帳	明治23.9.29	大字西波多惣代 中西喜市郎	—	横帳	—
10	38	基本財産貸与金扣帳	明治23.9.29	大字西波多惣代 中西喜治郎	—	横帳	—
10	37	基本財産貸与金及有金悉皆附送帳	明治23.9.—	山辺郡波多野村役場	大字西波多惣代御中	横帳	—
11	32	(通知、明治23年度自家用料酒鑑札料伝令書御送付につき)	明治23.10.24	波多野村大字西波多総代 中西喜市郎	—	横帳	封筒あり
10	25	至拾貳月三ヶ月分 基本財産利子取立帳	明治23.10.—	波多野村役場	大字西波多惣代 中西喜市郎殿	横帳	封筒あり
11	29	(通知、帝國議會開院式挙行につき)	明治23.11.27	波多野村役場	大字西波多惣代 中西喜市郎殿	一紙	封筒あり
11	28	(通知、種痘期券本人へ御渡方につき)	明治23.12.13	波多野村役場	—	一紙	封筒あり
10	9	(大字費勘定帳)	明治23	—	—	横帳	—
10	7	自明治廿三年九月至同廿四年正月 大字費徴収簿	明治24.2.6	総代 中西喜市郎、組頭 井岡嘉治郎、福井吉蔵、尾植梅松立会	—	横帳	—
10	29	明治廿三年九月より同二十四年至正月 上小場割帳	明治24.2.7	大字西波多総代 中西喜市郎	—	横帳	—
10	61	明治廿四年正月至三月三ヶ月分 基本財産金利子取立帳	明治24.3.15	山辺郡波多野村大字西波多総代 中西喜市郎	—	横帳	—
9	9	証(周辺地域の賛同にて郵便局移転につき)	明治24.3.7	大稲庄治郎、北村貞治郎、矢川彦之進、同村大字広代發起人 辻井定吉	総代御中	一紙	—
11	21	回章(明治20年地租民費取調につき)	明治24.6.2	山辺郡波多野村役場	大字大西、同菅生、同西波多惣代御中	一紙	封筒あり
10	60	明治廿四年自四月至同六月三ヶ月分 基本財産金利子取立帳	明治24.6.20	波多野村大字西波多総代 中西喜市郎	—	横帳	—
10	28	明治廿四年自貳月至八月七ヶ月分 取替金書出帳	明治24.8.—	—	—	横帳	—
10	10	自明治廿四年正月至同年八月 大字費徴収簿	明治24.8.13	総代 中西喜市郎、組頭 井岡嘉治郎、福井吉蔵、尾植梅松立会	—	横帳	—
10	33	明治廿四年正月より同年至八月 上小場割帳	明治24.8.14	大字西波多総代 中西喜市郎	—	横帳	—
10	73	明治廿四年自七月同年至九月三ヶ月分 基本財産金利子取立帳	明治24.9.—	波多野村大字西波多惣代	—	横帳	—
10	64	明治廿四年自拾月至同拾二月三ヶ月分 基本財産金利子取立帳	明治24.12.15	山辺郡波多野村大字西波多総代 中西喜市郎	—	横帳	—
5	126	明治廿四年自九月同廿五年至一月 上小場割帳	明治25.1.27	大字西波多総代 中西喜市郎	—	横帳	—
10	16	自明治廿四年九月至同廿五年一月 大字費徴収簿	明治25.1.—	惣代 中西喜市郎、組頭 井岡嘉治郎、尾植梅松、福井吉蔵	—	横帳	—
11	37	(通知、明治25年度歳入出予算村会開催につき)	明治25.2.22	波多野村会議員 中森長次郎	波多野村会議員 中西喜市郎殿	一紙	封筒あり
11	38	(通知、地租地方税納付未納者へ別途依頼につき)	明治25.2.4	奈良県山辺郡波多野村役場	大字西波多惣代御中	一紙	封筒あり
10	69	明治廿五年自一月同至三月三ヶ月分 基本 [ 帳カ ] (財産金利子取立)	明治25.3.15	山辺郡波 [ ]	—	横帳	表紙破損
11	23	(通知、村会議員選挙権者調査入用につき)	明治25.3.3	波多野村役場	大字西波多惣代 中西喜市郎殿	一紙	封筒あり



10	23	消防費徴収簿	明治32.1.—	惣代 中西喜市郎、補助 井岡嘉治郎、福井 <input type="checkbox"/> <input type="checkbox"/> (吉蔵分)	—	横半帳	
10	24	明治卅一年二月より至卅二年一月 上小揚割徴収簿	明治32.1.—	惣代 中西喜市郎、補助 井岡嘉次郎、福井 吉蔵	—	横帳	
11	8	中西分(村費立替金勘定帳)	明治32.2.4	—	—	竖帳	
10	62	自明治卅二年二月至同八月 大字費徴収簿	明治32.2.—	惣代 中西喜市郎、補助 井岡嘉治郎、福井 吉蔵	—	横帳	
5	207	(通知、波多野村撰挙権・被撰挙権につき)	明治32.6.6	波多野村長 久保直次郎	中西喜市郎殿	一紙	187～215封筒にて一括、207～ 208封筒にて一括
5	208	(通知、波多野村撰挙につき)	明治32.6.6	波多野村長 久保直次郎	中西喜市郎殿	一紙	187～215封筒にて一括、207～ 208封筒にて一括
5	206	(所得税調査委員選挙人当選状)	明治32.6.12	波多野村長代理助役 井岡勇人	中西喜市郎殿	一紙	187～215封筒にて一括、206 封筒あり
5	212	(封筒)	明治32.6.23	有志者	波多野村 中西喜重郎殿	封筒	187～215封筒にて一括
10	30	明治卅二年二月より至同卅二年八月 上小揚割帳	明治32.8.10	惣代 中西喜市郎、補助 井岡嘉治郎、同 福井吉蔵	—	横帳	
10	26	自卅二年二月至同八月 消防費徴収簿	明治32.8.—	惣代 中西喜市郎、補助 井岡嘉治郎、福井 吉蔵	—	横帳	
10	39	共有金貸附証書・預金及現有金悉皆附送り帳	明治32.9.—	大字西波多旧惣代 中西喜市郎	—	横帳	
8	136	領収証(ちうそく5斤)	明治32.10.12	豊原村大字箕輪 中尾福松	大字西波多消防組会計 中西喜市郎 殿	一紙	
9	97	種痘期券	明治32.10.28	波多野村役場	大字西波多 中西喜市郎孫喜久雄 殿	一紙	
8	143	証(定期演習雑費代につき)	明治32.12.28	春日消防組頭 久保馬蔵	中西繪治郎殿	一紙	
5	210	所得税額及門票人(第三種所得金額決議通知書あり)	明治32	山辺郡波多野村役場	中西喜市郎殿	一紙	187～215封筒にて一括、210 封筒あり
3	399	契約証(大字西波多基本財産金)	明治33.10.22	山辺郡波多野村大字西波多惣代 井岡嘉治郎	—	竖帳	368～435ひもにて一括
5	197	所得税決定書(一括)	(明治33カ)	山辺郡波多野村役場	大字西波多 中西喜市郎殿	一括	187～215封筒にて一括、197 封筒にて3点一括
5	200	卅四年分所得金額決定通知書(一括)	明治34	奈良県山辺郡波多野村役場	大字西波多 中西喜市郎・中西繪治 郎殿	一括	187～215封筒にて一括、200 封筒にて3点一括
10	13	(伊賀島ヶ原勘定帳)	明治35.3.—	—	—	横帳	
5	202	明治卅五年所得決定通知(一括)	明治35	山辺郡波多野村役場	大字西波多 中西喜市郎・中西繪治 郎殿	一括	187～215封筒にて一括、202 封筒にて3点一括
7	6	契約証	明治36.1.25	波多野村大字西波多借り入主 藤田兼松	共有金管理者 井久保貞治郎殿、中 西喜次郎殿	一紙	
7	7	金額借用証	明治36.1.25	西波多借用人 藤田兼松	共有金管理者 井久保貞治郎殿、中 西喜次郎殿、井岡藤太郎殿、進藤喜 平殿	一紙	
5	193	(通知、所得税調査委員選挙執行につき)	明治36.6.1	山辺郡波多野村長 久保直次郎	大字西波多 中西喜市郎・中西繪治 郎殿	一紙	187～215封筒にて一括、193 封筒あり
5	196	(所得調査委員選挙通知一括)	明治36.6.18	奈良県山辺郡波多野村役場	大字西波多 中西繪治郎	一括	187～215封筒にて一括、196 封筒にて3点一括
5	195	(所得金額決定通知書一括)	明治36	奈良県山辺郡波多野村役場	大字西波多 中西喜市郎・中西繪治 郎殿	一括	187～215封筒にて一括、195 封筒にて3点一括



3	236	〔西波多村元上津出入記〕	(明治)	—	—	—	—	—	一紙	
3	334	御届書(惣代拜命につき、雛形)	(明治)	右村人民惣代	第三聯合戸長役場御中	—	—	—	一紙	
3	417	記	(明治)	西波多村戸長 中森基次郎	西波多村 中西喜市郎殿	—	—	—	一紙	368～435ウもにて一括
5	190	公証額証調	(明治)	—	—	—	—	—	横帳	187～215封筒にて一括
5	192	〔所得調査一括〕	明治	山辺郡波多野村役場	大字西波多 中西喜市郎殿	—	—	—	一括	187～215封筒にて一括、192封筒にて4点一括
14	4	〔西波多等級札数書上帳〕	(明治)	—	—	—	—	—	横帳	
11	11	〔通知、第三種所得納税義務につき〕	大正4.4.7	波多野村役場	大字西波多 中西權治郎・同喜市郎殿	—	—	—	一紙	
5	140	粘土買受申込書(總)	大正6.12.20	大林区署	三重県河山郡島ヶ原村 秦政之助、島ヶ原村 岩佐市造	—	—	—	仮綴	
4	214	〔波多野村波三消防組合小頭辞令〕	大正7.2.6	奈良県警察部	消防手 中西喜久雄	—	—	—	一紙	
4	215	〔波多野村波三消防組頭辞令〕	大正8.1.31	奈良県警察部	波三消防組小頭 中西喜久雄	—	—	—	一紙	
3	327	訴訟二関スル書類(異議申立、委任状、抗告状など、大正8～9年)	大正8.4.2	—	—	—	—	—	仮綴	
8	66	金銭出納簿	大正9.7.一	衆議院議員候補者福井基三選挙事務所	—	—	—	—	縦帳	
4	103	〔通信文券信簿、大正9～11年〕	大正9.12.18	—	—	—	—	—	縦帳	
10	65	西波多上区戸数等級表	大正9	区長	—	—	—	—	縦帳	
5	116	評議員会提出議案	昭和2.1.12	—	—	—	—	—	縦帳	
5	104	大正十五年下半期上小場割徴収帳	昭和2.1.31	区長 中西喜久雄、代理者 進藤辰蔵、相談役 中西喜七	—	—	—	—	縦帳	
4	67	西波多上区役員出勤簿	昭和2.1.一	区長 中西喜久雄、(ほか)16名	—	—	—	—	縦帳	
5	92	出納簿	昭和2	西波多上区長	—	—	—	—	縦帳	
3	364	事務引継書	昭和4.1.10	波多野村大字西波多上区前区長 中西喜七	現区長 中西喜久雄	—	—	—	縦帳	
4	66	役員出勤簿	昭和4.1.一	西波多上区区長 中西喜久雄、(ほか)12名	—	—	—	—	縦帳	
5	117	昭和参年下半期大字費徴収帳	昭和4.2.8	区長 中西喜久雄、代理者 前川正一、相談役 中西喜七	—	—	—	—	縦帳	117～118仮綴
5	118	昭和四年上半期大字費徴収帳	昭和4.8.15	区長 中西喜久雄、代理者 前川正一、相談役 中西喜七	—	—	—	—	縦帳	117～118仮綴
3	315	区長日誌	昭和4	西波多上区	—	—	—	—	縦帳	
5	114	昭和四年度日誌抜粋	昭和4	西波多上区長	—	—	—	—	縦帳	
8	26	命令書(答弁書・証拠書類提出につき)	昭和6.8.11	奈良地方裁判所裁判所書記 和田龍太郎	被告 杉本周太郎外九人	—	—	—	一紙	
5	20	〔山辺郡波多野村負債整理委員会委員辞令〕	昭和10.5.13	奈良県	中西喜久雄	—	—	—	一紙	
5	94	〔波多野村経済更生委員会委員辞令〕	昭和10.12.1	波多野村経済更生委員会 中谷善吉	中西喜久雄	—	—	—	一紙	
5	52	昭和十年県議戦績	昭和10	—	—	—	—	—	一紙	
5	55	昭和10年第2回臨時出納調査結果報告	昭和11.4.1	波多野村長 中谷善吉	奈良県知事 一戸二郎	—	—	—	仮綴	
5	93	〔当支那常駐幹事承認書〕	昭和13.2.20	立憲政友会奈良県支部	中西喜久雄	—	—	—	一紙	
5	21	〔国民精神総動員波多野村指導員辞令〕	昭和14.10.1	波多野村長 福井勘治郎	中西喜久雄	—	—	—	一紙	
5	22	〔波多野村常会委員辞令〕	昭和16.2.15	波多野村長 福井勘治郎	中西喜久雄	—	—	—	一紙	
5	84	領収証	昭和16.7.30	奈良県山辺郡波多野村運瀬区長 川端常市	中西喜久雄	—	—	—	一紙	

6	264	(感謝状、波多野村警備台建設につき)	昭和18.6.25	波多野村長 藤田安太郎、波多野村警防団長 馬場直道	中西喜久雄	一紙	
6	255	(奈良県山添地方事務所参与委員辞令)	昭和18.9.30	奈良県	中西喜久雄	一紙	
5	110	(山辺郡支部参与委嘱状)	昭和19.4.1	大牧翼貫会総裁	中西喜久雄	一紙	
5	73	昭和十九年度山辺郡波多野村歳入歳出追加予算書、昭和二十年度山辺郡波多野村歳入歳出追加予算書	昭和19	奈良県山辺郡波多野村役場	—	縦帳	
6	257	(大日本警防協会奈良県支部委員辞令)	昭和20.5.7	大日本警防協会奈良県支部長	中西喜久雄	一紙	
6	258	(波多野村警防団団長辞令)	昭和20.5.7	奈良県知事正五位勲三等 小田成就	中西喜久雄	一紙	
5	91	昭和二十年度畑野村村民税賦課額議定書	昭和20.11.26	奈良県山辺郡波多野村役場	—	縦帳	
5	31	昭和二十年度波多野村村民税賦課額議定書	昭和20	奈良県山辺郡波多野村役場	—	縦帳	
5	33	危機突破緊急対策について	昭和22.1.23	衆議院議員 駒井藤平	—	縦帳	
4	119	上津庶務医員事務引継書(綴)	昭和25.1.10	前任者 中西喜正	新任者 西久保政雄	仮綴	
4	208	ガソリン唧筒購入計算書	昭和26.6.30	—	—	一紙	
4	331	波多野村議会委員当選証書	昭和30.4.30	波多野村選挙管理委員会委員長 杉本文之進	山辺郡波多野村大字西波多 中西喜正	一紙	
4	362	上津(機関紙、一括、1955～1960年)	1955.11.5	発行所 上津公民館	—	刊本	48点一括
4	374	昭和三十一年度大字費歳入歳出予算書	昭和31.1.15	—	—	一紙	
5	101	(綴、奈良県指令耕第六〇号、補助金請求書、明細書など)	昭和31.3.30	奈良県知事 小野正一	山辺郡波多野村	仮綴	
3	436	嘆願書	昭和31.8.30	—	桃香野区長 北本義富、月瀬区長 井澤久望、高区長 西久保明殿	一紙	
4	109	東山村・波多野村・豊原村合併申請書	昭和31.9.21	東山村長 中辻定、波多野村長 濱田潤一郎、豊原村長 宮本重義	奈良県知事 奥田良三殿	縦帳	
4	20	役員員名簿	昭和31.12.一	山辺郡山添村	—	縦帳	
4	322	当選証書(山添村議会議員)	昭和32.9.21	山添村選挙管理委員会委員長 上久保吉造	奈良県山辺郡山添村大字西波多 中西喜正	一紙	
14	27	Memorandum(議会の構成、財政の状況、税の種類、学校の状況、新村建設計画、歌メモなど)	昭和32.12.12	—	—	縦帳	
4	113	昭和33年度奈良県山辺郡山添村才入才出追加更正予算書	昭和33.6.30	山添村役場山添村長 濱田潤一郎	—	縦帳	
4	97	県内先進地視察参考資料	昭和33.7.18	山添村	—	縦帳	
4	121	新村建設基本計画書	昭和33.12.一	奈良県山辺郡山添村	—	縦帳	
4	369	昭和卅四年度上津大字費歳入歳出予算書	昭和34.1.15	—	—	一紙	
4	400	(監査委員辞令)	昭和34.5.15	山添村長 西忠義	中西喜正	一紙	
4	19	役員員名簿	昭和34.12.一	山辺郡山添村	—	縦帳	
4	120	自昭和三十四年度至昭和三十八年度 新村建設実施計画書	昭和34	山辺郡山添村	—	縦帳	
4	110	山添村(上津)の概況	1960.8.一	—	—	縦帳	
4	333	議会先進地視察について	昭和36.4.26	山添村長 西忠義	各議員殿	一紙	
4	265	庁舎建設特別委員会の開催について	昭和36.8.4	—	奈良県山辺郡山添村大字上西波多 中西喜正殿	一紙	
4	95	工事報告	昭和36.9.15	山添村庁舎建設特別委員長 中西喜正	—	縦帳	
4	270	(はがき、村庁舎落成祝賀式御礼につき)	昭和36.9.20	山添村長 西忠義	山添村大字上津 中西喜正殿	はがき	
14	17	議員手帳	昭和36	全国町村議会議長会	山添村議会議員 中西喜正	縦帳	

4	358	広報山添 第43号	昭和40.9.15	奈良県山辺郡山添村	—	—	刊本	—
4	403	広報山添 第46号	昭和41.1.15	発行所 奈良県山辺郡山添村役場	—	—	刊本	—
4	86	〔民生委員会定例会関係メモ帳、昭和41～42年〕	昭和41	—	—	—	豎帳	—
4	94	世帯票 児童票 (担当地区 山添村上西波多・下西波多、昭和44～46年)	昭和44	民生委員・児童委員 中西千加	—	—	豎帳	—
4	102	上津婦人学級の記 (民生児童委員全国研修会メモあり)	昭和45.3.—	中西千加	—	—	豎帳	—
14	7	世帯更生貸付資金償還完了通知について	昭和47.8.25	奈良県社会福祉協議会長職務代理副会長 安川義永	担当民生委員 中西千加殿	—	一紙	—
4	72	奈良県福祉だより 第217号	昭和49.1.10	奈良市高畑町 奈良県社会福祉協議会	—	—	一紙	—
14	2	民生委員おぼえ書 (児童問題と実態調査について、各種保険と年金の研究についてなど)	昭和49.1.—	中西千加	—	—	豎帳	—
4	147	〔綴、昭和49年度山添地区社会福祉大会要綱など〕	昭和49.11.6	—	—	—	仮綴	—
4	114	新村建設計画基礎調査書	(昭和)	奈良県山辺郡山添村	—	—	豎帳	—
4	220	〔封筒〕	(昭和)	奈良県山辺郡山添村役場	上西波多 中西喜正殿	—	封筒	—
4	213	庁舎建築工事監督日割表	昭和	奈良県山辺郡山添村役場	上西波多 中西喜正殿	—	一紙	封筒あり
3	471	〔別紙指令送付状〕	(近代).11.9	波多野村役場	中西繪治郎殿	—	一紙	437～483包紙にて一括
3	332	取替金総高調	(近代)	—	—	—	豎帳	—
3	427	山辺郡波多野村勤労貯蓄規約	(近代)	—	—	—	豎帳	368～435ひもにて一括
3	434	景況調	(近代)	—	—	—	一紙	368～435ひもにて一括
3	465	〔封筒〕	(近代)	奈良県山辺郡役所	岩滑郡波多野村役場御中	—	封筒	437～483包紙にて一括
3	467	〔封筒〕	(近代)	波多野村役場	大字西波多 中西繪治郎殿	—	封筒	437～483包紙にて一括
4	45	繰替払一件	(近代)	—	—	—	豎帳	—
4	68	〔新築費取替金・協議費取替金など諸費勘定帳、45と関連カ〕	(近代)	—	—	—	豎帳	—
5	53	〔有権者一覧〕	(近代)	—	—	—	一紙	—
5	57	山辺郡開票結果	(近代)	—	—	—	一紙	—
8	28	(裁判) 注意書 (はかき)	(近代)	裁判所	—	—	はかき	—

【戸口】

3	149	宗旨送り一札之事	嘉永5.正.—	藤堂和泉守殿領分山辺郡大塩村宗旨送り主庄 三部後家 ～ハ、同村年寄 常吉、同村同断 勇治、同村庄屋 井岡政之丞	奥田主馬様御知行所同郡上津村 儀兵衛殿、御役人中	—	一紙	包紙あり
3	154	宗旨請込手形之事	嘉永7.正.—	伊賀国名張郡篤生村年寄 重藏、同 門、同村庄屋 藤森伊兵衛	和州山辺郡畑上津村御役人衆中	—	一紙	包紙あり
3	147	年季奉公人請状之事 (三ヶ谷村儀助仲卯藏17才、丸5ヶ年限り、給銀金15両請取につき)	安政6.12.—	三ヶ谷村借主 儀助、同村組頭 勇藏、同村 庄屋 甚藏	上津 喜左衛門殿	—	一紙	147～148包紙にて一括
3	148	差入申書付之事 (三ヶ谷村儀助・仲藤助近年大借のところ、仲卯藏丸5ヶ年奉公給金10両にて相続につき)	安政6.12.—	三ヶ谷村本人 儀助、親類惣代庄屋 甚藏	卯藏江	—	一紙	147～148包紙にて一括
3	3	宗旨請込手形之事 (治田村市田竹蔵伯母きせ、上津村勇藏方へ縁付きにつき、写)	元治2.正.—	奥田下野守殿御領分和州山辺郡上津村宗旨請込主 勇藏、庄屋 井岡卯兵衛	藤堂和泉守様御領分伊州伊賀郡治田村庄屋 勝嶋政次郎殿	—	一紙	—
10	127	宗旨請込手形之事 (治田村市田竹蔵伯母きせ)	元治2.正.—	奥田下野守殿御知行所和州山辺郡上津村庄屋 宇兵衛	藤堂和泉守御領分伊州伊賀郡治田村庄屋 勝嶋政次郎殿	—	一紙	—

3	151	宗旨送手形之事	(近世)	藤堂和泉守様御領分伊州伊賀郡治田村庄屋 勝嶋政次郎	奥田下野守様御知行所和州山辺郡上 津村庄屋 井留守兵衛殿	一紙	包紙あり
3	156	宗旨請込手形志通(包紙)	(近世)	上津村より	治田村江	包紙	
3	121	奉公人請伏之事(切幡村久三郎伴忠五郎26才、1ヶ年季、給金12両のうち前給金6両請取につき)	明治3.12.—	切幡村奉公人親 久三郎、同村相頭 政右衛門、同村年寄 平兵衛、同村庄屋 井岡政五郎	上津村 喜左衛門殿	一紙	包紙あり
3	201	人籍請込証	明治7.10.—	同県御管下同国第二大区山辺郡吉小区大西村副戸長 峠文吉	同県御管下同国第二大区山辺郡吉小区上津村正副戸長御中	一紙	201包紙あり
3	212	請込証(上津村桜坂惣七二男右松送籍につき)	明治7.10.—	菅生村副戸長 田畑清八	御同県管轄同国同郡吉小区上津村正副戸長御中	一紙	212包紙あり
3	196	加籍券	明治7.11.1	第壹大区三小区奈良南袋町副戸長 小島一馬、第三小区戸長 石川嘉平	同県御管下同国第二大区吉小区山辺郡上津村正副戸長御中	一紙	196包紙あり
3	393	送籍御願	明治13.9.16	願人 森川嘉市郎、同断 森川ちく、惣代 中西喜市郎	第三聯合戸長役場御中	豎帳	368～435ひもにて一括
5	155	山辺郡広代村姓氏人名	明治15	中西禧次郎	—	横半帳	
3	150	雇人請書(貸金取引用至高橋伴吾御雇入)	明治19.8.30	三重県伊賀国阿拜郡東村高橋伴吾兄 高橋延次郎、同国同郡鳥ヶ原村 岩佐市郎兵衛	大阪府大和国山辺郡西波多村 中西喜市郎	一紙	
9	45	奉公人請証	明治20.3.21	戸主山辺郡伏拝村 柳本多三郎、同村住処人 南岡五郎	同郡西波多村 中西喜一郎殿	一紙	
3	337	加籍御届	明治20.4.10	中西喜市郎	戸長 中森甚治郎殿	一紙	368～435ひもにて一括、376封筒あり
3	376	[通知、転籍届受領につき]	明治20.4.8	大阪府山辺郡春日村外七ヶ村戸長役場	西波多村 中西喜市郎殿	一紙	
3	397	漏籍者編入御願	明治26.12.18	中西喜三郎	奈良県知事 小牧昌業殿	豎帳	368～435ひもにて一括
3	383	[通知、戸籍書類提出につき]	明治26.12.20	奈良県内務部第三課	—	一紙	368～435ひもにて一括
3	338	戸籍謄本(中西喜三郎)	明治39.3.29	奈良県山辺郡波多野村戸籍吏 久保直次郎	—	一紙	
3	339	送籍御願	(明治)	中西喜市郎	春日村外七ヶ村戸長 中森甚治郎殿	一紙	
3	341	人員帳(包紙)	(明治)	中西喜市郎	—	包紙	
3	343	人員帳	(明治)	大和国第壹大区四小区山辺郡西波多村 中西喜市郎	—	豎帳	
3	344	人員帳	(明治)	大和国第壹大区四小区山辺郡西波多村戸主 中西喜市郎	—	豎帳	
3	345	人員帳	(明治)	中西喜市郎	—	豎帳	
3	368	送籍御願	(明治)	山辺郡中峰山村 奥谷栄吉	郡長 稲葉通久殿	一紙	368～435ひもにて一括
3	371	送籍御願	(明治)	山辺郡西波多村 中西喜一郎、同人男 中西禧次郎、ほか2名	郡長 稲葉通久殿	豎帳	368～435ひもにて一括
3	382	送籍御届	(明治)	山辺郡西波多村惣代 中西喜市郎	第三聯合戸長役場御中	一紙	368～435ひもにて一括
3	398	送籍御届	(明治)	山辺郡西波多村 中西喜市郎	戸長役所御中	一紙	368～435ひもにて一括
5	95	(中西喜市郎家戸籍)	(明治)	—	—	豎帳	
4	27	戸籍謄本(戸主中西禧治郎)	大正6.4.—	—	—	豎帳	
7	21	雇入人賃金勘定簿(大正15年～昭和5年)	大正15	中西	—	豎帳	
9	71	[書状 戸籍片付一年程猶子願につき]	(大正カ)14.11.—	中西 筆	西社清治郎様	一紙	47～84こよりにて一括
4	210	人名録	昭和13	—	—	豎帳	

7	179	奉公人下男給金前貸証(封筒)	(近代)	豊原村三ヶ谷 岡本忠太郎	—	封筒
---	-----	----------------	------	--------------	---	----

【土地・山林・家屋・土木】

3	15	売渡し申田地之事	享保15.12.24	上ツ村売主 久助、同村庄や 喜七郎、同村年寄 庄兵衛、同断 平十郎、同断 儀兵衛、同断 喜三郎	上ツ村 弥三郎殿	一紙	
3	16	売渡申山林之事	安永7.2.—	上津邑売主 文七、同村与力 嘉七、同年寄 本七、同 清六、同庄屋 喜七郎	同村 吉郎兵衛殿	一紙	
3	17	売渡し申田地之事	安永8.8.—	売主 上津村 勘助、与力 助六、年寄 重七、同断 本七、同断 清六、世話人 助、庄や 喜七郎	大塩村 吉ノ丞殿	一紙	
3	18	売渡申田地之事	天明2.6.15	田地売主 上津村 勘助、与力 春太郎、年寄 嘉七、同断 本七、同断 清六、庄屋 喜七郎	大塩村 弥七良殿	一紙	
3	21	永々売渡申田地山之事	文政6.8.—	大塩村田地山売主 藤兵衛、組頭 久次、セワ人 嘉四郎、年寄 源之丞、庄や 庄兵衛	上津村 伝藏殿	一紙	
8	130	永々売渡申田地山之事	文政6.9.—	大塩村売主 平助、同与力 平兵衛、右口入 世話人 新七、同庄屋 庄兵衛	上津村 中西氏喜左衛門殿	一紙	
3	23	永々売渡し申山之事(上津村伝右衛門買請の山売渡)	文政7.12.—	大塩村売主 久治、年寄 源之丞、庄屋 庄兵衛	上津村 伝藏殿	一紙	
3	24	永々売渡し申畑之事	文政8.10.—	大塩村畑ヶ売主 藤兵衛、組頭 久次、庄屋 庄兵衛	上津村 伝藏殿	一紙	
3	1	売渡し申田地之事	文政9.8.—	上津村田地売主 平次郎、与力 喜十郎、年寄 林藏、同断 甚之丞、庄屋 喜兵衛	喜左衛門殿	一紙	包紙あり
8	145	売渡し申田地之事	文政9.8.—	田地売主 忠助、与力 喜十郎、年寄 林藏、同断 甚之丞、庄屋 喜兵衛	喜左衛門殿	一紙	
3	25	売渡申田地之事	文政9.12.28	田地売主 喜七郎、与力 庄屋 喜兵衛、世話人 徳兵衛	中西喜左衛門殿	一紙	
3	26	売渡し申山林之事	文政10.正.—	山林売主(上津村) 多藏、与力 平六、年寄 林藏、同断 甚之丞、庄屋 喜兵衛	喜左衛門殿	一紙	包紙あり
3	27	売渡し申山之事	天保2.9.—	下津村山売主 清藏、同村庄屋 吉藏、同村年寄 金藏、同村同断 兵藏	上津村 中西喜左衛門殿	一紙	
3	48	売渡申田地之事	天保2.11.11	田地売主 大塩村 常四郎、同村与キ(▽△) 受人 常治、同村年寄 武平次	上津村 中西喜左衛門殿	一紙	
3	28	売渡し申田地山林之事	天保3.4.—	田地山林売主 儀兵衛、年寄 甚介、同 甚七、庄屋 喜兵衛	喜左衛門殿	一紙	
3	29	売渡し申証文之事(荒島・山林売渡)	天保3.11.—	売主 利平、与力 兵藏、年寄 甚助、同断 甚七、庄屋 喜兵衛	喜左衛門殿	一紙	包紙あり
3	32	売渡し申田地之事	天保4.10.—	田地売主(上津村) 政之丞、与力 新次、年寄 甚助、同断 甚七、庄屋 喜兵衛	喜左衛門殿	一紙	包紙あり
3	33	売渡し申田地之事	天保5.12.—	田地売主 武藏、与力 義兵衛、年寄 甚助、同断 甚七、庄屋 喜兵衛	喜左衛門殿	一紙	
3	37	【山売渡証文、このたび右の山買取のところ、元額にて其元殿へ売渡】	天保6.5.晦	大塩村 常四郎	上津村 喜左衛門殿	一紙	
3	35	年切売渡し申証文之事(山売渡)	天保6.12.—	売主 清治、請人 政之丞、与力 安治	同村 勇藏殿	一紙	
3	36	年切売渡し申証文之事(山売渡、35の写)	天保6.12.—	売主 清次、請人 政之丞、与力 安治	同村 勇藏殿	一紙	

39	売渡シ申山之事 (元銀返済申し候得者、き之上きりと、山御返弁下さるべくにつき)	天保7.9.26	下ツ村売主 庄兵衛、同村庄や、佐藏、同村寄(マツ) 吉藏、同さん(マツ) 要兵衛	上津村 喜左衛門殿	一紙	包紙あり
41	売渡申山林之事	天保8.9.-	売主上津むら 甚七、年寄 甚介、同断 甚藏、庄や 喜兵衛	喜左衛門殿	一紙	包紙あり
42	売渡シ申山林之事	天保8.10.-	売主 嘉平次	村 喜左衛門殿	一紙	
44	売渡申田地之事 (新聞井溝普請金指詰につき)	天保9.7.20	田地売主上津 喜七郎、与力庄屋 喜兵衛、年寄 甚藏、同断 甚助、同断 甚七、村惣代 武兵衛	中西源大夫殿	一紙	包紙あり
47	売渡申田地之事 (代銀120匁にて売渡、来亥年より作徳米1斗3升ずつ相計らいにつき)	天保9.11.-	売り主 多藏、年寄 甚七、同断 甚助、庄屋 喜兵衛	中西源大夫様	一紙	
52	売渡申田地之事	天保12.閏正.-	田地売主大塚村 吉左衛門、受人 常四郎、年寄 常治、同 喜兵衛	上津村 源大夫殿	一紙	包紙あり
6	売渡シ申田地添証文之事	天保12.7.-	田地売り主 喜七郎伴玄番、惣代 武兵衛、年寄 甚藏、同断 甚助、同断 甚七、庄屋 喜兵衛	源大夫殿	一紙	
87	売渡申畑ケ之事 (奥に安政4年正月付中西喜左衛門宛勇藏添証文あり)	天保12.7.-	畑ケ売り主 喜七郎伴玄番、惣代 武兵衛、年寄 甚藏、同断 甚助、同断 甚七、庄屋 喜兵衛	源大夫殿	一紙	
54	売渡シ申畑ケ之事 (申年に父政之丞未進銀に差詰につき)	天保12.11.-	売り主村 清治、惣代 武兵衛、年寄 甚助、同断 甚七、庄屋 喜兵衛	源大夫殿	一紙	
116	売渡申証文之事 (絶人株荒畑・山、少々心得違のため売渡)	天保13.5.22	売主惣代 徳兵衛、年寄 林藏、同 武兵衛、同 甚七、庄や 進藤藤次郎	上津村 仲藏殿	一紙	
58	売渡シ申荒畑ケ之事	天保13.6.-	売主 伊之助、世話人 勇次郎、惣代 徳兵衛、役人 武兵衛	源大夫殿	一紙	
119	売渡申山林之事	天保13.6.-	上津村売主 彦藏、惣代 徳兵衛、年寄 林藏、武兵衛、庄屋 藤治	中西喜右(マツ)衛門	一紙	
142	売渡申田畑井山林之事	天保13.6.-	上津村売主 忠助、惣代 徳兵衛、年寄 林藏、武兵衛、庄屋 藤治	中西喜左衛門	一紙	
10	152 (田畑山林売渡証文断簡)	天保13.7.-	上津村売主 平助、同惣代 徳兵衛、同年寄 武兵衛、同 林藏、同 藤次郎	中西喜左衛門殿	断簡	150~158こよりにて一括、152前欠
3	59 売渡シ申畑ケ之事 (茶畑売渡)	天保13.9.-	売主上津村 多藏、年寄 武兵衛、同断 甚七、庄屋 藤次郎	源大夫殿	一紙	包紙あり
3	62 売渡シ申証文之事 (字午かい谷・字ほじ売渡)	天保14.12.10	上津村売主 清藏、年寄 甚七、同 林藏、庄屋 藤次郎	村 源大夫様	一紙	包紙あり
3	146 泰耀口上尊(上津村百姓喜左衛門居宅建直願につき、持高15石5余、居宅梁行3間半・桁行6間半、屋根茅葺、四方3尺庇瓦葺、奥に天保15年5月14日付和州下山田北向寄大工人数取取締伊助宛中井岡次郎役人清水富右衛門・田中東左衛門達あり)	天保15.3.-	和州山辺郡上津村家主 喜左衛門、同村年寄 甚七、同村庄屋 藤次郎、同国同郡菅生村大工 武藏、同国同郡下山田北向寄大工取締 長引村 伊助	中井岡治郎様御役所	一紙	
3	68 売渡申田地之事	弘化2.2.-	田地売り主 利七、庄屋 藤治郎、年寄 武兵衛、ほか3名	源大夫殿	一紙	包紙あり
3	70 売渡シ申年季証文之事 (代銀200目にて10ヶ年間田地売渡)	嘉永2.11.-	田地売主 彦藏、年寄 定七、同断 多藏、同断 林藏、庄屋 嘉藏	中西源大夫殿	一紙	
3	74 売渡シ申山林之事 (字ヒヤノ木谷山林2ヶ所、絶人5人分共売渡)	嘉永5.2.-	売主 平兵衛、村惣代 武兵衛、年寄 定七、同 多藏、同 林藏、庄や 政介、ほか6名	喜左衛門殿	一紙	
3	73 替事証文(字山田桐木山1ヶ所立木共引請、この引替に字ひやの木谷竹山1ヶ所立木共相渡しにつき)	嘉永5.6.16	宇兵衛	中西喜左衛門様	一紙	包紙あり

3	72	売渡申山林之事	嘉永5.12.17	上津村売主 平兵衛、年寄 定七、同断 多藏、同断 林藏、庄屋 政助	村 喜左衛門様	一紙	
3	80	売渡申田地之事	嘉永6.7.—	上津村売主 喜左衛門、年寄 定七、庄屋 政助	月之瀬村 武兵衛	一紙	
3	78	差入申書付之事(田地買戻銀不足分返済につき)	嘉永6.12.10	下津村借主 武藏、請人 甚七	上津村 喜左衛門	一紙	
3	135	譲り証文之事(田地・山林)	嘉永7.正.—	中西源大夫	普代召抱 庄吉殿	一紙	135～138こよりにて一括
3	136	売渡申あれ畑ケ事(当冬出物銀差詰につき)	(嘉永7.正カ)	うりぬし 村中、惣代 武兵衛、年より 蔵、同断 定七、同断 林藏、庄屋 政介	庄吉殿	一紙	135～138こよりにて一括
3	137	譲り渡文之事(田地・山林)	嘉永7.正.—	中西源大夫	庄吉殿	一紙	135～138こよりにて一括
3	138	譲り証文之事(田地・山林、写)	嘉永7.正.—	中西源大夫	庄吉殿	一紙	135～138こよりにて一括
3	287	小作証文之事	安政3.3.—	添下郡兵庫村耕作人 惣兵衛、同伴 惣吉	同部平松村 かせ屋平太郎殿	一紙	238～312ひもにて一括
3	134	田地預り証文之事(寅年大地震にて出水切につき)	安政3.9.—	大塩村田地作り主 常吉、与力 伝之丞、年寄 周蔵、同断	上津村 中西喜左衛門殿	一紙	
8	115	売渡し申田地之事	安政3.11.—	売主 村中、惣代 東太、年寄 卯兵衛、同 武助、同 政一郎、庄や 清六	喜左衛門殿	一紙	
2	16	売渡申添証文之事(武蔵より私へ買請の字はり夫田畑山林、其元へ代銀800目にて売渡)	安政6.8.—	喜左衛門	下つ 藤井銀藏殿	一紙	
8	114	売渡申田地之事	安政6.12.—	売主 生株之分 民藏、勇次郎、儀七、喜兵衛、絶株ハ村惣代 新蔵、年寄 勇助、同断 勇次、同断 多兵衛、庄屋 清六	仲西喜左衛門殿	一紙	
8	134	売渡し申証文之事	安政7.正.—	売主 文吉、年寄 勇次、同断 勇助、同断 多兵衛、庄屋 清六	喜左衛門殿	一紙	
3	95	売渡申山林田地之事(申12月3日付平兵衛宛カキ元利銀勘定覚のはさみ込みあり)	安政7.2.—	売主 平兵衛、与力 惣吉、年寄 勇助、年寄 勇次、同断 多兵衛、庄屋 清六	中西喜左衛門殿	一紙	包紙あり
10	129	売渡し申畑之事	文久元.12.—	売主 栄次郎、与力 常八、年寄 勇助、同断 多兵衛、庄や 清六	喜左衛門	一紙	
10	153	〔文久元酉年10月改26石5斗差引勘定覚〕	丑(元治2カ).2.—	—	—	一紙	150～158こよりにて一括
10	151	売渡申田地之事	慶応2.12.—	売主 上津村 喜左衛門、与力 政治郎	大塩村 宇兵衛	一紙	150～158こよりにて一括
10	142	売渡申田畑山林之事	慶応3.8.—	売主 清三郎、世話方 栄三郎、年寄 新蔵、同断 多兵衛、同断 庄屋代 清六	中西喜左衛門	一紙	140～147こよりにて一括
3	110	永々売渡申山林之事	慶応3.8.—	上津村売主 嘉平次、与力 佐吉、組頭 平兵衛、年寄 多兵衛、同断 新蔵、庄屋代 清六	同村 仲西喜左衛門殿	一紙	包紙あり
3	111	売渡申山林之事	慶応3.8.—	上津村売主 嘉平次、与力 佐吉、組頭 平兵衛、年寄 多兵衛、同断 新蔵、庄屋代 清六	同村 仲西喜左衛門殿	一紙	
3	112	売渡申田地之事(其御元より買請の田地、其元様にて御上納方そのほか借用銀嵩の片付のため売渡)	慶応4.4.—	上津村田地売主 儀八、与力 孫太郎、年寄 多兵衛、同断 嘉次郎、同断 新蔵、庄屋 清六	同村 喜左衛門殿	一紙	
3	20	山証文(包紙、「大塩村常四郎殿 常四郎より喜左衛(マコ)殿」)	未(近世).5.—	—	—	包紙	
3	7	覺(田地川欠・砂入代銀、作主政治家へ割渡し、および平兵衛借用銀庄屋仕替、残り銀政治家方より相渡しにつき)	申(近世).2.4	庄屋 清六	仲西喜左衛門様	一紙	
2	18	覺(炭山1ヶ所・片キ2本立代銀札810匁に売渡につき)	(近世).11.—	栄二郎	酒屋喜右(マコ)衛門様	一紙	
3	122	山林証文書通入(包紙)	(近世カ)	嘉平次	中西喜左衛門殿	包紙	

3	124	山林証文書通(包紙)	(近世カ)	上ツ 嘉兵衛(マヅ) 治	—	包紙	
3	312-3	(田地反別書上)	(近世カ)	—	—	—	238～312ひもにて一括
10	155	売渡シ申田畑之事	(近世)	—	—	—	150～158こよりにて一括
3	115	売渡シ申山林之事	明治2.2.—	山林売主 岩松、年寄 嘉治郎、同断 藏、同断 多兵衛、庄屋 清六	新 喜左衛門殿	—	包紙あり
3	113	売渡シ申証文之事(其村領分越石地の田地売渡)	明治2.12.—	月之瀬村売主 常七、与力 平八、年寄 三郎、庄や 定助	上津村 喜左衛門殿	—	包紙あり
3	114	売渡申証文之事(其村領分越石地の田地売渡、3-113の雛形)	明治2.12.—	月之瀬村売主 常七、与力 誰、年寄 誰、庄屋 誰	上津村 誰殿	—	—
9	1	年季売渡ス杉山之事	明治3.11.—	片平村売主 栄三郎、与力 請人 儀藏、年寄 善七、同断 勇治郎、庄屋 由輔	上津村 中西喜左衛門殿	—	包紙あり
8	149	西波多小作証其他諸証書(一括、明治3～38年)	明治3	—	—	—	一括 101点一括
8	103	売渡申田地之事(一括)	明治4.2.—	売主 嘉平治	卯兵衛殿	—	一括 5点一括
3	119	役(マヅ) 定之通(売買御上納金差詰のため、田地売渡につき)	明治4.3.6	売主 嘉平次、与力 佐吉、世話方 吉五郎	喜左衛門殿	—	—
3	120	売渡シ申田地之事(売買金差詰につき)	明治4.3.6	田地売主 嘉平次、与力 佐吉、世話方 吉五郎、年寄 嘉治郎、同断 清六、同断 兵衛、庄屋 喜左衛門	勘兵衛殿	—	—
9	32	年季譲り渡し申候山林之事	明治5.2.—	片平村譲り主 栄二郎、同村与力 儀藏、同年寄 勇治郎、百姓惣代 豊助、庄屋 文三	上津村 中西喜平治殿	—	—
8	152	小作証 萩 針ヶ別所(一括、明治6～37年)	明治6.2.—	—	—	—	一括 42点一括
9	26	山反別—筆限代価取調帳	明治6.9.—	大和国山辺郡片平村 同郡上津村入作 中西 喜平治	—	—	—
3	209	引合書(大塩村善九郎所持山林、地券証引渡至当、および盗伐の段につき)	明治8.2.—	大塩村副戸長 岡本甚平、岡田宇平	上津村副戸長御中	—	—
9	10	券証切替入費記書	明治9.2.13	夫 脇山栄三郎、年番 北口清次郎	西波多邸 中西喜平治殿	—	—
3	162	乍恐書付を以御歎願奉申上候(畑地試作につき)	明治9.9.18	大和国第二大区六小区山辺郡西波多村什長 井久保貞次郎、同 進藤喜平	—	—	—
10	109	山境目取調井二立木売上扣(くくりつけ文書10点あり)	明治10.1.5	—	—	—	—
8	140	山林売渡し証書	明治10.3.15	山林売主 窪田定吉、与力 井戸根吉五郎、世話方 井岡嘉治郎	中西喜市郎殿	—	—
3	317	地面取調帳	明治10.4.中旬	山辺郡西波多村 中西喜市郎	—	—	—
3	342	地面取調帳	明治10.4.—	山辺郡西波多村 中西喜市郎	—	—	—
5	14	田地永売渡証書	明治10.12.9	田地永売主 窪田惣吉、証人与力 進藤佐次郎	中西喜市郎	—	—
10	85	(85～107こより一括、山地永売渡証書など)	明治11.2.19	西波多村山地売入 村中、代り代 井久保兵藏、井岡藤太郎、中西喜治郎、取扱人 福井吉次郎、藤田喜兵衛、総代 井岡嘉次郎	中西喜市郎	—	一括 85～107:23点一括 (86～107整理番号のみ)
8	108	山地永売渡証書	明治11.3.2	西波多村山地永売渡主 藤田常吉、同村与力 藤田喜平	同村組頭 中西喜市郎殿	—	—
11	64	栗里村金借小作証(一括、明治11～41年)	明治11.9.24	—	—	—	一括 10点一括
9	4	証(地券証受取につき)	明治11.11.17	西波多村 中西喜一郎	堂前村総代 的場栄治郎様	—	一括 3～4一括
3	361	地券(大和国山辺郡西波多村字下出 住宅)	明治13.3.15	堺県	中西喜市郎	—	—
3	362	地券(大和国山辺郡西波多村字下出 墓地)	明治13.3.15	堺県	中西喜市郎	—	—

11	43	地券(明治18年11月18日西波多村中西喜市郎所有)	明治13.3.15	堺県	大和国山辺郡下空間村持主 藤井基五郎	一紙	
8	111	山林売渡し証券	明治13.4.—	山林売渡人 藤田龜松	中西喜平治殿	一紙	
8	104	譲渡証(田地・山林)	明治14.9.14	—	実父 中西喜平治	豎帳	
8	137	譲渡証	明治14.9.14	(菊治郎)	—	一紙	
10	112	地券(一括)	明治14.11.7	—	—	一括	332点一括
9	105	地券(中峯山村字フルマ、田)	明治14.11.21	大阪府	遅瀬村持主 杉本武平	一紙	
4	298	(一括、西波多土地権利誌、土地買得証など)	明治14.12.7	—	—	一括	封筒にて7点一括
9	104	地券(遅瀬村字ヤナキダニ、畑)	明治15.3.23	大阪府	遅瀬村持主 上西平七	一紙	
9	103	地券(中峯山村字フルマ)	明治15.4.28	大阪府	遅瀬村 杉本武平	一紙	
8	109	山地売渡し之事	明治16.10.4	西波多山地売主 藤田龜松、藤田喜平、親類証人 藤田常吉、同断証人大塩村 木貫久四郎	中西喜市郎殿	一紙	
8	139	山林売渡し証	明治16.10.4	山林売渡主 藤田龜松、親類証人 藤田常吉、引受人大塩村 木貫久四郎	中西喜市郎殿	一紙	
7	1	波多野村不動産登記簿証書(綴、明治17年~大正12年)	明治17.1.5	中西繪治郎	—	仮綴	
3	363	地券(大和国山辺郡西波多村 山地)	明治17.8.5	大阪府	—	一紙	
7	141	地券(一括)	明治17.8.5	大阪府	中西喜市郎	一括	131~145こよりにて一括、141封筒にて4点一括
8	141	地所売渡し証	明治17.9.24	山辺郡箕輪村売主 川田新五郎、同村保証人 川田泰次郎	中西喜市郎殿	豎帳	
7	164	(金田借借証・小作証・田地永代売渡し証券一括、明治17~31年)	明治17.10.23	—	—	一括	封筒にて17点一括
7	168	(譲渡証書・約定証一括)	明治17.11.29	—	—	一括	封筒にて4点一括
7	169	地所売渡し証券	明治18.1.8	大和国山辺郡三ヶ谷村 岡田政七	同郡西波多村 中西喜市郎殿	豎帳	
11	52	地所売渡し証	明治18.1.14	大和国山辺郡下空間村売渡人 藤井多平治、引受人同村 藤田喜市郎	同郡同郡西波多村 中西喜市郎殿	豎帳	
8	106	山地永売渡し証券	明治18.1.20	山地売渡人西波多村 藤田龜松、同村保証人 進藤与三郎	中西喜重郎殿	一紙	
11	41	田畑小作之証券	明治18.2.5	大和国山辺郡下空間村小作人 藤井多平治、加判人 松村金蔵、白井變三郎、藤田喜市郎	同郡西波多村 中西喜市郎殿	一紙	
8	113	山地売渡し証券	明治18.2.10	大和国山辺郡大塩村売渡人 浦久保勇四郎、山本福石	中西喜市郎殿	一紙	
8	133	共有山地永売渡し証	明治18.3.—	山辺郡西波多村共有山地売渡人 井岡嘉次郎、ほか5名、保証人 福井吉蔵	中西喜市郎殿	一紙	
11	44	(一括、山辺郡東里村大字下笠間小作人藤井基五郎など田畑小作証券など、明治18~26年)	明治18.5.16	—	—	一括	6点一括
4	14	地所売渡し為取替証	明治18.5.23	山辺郡片平村 岡田嘉平治	西波多村 中西喜市郎殿	一紙	13~17包紙にて一括
4	13	地所売渡し証	明治18.5.24	大和国山辺郡片平村売主 岡田嘉平治、同村保証人 上井平七	同郡同郡西波多村 中西喜市郎殿	一紙	13~17包紙にて一括
11	69	地所売渡し証券	明治18.9.24	大和国山辺郡下空間村地所売渡主 藤井基五郎、保証人同郡同村 福山貞五郎	山辺郡西波多村 中西喜市郎殿	豎帳	破損甚大
8	99	地所売渡し証	明治18.10.21	山辺郡三ヶ谷村売渡人 馬場基太郎、引受人 馬場重太郎	同郡西波多村 中西喜市郎殿	豎帳	

8	126	売渡畑山地証券	明治18.11.6	森川嘉蔵、森川嘉市郎、戸長中森基治郎公証	中西喜市郎殿	—	—	—	—	—	—	—	—
7	167	田畑売渡証券	明治18.11.14	大阪府下大和国山辺郡岩屋村 井上重大郎	同国同郡西波多村 中西喜市郎殿	—	—	—	—	—	—	—	—
7	180	地所建物買売一件（一括、明治18～28年）	明治18	—	—	—	—	—	—	—	—	180～182封筒にて一括、180：6点一括	—
9	16	畑地売渡証券	明治19.1.11	田中源七、保証人 車谷善九郎	山辺郡西波多村 中西喜市郎殿	—	—	—	—	—	—	—	—
4	334	土地買得証	明治19.1.25	脇阪多平	中西繪治郎様	—	—	—	—	—	—	—	—
9	5	大和国山辺郡堂前村第二百三十九番中西喜市郎所有地二有之建物（登記略図）	明治19.2.22	大和国添上郡窪ノ庄村建物売主 堀内文司	同国山辺郡西波多村 中西喜市郎殿	—	—	—	—	—	—	—	—
11	51	地所売渡証券	明治19.3.3	大和国山辺郡下空間村売渡人 白井愛三郎、同郡同村引受人 白井伝重郎、藤田重次郎	同郡西波多村 中西喜市郎殿	—	—	—	—	—	—	—	—
7	158	小作証	明治19.3.5	山辺郡大塩村 奥谷辰石、保証人 久保周造	西波多村 中西喜市郎殿	—	—	—	—	—	—	—	—
4	383	地租地券証印税	明治19.5.10	郡長 稲葉通久	山辺郡西波多村 中西喜市郎代植田 豊長納	—	—	—	—	—	—	—	—
9	25	他村所有田畠宅山林明細帳	明治19.7.一	大阪府下大和国山辺郡西波多村所有主 中西喜市郎	—	—	—	—	—	—	—	—	—
11	70	地所売渡証	明治19.9.13	大和国山辺郡下空間村売渡人 田中利三郎、同村引受人 森村久五郎、松村金蔵	同郡西波多村 中西喜市郎殿	—	—	—	—	—	—	—	—
11	42	御依頼書（地目変換につき）	明治19.12.6	藤田重治郎	中西喜市郎殿	—	—	—	—	—	—	—	—
7	157	〔山辺郡豊原村大字大塩中谷佐次郎小作契約関係一括、地所売渡証券、小作証書、地所年期限証など、明治20～27年〕	明治20.1.13	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—
7	183	地所売渡証券	明治20.3.20	添上郡尾上村売渡人 浦田興四郎、尾上村保証人 中岡善三治	山辺郡西波多村 中西喜市郎殿	—	—	—	—	—	—	—	—
7	184	山地売渡之確証	明治20.3.20	添上郡尾山村売渡人 浦田幸四郎、保証人 中岡善三治	当国山辺郡西波多村 中西喜市郎殿	—	—	—	—	—	—	—	—
7	185	田地小作証	明治20.5.1	三ヶ谷村小作人 馬場るい、引受人同村 馬場重太郎	西波多村 中西喜市郎殿	—	—	—	—	—	—	—	—
7	159	土地買得権利証（一括）	明治20.11.21	西波多 桜坂惣四郎	—	—	—	—	—	—	—	—	—
11	49	地券証借受書	明治21.4.4	下空間村人民総代 今西善三郎	西波多村 中西喜市郎殿	—	—	—	—	—	—	—	—
11	56	〔照会、地券証書換につき〕	明治21.4.6	奈良県山辺郡小原村外六ヶ村戸長役場	同県同郡西波多村 中西喜市郎殿	—	—	—	—	—	—	—	—
8	156	荒地免租継年期御付与願	明治21.4.16	大和国山辺郡西波多村地主 中西善一郎、戸長代理用掛 久保直次郎	奈良県知事子爵 祝所篤殿	—	—	—	—	—	—	—	—
4	293	田地売渡之書証	明治22.4.9	奈良県山辺郡波多野村大字西波多 中西喜市郎	添上郡月瀬村大字尾山 南田勘四郎	—	—	—	—	—	—	—	—
9	37	証（雑木山売渡につき）	明治23.8.30	中西喜市郎	大字片平 奥中惣三郎様、今中伊三郎様、中肥 脇山栄三郎様	—	—	—	—	—	—	—	—
4	297	地所売渡添証	明治23.12.21	大字西波多売渡人 谷口文吉	中西繪次郎	—	—	—	—	—	—	—	—
12	27	証書及受取証一件書類返戻（一括、土地建物売買ニ付契約書、財産調査、土地売渡証書など、明治24～38年）	明治24.3.23	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—
9	20	証（木材代金受取につき）	明治24.6.25	西波多 中西喜市郎	大字片平 奥中惣三郎様、今中伊三郎様、脇山栄三郎様、今西善松様	—	—	—	—	—	—	—	—
10	32	橋梁架設人夫日帳	明治24.9.11	大字西波多改修委員 井岡嘉次郎、中西喜市郎、福井吉治郎	—	—	—	—	—	—	—	—	—
9	23	〔建物売渡帳〕	明治25.1.15	建物株主 山本福石	中西喜市郎殿	—	—	—	—	—	—	—	—

4	301	地所売渡契約証	明治25.1.23	元地主 廣多七、ほか2名	中西権次郎殿	一紙	封筒あり
11	20	[通知、新田街道改修費寄付人井岡幸太郎外各人、県知事より憲詞につき]	明治25.1.26	山辺郡波多野村役場	大字西波多惣代御中	一紙	封筒あり
7	177	[田畑小作証・地所売買戻し証・金円借借証一括]	明治25.2.8	山辺郡豊原村大字大植 向井かね	—	一括	封筒にて3点一括
9	57	地所売渡証書	明治25.3.2	大和国添上郡月瀬村大字月瀬売渡人 西田吉蔵	大和国山辺郡波多野村大字西波多中西権次郎殿	一紙	47〜84こよりにて一括
6	160	[贖状、水間街道筋山辺郡波多野村大字西波多以東和伊国境に至る道路竣功につき]	明治25.4.8	奈良県添上郡下山辺広瀬平群郡長正七位 平田好	山辺郡波多野村大字西波多中西権次郎殿	一紙	
7	160	地所売渡証書	明治25.10.29	売渡人 坂坂惣四郎	西波多村 中西喜市郎殿	一紙	封筒あり
7	171	畑地小作証	明治26.4.19	山辺郡豊原村大字三ヶ谷 岡田熊石	中西喜市郎殿	一紙	封筒あり
4	138	地所売渡証	明治26.12.27	売渡人 脇出栄三郎、証人 和田鶴松	中西喜市郎殿	一紙	封筒あり
7	165	土地買得権利証 売戻売却一件共	明治27.1.26	添上郡東山村大字北野 吉村善治郎	—	一紙	封筒あり
7	162	地所売渡之証券	明治27.3.22	奈良県添上郡東山村大字北野売渡人 徳谷要三郎	山辺郡波多野村大字西畑(▽▽) 中西喜市郎	一紙	
8	150	土地売渡証(一括)	明治27.4.4	—	—	一括	30点一括
4	75	土地所有者名寄帳	明治27.4.27	山辺郡波多野村大字西波多 中西喜市郎、ほか2名	—	一紙	
7	166	田売渡証券	明治27.5.5	添上郡東山村大字北野 田私浅治郎	山辺郡波多野村大字西波多 中西喜市郎殿	一紙	
5	164	広安太郎畑返戻帳	明治27.9.24	—	山辺郡波多野村大字西波多 広安太郎殿	一紙	
4	166	二分一地形図 奈良近傍三号・四号	明治27.11.25	大日本帝国陸地測量部	—	絵図	
4	310	土地買得権利証	明治28.10.一	元地主 新谷三造	奈良県山辺郡波多野村 中西権治郎殿	一紙	封筒あり
3	386	[照会、街道改修につき]	明治29.1.17	波多野村役場	中西喜市郎殿	一紙	368〜435つもにて一括
4	303	地所売買約定証	明治29.2.26	売渡人 井戸根之松、保証人 進藤岩松	中西権治郎	一紙	封筒あり
11	47	地所仮売証	明治29.4.27	山辺郡波多(野)村字西波多 中西喜市郎	字下空間 藤井多平治殿	一紙	
11	50	地所売渡証書(綴)	明治29	大和国山辺郡波多野村大字西波多 中西喜市郎	大和国山辺郡東里村大字下空間 福田熊次郎殿	一紙	2点仮綴
5	201	所有土地調(綴)	明治30.6.10	—	—	一紙	187〜215封筒にて一括
11	68	淀川流域山林作業認可状	明治30.6.15	奈良県知事 水野寅次郎	山辺郡波多野村大字西波多 中西喜市郎	一紙	
4	156	五分一地形図山田三号 波切村	明治30	大日本帝国陸地測量部	—	絵図	
4	302	[一括、地所売渡証書など]	明治32〜35	—	—	一括	3点一括
11	35	[通知、国土保安に関わる山野再調査につき]	明治33.10.3	波多野村役場	大字西波多惣代 中西喜市郎殿	一紙	封筒あり
3	313	共有林売却件清算 [ ]	明治33.10.20	総代表 井岡嘉治郎	—	一紙	破損あり
4	306	山林刈下契約書	明治33.10.23	奈良県山辺郡波多野村大字西波多刈下売渡契約者 森川角蔵	奈良県山辺郡波多野村西波多 中西権治郎殿	一紙	封筒あり
4	157	五分一地形図山田十三号 流域及水路一覽図	明治33	大日本帝国陸地測量部	—	絵図	
4	299	[一括、地所売渡証など]	明治34.10.一	—	—	一括	封筒にて2点一括
8	121	土地台帳面氏名更正届	明治35.9.一	地主 中西喜三郎	大阪税務管理局長 渡辺義郎殿	一紙	
4	34	土地所有権保存二付登記申請	明治35.10.13	山辺郡波多野村大字西波多申請人 中西喜三郎、同郡同村大字代人 広亀吉	奈良区裁判所針ヶ別所出張所御中	一紙	

5	203	豊原村地所取調	明治36.4.18	豊原村 藤村啓次郎	波多野村 中西権次郎殿	一紙	187～215封筒にて一括、203封筒あり
7	131	未登記土地売買二付土地台帳土地所有者名義更正届	明治36	山辺郡波多野村大字西波多 中西喜市郎、同郡豊原村大字勝原 大矢虎吉	奈良税務署長税務官 桑原政明殿	一紙	131～145こよりにて一括、131封筒あり
7	182	雑木買受二付取為替証	明治37.10.8	豊原村大字堂前買主 東栄蔵、保証人 奥西半三郎	山辺郡波多野村大字西波多 中西喜市郎殿	一紙	180～182封筒にて一括
7	156	必要書類（一括、土地売渡証書など）	明治38.2.10	—	—	一括	封筒にて4点一括
4	305	土地売渡二付契約証書（一括）	明治39.3.10	山辺郡波多野大字西波多元地主 進藤岩松	中西権治郎	一括	封筒にて3点一括
7	142	土地買得証書、地所売渡証書（一括）	明治39.7.13	—	—	一括	131～145こよりにて一括、142封筒にて2点一括
7	143	〔一括、土地売買二付登記申請書、藤田権松殿より買請地所明細書、登記費用一件など〕	明治39.9.18	山辺郡波多野村大字西波多 藤田権松	同郡同村同大字 中西権治郎殿	一括	131～145こよりにて一括、143封筒にて7点一括
7	140	土地売渡証書	明治39.10.6	藤田権松	中西権治郎	一紙	131～145こよりにて一括、140封筒あり
5	144	地所仮売渡証（綴）	明治40.2.24	山辺郡波多野村字西波多地所売渡主 中西喜市郎、下笠間中人 松村金蔵	山辺郡東里村字下笠間 藤井留吉殿	一紙	6点一括
4	296	〔一括、土地所有権保存登記申請書など〕	明治40～41	—	—	一括	131～145こよりにて一括、133封筒あり
7	133	証（山林売渡につき）	明治41.2.11	新谷勇市郎	中西権治郎	一紙	131～145こよりにて一括、133封筒あり
7	139	契約書（綴、地所売却につき）	明治41.2.11	山辺郡波多野村大字西波多 角谷岩松、藤田石松	添上郡東山村大字北野 奥田佐次郎	一紙	131～145こよりにて一括
7	136	土地売渡証書	明治41.2.28	奈良県山辺郡波多野村西波多 新谷勇市郎	奈良県山辺郡波多野村大字西波多 中西権治郎	一紙	131～145こよりにて一括
7	138	〔土地売渡証書綴、明治41年～大正5年〕	明治41.3.2	—	—	一紙	131～145こよりにて一括
7	181	土地贈受証書	明治41.3.17	山辺郡豊原村大字堂前 的場角治郎	山辺郡波多野村大字西波多 中西喜市郎殿、同権治郎殿	一紙	180～182封筒にて一括
4	209	土地売渡証書	明治41.4.20	中西権治郎	元地主 新谷三造様	一紙	131～145こよりにて一括
7	137	土地売渡証書	明治41.4.27	前川権蔵	中西喜市郎	一紙	131～145こよりにて一括
9	51	山林作業御向	明治41.9.30	山辺郡波多野村大字西波多 中西権治郎	奈良県知事 青木義雄殿	一紙	47～84こよりにて一括
4	304	地所売渡二付明細書	明治42.1.22	元地主堂前 奥西半三郎	奈良県山辺郡波多野村 中西権治郎殿	一紙	封筒あり
7	132	土地売渡一件 中峯山岩本梅松へ（一括、借入金証書など）	明治42.3.1	—	—	一括	131～145こよりにて一括、132封筒にて3点一括
9	60	立木二関又ル法律	明治42.4.11	—	—	一紙	47～84こよりにて一括
7	145	〔土地売買証書一括〕	明治42.5.16	奈良県山辺郡射ヶ野所 福住政義	山辺郡波多野村大字西波多 中西権治郎	一括	131～145こよりにて一括、145封筒にて3点一括
9	62	立木売上証	明治42.9.1	—	—	一紙	47～84こよりにて一括
4	312	土地買得証	明治42.9.27	辻源蔵	中西権治郎	一紙	封筒あり
6	177	翻状（西波多遅瀬間道路開削功勞につき）	明治43.4.10	大字西波多道路改修委員	中西権治郎殿	一紙	封筒あり
6	179	翻状（西波多遅瀬間道路開削寄付金につき）	明治43.4.10	大字西波多道路改修委員	窪田多治郎殿	一紙	封筒あり
3	328	西波多遅瀬道路改修一件書類 附開通式費精算書	明治43.4.一	西波多道路改修委員	—	一紙	封筒あり
5	138	宅地面積（価格大字別調査表	明治43.10.一	中西調査委員	—	一紙	封筒あり
9	89	西波多遅瀬間道路開通式一件書類（一括、西波多寄付調など）	明治43	—	—	一括	封筒にて13点一括

94	寄付収納扣(一括、道路大門掘寄付金収納寛など)	明治43	—	—	—	—	一括	封筒にて7点一括
98	道路開通式事務所(表札)	(明治43カ)	—	—	—	—	一紙	—
10	別座敷新築日誌	明治44.2.—	西波多 中西本家	—	—	—	横帳	—
195	小作帳(表紙のみ)	明治44.3.上旬	櫻坂半治	—	—	—	帳はずれ	—
4	明治四十四年至大正五年 登記一件書類	明治44	—	—	—	—	仮綴	—
215	記(西波多村元上津ヤヤ反別御券証御下げ渡し無之につき)	子(明治)5.8	元上津什長 中西	戸長役所御中	—	—	罫帳	—
163	口上(地券正地丈量につき)	(明治)3.7	六小区戸長役所	西波多村御役人中	—	—	一紙	—
292	寛(畑売渡につき)	(明治カ)3.29	井岡嘉平次	川向惣介	—	—	一紙	238～312ひもにて一括、291～293包紙にて一括
62	〔書状、預け置く地券、繼年季書換願につき〕	(明治)4.29	下空間村 多田重治郎	西波多村 中西喜市郎殿	—	—	一紙	—
197	口上(反別帳提出につき)	(明治)9.6	六小区戸長役所	西波多村年番御中	—	—	一紙	197包紙あり
105	〔書状、地所売買奥印番号割印いまだ調製これなきにつき〕	(明治)10.17	藤田小人	中西喜市郎	—	—	一紙	封筒あり
66	〔書状、箕輪村川細口数度掛合につき〕	(明治)10.27	由太郎	西波多村 中西喜一郎様	—	—	一紙	—
122	記(金円受取につき)	(明治)12.19	堂前村地主総代 □□	西波多村 中西喜市郎殿	—	—	一紙	—
169	西波多村改正(地目別反別書上)	(明治カ)	—	—	—	—	一紙	—
190	〔地券切換願断簡、長男前川浅吉家名相続につき〕	(明治)	—	—	—	—	帳はずれ	—
198	(田畑書上帳)	(明治カ)	—	中西喜市郎殿	—	—	横帳	—
200	売渡し証文(茶畑1枚)	(明治カ)	月瀬村 松本吉兵衛	上津村御役人共様	—	—	一紙	—
206	(田畑書上帳)	(明治カ)	—	—	—	—	横帳	—
227	(地所書上)	(明治カ)	—	—	—	—	一紙	—
264	(反別地価書上帳)	(明治カ)	—	—	—	—	罫帳	238～312ひもにて一括
319	山地価取調帳	(明治カ)	西波多村 中西喜市郎	—	—	—	罫帳	—
320	山地価取調帳	(明治カ)	西波多村 中西喜市郎	—	—	—	罫帳	—
377	奉願侯田畑地売買之事	(明治)	売渡人 川西蔵	買請人 中西喜市郎	—	—	一紙	368～435ひもにて一括
380	地所戻シ証(下書)	(明治カ)	—	中西亀太郎・中西政吉殿	—	—	一紙	368～435ひもにて一括
384	(田畑反別地価書上)	(明治カ)	—	—	—	—	一紙	368～435ひもにて一括
405	(田地・山反別地価書上帳断簡)	(明治カ)	—	—	—	—	帳はずれ	368～435ひもにて一括
407	旧地券一筆限帳控總計	(明治)	中西喜平次	—	—	—	罫帳	368～435ひもにて一括、407～414こよりにて一括
411	改正反別惣計	(明治)	—	—	—	—	一紙	368～435ひもにて一括、407～414こよりにて一括
414-2	(山反別地価書上帳断簡)	(明治)	—	—	—	—	帳はずれ	368～435ひもにて一括、407～414こよりにて一括
16	地所買請ニ付為取替証	(明治)	—	—	—	—	一紙	13～17包紙にて一括
17	代人御届(地所買請につき)	(明治)	大和国山辺郡片平村売渡人 岡田嘉平治	同郡西波多村買請人 中西喜市郎	—	—	一紙	13～17包紙にて一括
134	藤田へ譲与分土地買得証(封筒)	(明治)	元々地主 前川繪藏、新谷勇市郎	—	—	—	封筒	131～145こよりにて一括
135	土地所有権保存登記申請書	(明治)	奈良県山辺郡波多野村大字西波多申請人 新谷勇市郎	奈良区裁判所斜ヶ別所出張所御中	—	—	罫帳	131～145こよりにて一括
110	(中西喜市郎地所書上)	(明治)	—	—	—	—	一紙	—
167	(山反別書上帳)	(明治カ)	中西藤平	—	—	—	罫帳	153～171こよりにて一括

9	7	地所売渡証(豊原村大字堂前)	明治	—	—	中西喜一殿、中西長次郎	一紙	6~8一括
9	8	建物売渡証(豊原村大字堂前)	明治	売渡人 中西喜一郎	□□	中長次郎殿	一紙	6~8一括
9	28	[中西喜市郎所持土地建物略図]	(明治)	山辺郡西波多村建物持主 中西喜市郎	—	—	絵図	3点一括
10	172	[字限図帳]	(明治カ)	—	—	—	絵図	—
16	14	各大字収獲地面反当額表	明治	奈良県山辺郡波多野村役場	—	—	罫帳	—
4	313	[一括、土地売渡証、土地表示更正二付登記申請など]	大正3.11.5	—	—	—	一括	封筒にて3点一括
8	127	土地分筆二付登記申請	大正5.5.2	中西喜三郎	—	奈良区裁判所針ヶ別所出張所御中	罫帳	—
11	2	大正六年度奈良県山辺郡丹波市町外五ヶ村道路組合歳入歳出予算書	大正6	丹波市町外五ヶ村道路組合役場	—	—	罫帳	—
11	3	奈良県山辺郡丹波市町外五ヶ村道路組合議員費用弁償額並二支給規程	大正7.2.27	—	—	—	罫帳	—
4	29	不動産売渡証書	大正7.3.1	山辺郡波多野村大字西波多売主 福田吉夫 丹波市町外五ヶ村道路組合役場	同所	中西喜久雄殿	罫帳	—
11	1	大正七年度奈良県山辺郡丹波市町外五ヶ村道路組合歳入歳出予算書	大正7	—	—	—	罫帳	—
8	132	土地登記名義人ノ表示更正登記申請	大正8.1.24	申請人 中西繪治郎、右代人 福井栄市郎	奈良区裁判所針ヶ別所出張所御中	奈良区才判所針ヶ別所出張所御中	罫帳	—
9	40	表示物件更正二付登記申請	大正8.1.24	申請人 中西繪治郎	奈良区才判所針ヶ別所出張所御中	奈良区才判所針ヶ別所出張所御中	罫帳	—
8	124	登記名義人ノ表示変更二付登記申請	大正8.1.28	山辺郡波多野村大字西波多申請人 中西繪治郎、添上郡月瀬村大字尾山右代人 石本久九郎	—	奈良区裁判所針ヶ別所出張所御中	罫帳	—
4	3	土地表示更正二付登記申請	大正9.2.26	山辺郡波多野村大字西波多申請人 中西喜久雄、同所右代人 森川角蔵	—	奈良区裁判所針ヶ別所出張所御中	罫帳	—
9	93	土橋架換工事請負契約書	大正9.6.10	山辺郡波多野村西波多区長 森川角蔵、代理人 窪田今造、補助 前川亀石、請負人 廣安太郎、保証人 廣岩太郎	—	—	罫帳	—
4	315	[書状、土地売渡につき]	大正9.7.7	廣岩太郎	中西繪次郎様	—	一紙	—
7	25	波多野村土地登記済証(綴)	大正9.11.29	中西繪治郎	—	—	罫帳	—
12	5	豊原村土地登記済証	大正9.11.—	中西繪治郎	—	—	罫帳	—
11	53	[山林明細書上、奈良市中院町株式会社奈良県農工銀行便箋を利用]	大正9.12.14	—	—	—	一紙	—
4	291	[一括、西豊街道工事報告、明治生命保険代理店関係書類、林野調査委員嘱託書など]	大正9~10	—	—	—	一括	6点一括
4	335	橋梁架換工事請負契約書 別途金円借用証書 仮領収証	大正10.10.14	山辺郡波多野村大字西波多請負人 廣安太郎、保証人 東常蔵、区長 中西喜七、代理人 森川多重郎、相談役 前川亀石	(村長)	—	罫帳	封筒あり
8	146	土地表示更正二付登記申請	大正10.11.18	山辺郡波多野村大字西波多申請人 中西喜久雄、同所右代人 森川角蔵	奈良区裁判所針ヶ別所出張所御中	—	罫帳	—
4	170	奈良県山辺郡全図	大正11.1.—	奈良県山辺郡役所	—	—	絵図	—
7	152	登記義務者入違ナキコトノ保証書(綴)	大正11.9.18	山辺郡波多野村大字西波多保証人 藤田安太郎、山辺郡波多野村大字西波多保証人 中西喜久雄	奈良区裁判所針ヶ別所出張所	—	罫帳	封筒あり
7	149	中西繪治郎ヨリ土地売渡証書一通(不動産売渡証書、領収証一括)	大正12.4.4	司法代書人 森川角蔵	山辺郡波多野村大字西波多 的場角治取殿	—	一括	封筒にて2点一括
7	146	土地売渡証書、領収証	大正12.4.10	中西繪治郎	奥西政保殿	—	罫帳	2点罫帳
8	18	建物分割二付登記申請	大正12.4.10	申請人 中西繪治郎、右代人 森川角蔵	奈良区裁判所針ヶ別所出張所御中	—	罫帳	—
8	125	不動産売渡契約証書	大正12.4.11	山辺郡波多野村大字西波多 中西繪次郎	井久保宇吉殿	—	罫帳	—

8	51	領収証(土地登記受付につき)	大正12.4.14	株式会社伊賀上野銀行清算人 雲井憲二郎、 清算人 岡田藤吉	奈良県山辺郡波多野村大字西波多 中西櫛治郎	一紙	
8	128	仮登記抹消承諾書	大正12.4.15	井久保宇吉	中西櫛治郎殿	縦帳	
7	5	地所所有権保存登記申請書	大正12.4.-	中西櫛治郎、代理人 森川角蔵	奈良区裁判所第ヶ別所出張所御中	縦帳	
7	147	不動産売買証書	大正13.12.30	売渡人 中西櫛治郎	中村嘉考	一紙	封筒あり
8	19	建物分割二付登記申請(一括)	大正15.3.4	中西櫛治郎、司法代書人 森川角蔵	—	一括	封筒にて4点一括
7	47	建物取壊抹消一件(一括、土地及建物売渡証書など)	大正15.6.16	司法代理人 森川角蔵	中西櫛次郎殿	一括	封筒にて2点一括
8	82	吉野林業新報 第278号	昭和6.5.15	—	—	刊本	
8	17	田畑山林預り明細	昭和7.2.25	中西喜久雄	—	縦帳	
5	78	耕地調	昭和18.8.-	中西喜久雄	—	仮綴	
5	79	(家相図)	癸未(昭和18カ)	樓主 癸未年 三拾九年	—	絵図	
7	125	(奈良県立木柵格調停委員会山添支部委員辞令)	昭和19.3.25	奈良県	波多野村森林組合理事 中西喜久雄	一紙	114~130封筒にて一括
12	24	一ツ木山産杉二十二年生様木樹幹新解図	昭和23.2.28	—	—	一紙	
12	22	土地開放につき再調方お願の件	昭和24.3.17	西波多 中西喜久雄	波多野村農地委員会	一紙	封筒あり
6	238	感謝状(西波多遅瀬間村道、県道編入につき)	昭和24.11.5	波多野村長 新宅喜太郎	中西喜正殿	一紙	
5	65	波農地第二四二号	昭和24.12.3	波多野村農地委員長 中西喜久雄	各大字農地委員殿	一紙	
5	63	小作地調査	昭和25.9.1	—	—	縦帳	
5	70	波農地第一二一号 農林省告示第二七七号	昭和25.10.7	波多野村農地委員会会長 中西喜久雄	各農地委員、農業委員殿	一紙	
4	222	許可書送付の件	昭和25.12.18	波多野村農地委員会	中西喜正殿	一紙	
5	69	小作契約文書化月報(一月分)	昭和26.2.10	波多野村農地委員 中西喜久雄	波多野村農地委員長殿	一紙	
4	57	奈良県林業技術普及の友 No.3 製炭の手引	1952	奈良県林務部林政課林業技術普及係	—	縦帳	
4	25	村道波多野月瀬線道路改修期成同盟会々則	昭和31.2.15	—	—	縦帳	
4	59	上津岩屋線期成同盟会記録(昭和32~33年)	昭和32.2.25	上津岩屋線期成同盟会	—	縦帳	
4	82	文書綴	昭和32.4.-	上津岩屋線道路改修促進期成同盟会	—	仮綴	
4	276	(上津岩屋線道路改修促進陳情書)	昭和32.4.9	上津岩屋線道路改修促進期成同盟会	—	縦帳	
4	118	建設委員会協議事項 於役場	昭和32.6.25	—	—	縦帳	
4	278	上津岩屋線改修促進期成同盟会規則	昭和32	上津岩屋線道路改修促進期成同盟会	—	縦帳	
4	203	不参加(菅生区民の総意により、役員会は今回今後とも欠席につき)	昭和33.1.22	奈良県山辺郡山添村大字菅生区区长 田中安 寿	上津岩屋線道路改修促進期成同盟会 御中	一紙	封筒あり
4	117	月瀬線期成同盟会総会協議事項 於下津区事務所	昭和33.2.13	—	—	一紙	
4	176	要望書(道路計画反対につき)	昭和33.12.8	山添村大字菅生区区长 田中安寿	上津岩屋線道路改修促進期成同盟 会々長 井沢政信殿	一紙	
4	216	奈良線改修同盟会役員会の開催について	昭和36.4.12	奈良線改修同盟会長 中西喜正、山添村長 西忠義	—	一紙	
4	197	奈良県山辺郡山添村略図	(昭和)	—	—	絵図	
9	73	【書状、今北清一郎古証返戻方につき】	(近代)5.4	西波多 中西櫛治郎	水野大人	一紙	47~84こよりにて一括
3	324	波多野村大字上津縮尺8000分の1(地図)	(近代)	—	—	絵図	
3	346	[地番図]	(近代)	—	—	絵図	
3	348	上津略図 字名付	(近代)	中西	—	絵図	



9	24	[片平山杉繪書上帳]	(近代)	—	—	—	横帳	—
9	53	大和山林会組織趣意書	(近代)	—	—	—	竖帳	47～84こよりにて一括
9	61	立木基帳 実測図面調製ノ件	(近代)	—	—	—	竖帳	47～84こよりにて一括
9	64	土地所有者保存ニ付登記申請	(近代)	—	—	—	一紙	47～84こよりにて一括
9	83	[地価・地租書上帳]	(近代)	—	—	—	竖帳	47～84こよりにて一括
9	88	[簿ヶ谷立木書上帳]	(近代)	—	—	—	横帳	—
10	168	記(片平村内切ヶ谷地価・地租書上)	(近代)	—	—	—	一紙	—
10	170	山辺郡波多野大字西波多(絵図)	(近代)	—	—	—	絵図	—
11	10	浅野式合板之説明	(近代)	製造元 浅野木工場	—	—	一紙	—

【金融・売買】

3	34	借用申銀子之事(銀110目)	天保5.4.—	大塩村借主 長蔵、同村請人組頭 庄蔵、同村請人 善右衛門、同村年寄 常治、同村同断 喜兵衛、同村庄屋 政之丞	上津村 喜左衛門殿	—	一紙	—
3	38	借用申銀子之事(銀200目)	天保6.10.—	大塩村借主 武平次、同村年寄 常治、同村同断 喜兵衛、同村庄屋 政之丞	同村 祐助殿	—	一紙	—
2	11	借用申銀子之事(銀170匁)	天保7.7.—	獺瀬村借主 勇蔵、引受人 伊助	上津村 喜左衛門殿	—	一紙	—
3	40	借用申銀子之事(銀170匁、2-11の写)	天保7.7.—	獺瀬村借主 勇蔵、引受人 伊助	上津村 喜左衛門殿	—	一紙	—
2	2	覚(金4両預り手形)	天保12.6.19	油屋庄右衛門(印、「笠置 森正」)	上津村 喜左衛門殿	—	一紙	—
3	56	作徳米売込并御未進借用覚(由兵衛へ付け添えの銀2貫233匁8分4厘1毛相渡し、早々決済なさるべくにつき、菅生村武蔵・春日村政介・上津村嘉蔵へ売込など)	天保12.6.26	大西村役人	中西源大夫殿	—	一紙	—
3	57	売渡シ申作徳米之事(大塩村政之丞より上津村善七郎方へ年々計らい候作徳米、善兵衛引請のところ、善七郎借用銀差結のため、代銀200目にて作徳米売渡)	天保13.6.—	畑ヶ売り主 喜兵衛、惣代 徳兵衛、年寄 武兵衛、同断 林蔵、庄屋 藤治郎	中西源大夫殿	—	一紙	—
3	8	奉指上一札之事(大西村借用銀差滞出入、多分の御損銀にて決済に相成、巳年・午年江戸御中間御奉公御給米御請取につき)	天保14.4.4	上津村 由兵衛	中西源大夫様	—	一紙	—
3	63	預り申銀子之事(大津請寄貸銀570匁)	天保15.3.—	銀子預り主 喜兵衛、与力 勇助	中西源大夫様	—	一紙	包紙あり
3	69	添証文之事(銀128匁4分貸付につき、明治9年10月27日残金10円受取にて相済)	弘化4.12.—	下津村 亀左衛門	上津村 喜左衛門殿	—	一紙	—
3	71	借用申銀子之事(銀741匁4分)	嘉永5.2.5	借用主 平兵衛、与力 藤治郎	喜左衛門殿	—	一紙	—
3	79	差入申一札之事(当村中者共、河州石川郡山田村矢野伝右衛門殿にて銀6貫目拜借のため、奥印御頼み、御印形拜借につき)	嘉永6.正.—	大西村惣代 源七、年寄 新平、同断 吉右衛門、庄屋 六右衛門	上津村 中西喜左衛門様	—	一紙	—
10	154	覚(元銀98匁80匁1分元利勘定につき)	嘉永6.4.—	—	—	—	一紙	150～158こよりにて一括
3	77	為念書付差入申候事(売込作徳米証文改替につき)	嘉永6.10.—	下津村 亀右衛門	上津村 中西喜左衛門様	—	一紙	—
3	76	借用申銀子之事(札250匁)	嘉永6.12.—	善尾村借主 善七、同村請人 善七、同村五人頭弥蔵・年寄基助・庄屋定内の奥印あり	同村 清次郎殿	—	一紙	—
3	82	覚(東浦稻場代銀札16匁請取につき)	嘉永7.2.—	民蔵	喜左衛門様	—	一紙	—
3	84	覚(銀200目借用につき)	嘉永7.7.12	同村 由兵衛	上津村 源大夫様	—	一紙	—
2	29	覚(7～11月分元銀10貫目利足銀500目受取につき)	乙卯(安政2カ)11.27	米屋善七	上津村 喜左衛門殿	—	一紙	—
3	85	借用申銀子之事(銀139匁2分)	安政2.極.—	銀子借主 庄三郎、引請人 庄左衛門	上津村 中西喜左衛門様	—	一紙	包紙あり

3	86	借用申銀子之事 (炭引当にて札140匁借用)	安政2.12.-	下津村借主 武藏、請人 勇藏	上津村 喜右(▽▽) 衛門様	一紙	
3	89	借用証文之事 (銀2貫目)	安政4.正.-	伊州治田村借主 市田茂左衛門	和州上津村貸主 中西喜左衛門殿	一紙	包紙あり
3	90	借用申銀子之事 (質物にとみ17才入れ置き、銀札200目借用)	安政4.12.-	北野奥村借主 基藏、引請せわ人 政治	上ツ村 酒屋喜三右(▽▽) 衛門様	一紙	
3	4	乍恐御願奉申上候 (御貸附銀返納方運滞につき)	安政5.6.3	山辺郡春日村惣代 喜左衛門	紀州様御用途御貸附所御役人中様	一紙	
3	5	覚 (御貸附利足返納金3両3步請取につき)	安政5.6.3	南都紀州御屋鋪	春日村納	一紙	
3	93	売渡し申証文之事 (作徳米5斗代銀600目)	安政5.7.-	売主 文吉、年寄 宇兵衛、同断 武助、同断 平太、庄屋 清六	喜左衛門殿	一紙	
3	91	奉拝借御銀之事 (御寄附銀7貫目)	安政5.10.-	山辺郡上津村 喜左衛門、組頭惣代 政治、年寄 政次郎	—	一紙	後欠
10	147	乍恐御猶子奉願上候 (拝借金返納につき)	安政6.2.5	上津村 喜左衛門、組頭 新藏、半田横町 久兵衛、花茂町受人	御番所様	一紙	140~147こよりにて一括
3	139	差引之通 (安政4巳年~未年元利銀差引勘定につき)	申 (安政7).正.4	米屋善七 (印、「南都 新米善」)	上津村 喜左衛門殿	一紙	139~142包紙にて一括、包紙上書「請取書入 米屋善七殿」
3	140	覚 (金50両代銀3貫653匁7分5リ勘定につき、差出人部分切り取り断簡あり「山辺郡上津村 喜左衛門、政吉、政治郎」)	(近世)	米善	—	一紙	139~142包紙にて一括
3	141	覚 (元利銀10貫900目代金135両差引勘定につき)	文久4.正.22	南都 米屋善七	上津村 喜左衛門様	一紙	139~142包紙にて一括、141包紙あり
3	142	(差出人部分切り取り断簡)	(近世)	山辺郡上津村 喜左衛門、組頭惣代 政治、年寄 政治郎	—	断簡	139~142包紙にて一括
3	96	借用申銀之事 (銀300目)	万延元.12.-	大西村 庄左衛門	上津村 中西喜左衛門殿	一紙	包紙あり
3	97	借用申銀子之事 (娘とら2ヶ年奉公引当にて、銀札200目借用)	万延元.12.-	北野奥村 弁藏後家、請人 要助	上津村 喜左衛門殿	一紙	包紙あり
3	102	借用申銀子之事 (銀800目、下書)	文久2.2.-	添上郡北の奥村銀子借用主 浅右衛門、与力、組頭、年寄、庄屋	—	一紙	
7	108	(銀子勘定帳)	文久2.2.-	—	—	横帳	61~113一括
3	103	添証文之事 (銀800目借用につき)	文久2.3.-	添上郡北野奥村作主 平兵衛、与力 要助、組頭 平兵衛、年寄 義平治、庄屋 伝右衛門	山辺郡上津村 喜左衛門殿	一紙	
7	106	(銭勘定覚断簡)	文久2.12.-	—	—	帳はずれ	61~113一括
3	107	借用申銀子之事 (金18両)	けを (慶応)2.3.-	下津村銀子借主 政治良	上津村 中西喜左衛門様	一紙	
3	117	借用申銀子之事 (銀3貫目)	慶応3.2.-	借用主 清三郎、与力 伝治、請人 文吉	酒屋喜左衛門殿	一紙	
3	312.2	借用申銀子之事	とら (近世).10.-	借主 清兵衛	上津村 惣次郎様	一紙	238~312ひもにて一括
2	31	証文き通 (包紙、「右之質物、私方へ買取ニ相成り」)	卯 (近世).2.-	村 清三郎より	—	包紙	
2	23	借用申米がり証文之事 (米2石5斗借用、秋御払までにて御蔵へ積渡につき)	卯 (近世).7.-	為後日引受 孫太郎、同 清八、宗次郎、清三郎、文吉	—	一紙	包紙あり、包紙上書「証文 米かし かしや清八」
3	92	借用申銀子之事 (金10両代銀720匁)	午 (近世).9.16	借用主 平太	中西喜右(▽▽) 右衛門様	一紙	
3	293	(午4月米かし代など金子書上)	申 (近世カ).3.-	—	—	一紙	238~312ひもにて一括、291~293包紙にて一括
10	124	借用申金子之事 (南壳鉄鋳元銀金10両)	酉 (近世).正.-	借用主 鍛冶孫太郎	中西御氏喜平治様	一紙	
2	22	覚 (金9両受取につき)	戌 (近世).6.6	大楯村 栄次郎	上津村 源大夫様	一紙	113~124こよりにて一括
2	10	覚 (亥7月銀7貫目利足銀差引勘定につき、公金「あるいは名目金」借用証文・銀部分「銀7貫目」および差出人部分「喜左衛門・組頭政吉・年寄政治郎」の切り取りあり)	亥 (近世).7.-	米善	上津村 喜左衛門様	一紙	包紙あり、包紙上書「米善右衛門返済」
3	283	覚 (金384両2步勘定につき)	(近世).正.-	—	—	一紙	238~312ひもにて一括

3	108	覚売之事(墨梅凡140丸売渡、代金20両受取につき)	(近世)8.20	長引村 梅せ八人	同村 忠兵衛様、彦右衛門様	一紙	
2	8	覚(午年より金銀出入の義につき)	(近世)	獺瀬村 文助	上津村 中西源太夫様、中西政助様	一紙	
2	15	借用申銀子事(銀500目、下書)	(近世)	かり主、請人、同断	—	一紙	
3	130	借用証文き通(包紙)	(近世カ)	北のおく 甚蔵	—	包紙	
3	157	(金銀勘定帳)	(近世)	和州上ツ ヌ中 勘	—	横半帳	
8	147	(寛永通宝一連)	(近世)	—	—	錢貨	93枚一括
10	156	(銀子勘定算断簡)	(近世)	—	中 喜十郎殿	断簡	150~158こよりにて一括
10	157	(書状、此者へ金15両ばかり御かし下さるべくにつき)	(近世)	中 喜十郎	中西喜左衛門様、同 勘兵衛様	一紙	150~158こよりにて一括
10	158-1	覚(金永勘定につき)	(近世)	—	—	一紙	150~158こよりにて一括
3	261	借用申金子之事	明治2.7.—	片平村借主 儀蔵、受人 良輔、年寄 兵治郎、庄屋 享蔵	上津村 中西喜左衛門殿	一紙	238~312ひもにて一括
3	218	借用申金子之事(号カ)	明治2.8.—	同般菅生村借主、与力、請人 利七、年寄、庄屋	上津村 喜左衛門様	一紙	
8	102	借用申証文之事	明治3.4.—	借主 文吉、同断 孫太郎、同断 清八、同断 儀八	喜左衛門	一紙	
7	161	借用証文之事	明治3.5.—	山辺郡上津村 喜左衛門、政治郎、政吉	米屋善七殿	一紙	
8	112	(金子借用証書一括)	明治3.6.—	—	—	一括	3点一括
3	133	借用申金子之事(金4両)	明治3.12.—	切幡借主 久三郎、同村組頭 政右衛門、同年寄 平兵衛、同庄屋 井岡政五郎	上津村 喜左衛門殿	一紙	
3	118	覚(金237両2割うりにつき)	明治4.3.5	うりぬし 嘉平治、せわに(人) 吉五郎、よりき 佐吉	喜左衛門様	一紙	153~171こよりにて一括、160包紙あり
8	160	借用申金子之事(金20両)	明治4.8.晦	借用主むら 儀八、せ八人 孫太郎	中西御氏喜平治様	一紙	
3	278	借用申証文之事	明治5.正.—	借主 萬蔵、引受人与力 文三、年寄 三郎次郎、同断 善七、村惣代 甚助、庄屋 口助	上津村 喜市郎殿	一紙	238~312ひもにて一括
8	107	借用申金子之事	明治5.9.—	片平村借主 儀蔵、ほか5名	—	一紙	238~312ひもにて一括
8	159	借用申証文之事(上納金滞りにつき)	明治5.12.—	借主 谷口孫太郎	庄屋 中西御氏喜平次様	一紙	153~171こよりにて一括、159包紙あり
3	285	覚(宿泊・酒代金受取につき)	戌(明治7カ)正.15	かせや口平	上津村 中西喜平次様	一紙	238~312ひもにて一括
3	257	貸金催促之訴済口之答書	明治7.4.25	第二大区山辺郡一小区上津村原告人 中西喜平次、奈良油留木町被告人 畑野清平	奈良県権令 藤井千尋殿	竖帳	238~312ひもにて一括
3	284	証文(包紙)	戌(明治7カ)4.—	片平村 脇中儀蔵	—	包紙	238~312ひもにて一括
3	304	借用申証文之事(金25円)	明治7.8.—	山辺郡上津村 中西喜一郎、副戸長 中西藤平	添上郡月之瀬村 戌亥銀十郎殿	一紙	238~312ひもにて一括、304包紙あり
8	155	借用申金子証券(金100円)	明治7.11.10	山辺郡(空白)	同郡上津村 中西喜平治殿	一紙	153~171こよりにて一括
3	307	貸金催促ニ付添口書	明治7.11.28	第二区会議所部内二小区山辺郡三ヶ谷村農被告人 浦久保平一郎	奈良県権令 藤井千尋殿	竖帳	238~312ひもにて一括
3	286	借用申金子之事	明治8.3.—	片平村 脇山栄三郎	上津 中西喜平治殿	一紙	238~312ひもにて一括
8	163	借用申証券(金20円)	明治8.10.—	借用主 高峯儀八、請人 谷口弥太郎、年番 進藤嘉平	中西喜平治殿	一紙	153~171こよりにて一括、163包紙あり

3	246	金円借用証券	明治9.1.5	第二大区七小区添上郡長引村借主 福西忠藏、引請人 益並善四郎、引請人 福北伝次郎、同断 福永嘉藏	山辺郡西波多村 仲西喜一郎殿	一紙	238～3120ひもにて一括、244～254こよりにて一括、246包紙あり
3	253	金円証券一通入(包紙)	明治9.1.—	長引村 福北伝次郎	—	包紙	238～3120ひもにて一括、244～254こよりにて一括
3	254	金円借用証券	(明治9)	—	—	一紙	238～3120ひもにて一括、244～254こよりにて一括
3	247	差入申規定証書	明治10.4.28	添上郡長引村借主 福西忠藏、同断 福西嘉平、同断 福北伝次郎、同断 益並善四郎、引請人 福永嘉藏、惣村 福岡五郎	山辺郡西波多村 中西喜市郎殿	一紙	238～3120ひもにて一括、244～254こよりにて一括
3	249	定納証券	明治11.10.16	添上郡尾山村 中岡喜三治、北岡長四良	山辺郡西波多村 中西喜平治殿	一紙	238～3120ひもにて一括、244～254こよりにて一括、249～252包紙にて一括
3	250	定納証券	明治11.10.23	添上郡尾山村 北岡長四良、松本嘉藏	山辺郡西波多村 中西喜平治殿	一紙	238～3120ひもにて一括、244～254こよりにて一括、249～252包紙にて一括
3	251	(依頼状、尾山村長四良事件役(ㄨㄨ)定金、奈良笠屋町北山弥四郎へ御渡下されたくにつき)	明治11.10.24	奈良南市町 井坂勇四良	西畑(ㄨㄨ)村 中西喜平治殿	一紙	238～3120ひもにて一括、244～254こよりにて一括、249～252包紙にて一括
3	252	定納証券	明治11.11.14	北山弥四良、添上郡尾山村 中岡喜三治	山辺郡西波多村 中西喜平治殿	一紙	238～3120ひもにて一括、244～254こよりにて一括、249～252包紙にて一括
3	244	金円預り手形之コト	明治11.11.—	大和国一大区五小区添上郡北ノ村 杉本多三治	四小区西波多村 中西喜市郎殿	一紙	238～3120ひもにて一括、244～254こよりにて一括、244包紙あり
3	245	金円借用証	明治11.11.—	大和国一大区五小区添上郡長引村借主 益並善四郎、同村保証人 坂本善九郎、山辺郡嘉村同断 岩本定藏	山辺郡西波多村 仲西喜市郎殿	一紙	238～3120ひもにて一括、244～254こよりにて一括
3	248	古代(金50円善四郎より持参につき)	(明治11カ).12.6	北ノ村 杉本多三治	奈良二ノ 中西喜平治殿、中西喜市郎殿	一紙	238～3120ひもにて一括、244～254こよりにて一括
8	171	借用申金子証券(金50円)	明治10.1.3	西波多村借主 進藤喜十郎、窪田宗吉	中西喜一郎殿	一紙	153～171こよりにて一括
3	303	借用申金円証書	明治10.9.10	山辺郡西波多村金円借主 平本潔太、引受人 谷口文吉	西波多村 中西喜市郎殿	一紙	238～3120ひもにて一括
4	15	記(金銭貸借につき)	明治10.9.—	中西喜一郎	片平村 岡田嘉平様	一紙	13～17包紙にて一括
3	294	金五拾円也(包紙)	丑(明治10カ).12.2	長引村 善九郎	—	包紙	238～3120ひもにて一括
3	401	証(井岡殿送付加金勘定につき)	明治11.3.8	福井吉次郎	中西喜市郎殿	一紙	368～435ひもにて一括
7	194	記(金円借用につき)	明治11.8.4	どまへ(堂前) まトバ	西波多村 中西喜一郎殿	一紙	封筒あり
8	164	証(金100円差し送りにつき)	卯(明治12カ).5.2	中西喜平治	—	一紙	153～171こよりにて一括、164包紙あり
3	241	請取証	明治18.8.20	菅生村 岡葉局掛 岡寛藏	西波多村 中西喜一郎	一紙	238～3120ひもにて一括
8	166	金円預り証(金200円)	明治12.12.1	西波多村 中西喜一郎	同村 福井吉次郎殿	一紙	153～171こよりにて一括
8	157	借用申金円証券(金300円)	明治12.12.6	西波多村金子借主 井久保兵藏、同村同断 中西喜三郎	同村惣代 福井吉治郎殿	一紙	153～171こよりにて一括、157包紙あり
8	154	金円預り証(金200円)	明治12.12.16	西波多村 中西喜一郎	同村 藤井良藏殿	一紙	153～171こよりにて一括、154包紙あり
3	400	受取証(昨卯12月預け金御戻しにつき)	明治13.2.28	福井吉次郎	中西喜市郎殿	一紙	368～435ひもにて一括

11	18	〔書状、市平利足金15円仕法につき〕	明治14.7.17	法華村 中西十郎	西波多村 中西喜左衛門様	一紙	封筒あり
3	404	譲渡証(官吏中西喜三郎)	明治14.9.14	—	—	一紙	368～435ひもにて一拵
7	170	金円借用証券之事	明治15.3.1	堂前村借用主 的場宗治郎、引受人 箕之輪村 稲場浅吉、同断真之輪村 稲場孝治郎	西波多村 中西喜市郎殿	一紙	封筒あり
7	173	(金円借用依頼状)	明治15.10.26	三ヶ谷村 浦久保平一郎	西波多村 中西喜市郎殿	一紙	
9	14	〔書状、金額入手致さず延引申し分けなくにつき〕	明治16.1.15	菅生村 中上音四郎	西波多村 中西喜市郎様	一紙	14～15包紙にて一拵
11	58	約定証(金円借用につき)	明治16.9.10	山辺郡下笠間村金借用主 藤井多平治、引請保証人 藤田喜市郎	同郡西波多村 中西喜市郎殿	一紙	
8	118	証(金円受取につき)	明治16.10.10	藤田亀松、後見人 藤田喜平	中西喜市郎殿	一紙	
7	163	金円借用証書	明治16.10.13	大和国山辺郡大塩村借用主 中谷佐治郎、引請証人 中西政吉	西波多村 中西喜一郎殿	一紙	包紙あり
9	12	金円借用書	明治16.11.10	添上郡北野村 大住太三治	山辺郡西波多村 中西喜一郎殿	一紙	包紙あり
9	13	証券(9-12の包紙)	明治7.11.—	北野西村	—	一紙	包紙
8	153	金円借用証券(金150円52銭)	明治17.2.20	借主西波多村 谷口文吉、引受人 千本清太	同村 中西喜平治殿	一紙	153～171ひもにて一拵(ほか35点未整理分あり)
11	25	〔書状、利子返金につき〕	明治17.4.26	荻村 深山宗健	西波多村 中西喜市郎様	一紙	封筒あり
11	26	〔書状、奥村惣七抵当売却一件につき〕	明治17.8.9	添上郡尾山村 松本惣治郎	山辺郡西波多村 中西喜市郎殿	一紙	封筒あり
11	45	〔書状、御願の趣聞済、借入金利子皆済につき〕	明治18.旧正.5	藤田喜一郎	中西喜市郎様	一紙	包紙あり
7	189	抵当書入約定証	明治18.3.—	大和国山辺郡堂前村借用人 的場宗次郎、箕輪村保証人 稲場浅吉	西波多村 中西喜市郎殿	一紙	
12	1	預貯金公債証券寄貸普通帳	明治18.6.—	中西喜市郎	—	一紙	横半帳
7	176	約定証(明治16年11月25日付金円借用につき)	明治18.12.10	山辺郡三ヶ谷村借主 久保田新六	西波多村 中西喜市郎	一紙	175～176封筒にて一拵
5	249	証(借入金勘定につき)	明治19.1.10	中西	川畑清	一紙	封筒あり
7	193	証(米代預りにつき)	明治19.1.26	山辺郡伏拝村 南甚五郎	堂前村 的場宗治郎殿	一紙	
7	192	借用証券之事	明治19.2.3	山辺郡堂前村借用主 的場宗治郎	西波多村 中西喜市郎殿	一紙	
7	187	約定証(箕輪村稲場浅吉金115円借用につき)	明治19.3.8	山辺郡箕輪村 稲場浅吉 三郎	同郡西波多村 中西喜市郎殿	一紙	
7	188	契約書	明治19.3.8	山辺郡箕輪村 稲場浅吉	山辺郡西波多村 中西喜市郎殿	一紙	
7	190	借用証券	明治19.3.21	山辺郡堂前村借用主 的場宗治郎	西波多村 中西喜市郎殿	一紙	
3	424	(中西平七・高橋伴吾・中西喜市郎貸金訴訟一件書類)	明治19.12.14	—	—	一拵	368～435ひもにて一拵、424:35点一拵
3	379	金員借用証書(金15円)	明治19.12.16	大和国山辺郡西波多村 永尾新次郎	中西喜市郎殿	一紙	368～435ひもにて一拵
11	54	〔書状、貸金証拠、地券と差入替につき〕	明治20.1.12	下笠間村 藤田重治郎	西波多村 中西喜市郎様	一紙	
7	175	解訴証書之事(借入金返済につき)	明治20.1.13	奈良県大和国山辺郡西波多村原告人 中西喜市郎、同県同郡三ヶ谷村被告人 雷田彦治郎	大阪始審裁判所奈良支庁ニ於テ判事 前田克駒殿	一紙	整帳 175～176封筒にて一拵
7	191	御預り証券	明治20.1.27	山辺郡堂前村預り人 的場宗次郎	西波多村 中西喜市郎殿	一紙	
3	385	(借金願)	明治21.2.—	大北平四郎	西波多村 中西喜市郎様	一紙	368～435ひもにて一拵
7	172	別紙添書(借入金返済につき)	明治22.12.9	山辺郡豊原村大字大塩中西政吉相續人 中西亀治郎、証人 中岡佐治郎、木更久四郎	山辺郡西波多野村大字西波多 中西喜市郎殿	一紙	
9	39	記(金円勘定につき)	明治22	—	—	一紙	

7	186	〔裁決書、貸金催促解除執行願につき〕	明治23.1.25	奈良県大和国山辺郡波多野村大字西波多証人 中西喜市郎、同県同郡豊原村大字箕之輪 被告人 稲場茂吉	奈良県治安裁判所判事 中原口八郎	縦帳	
11	48	金円借用二付証願書	明治23.10.21	山辺郡下笠間村借主 藤田重次郎、同断 松村金蔵、引受証人 藤田松次郎	西波多村 中西喜市郎殿	一紙	
9	31	济口書(金銭貸借訴訟につき)	明治24.10.23	被告人 中重三郎、原告人 中西喜平治	判事 蔵田隆三郎殿	縦帳	
9	38	記(金円勘定につき)	明治25.4.―	―	―	一紙	
9	63	金円借用証書	明治26.12.27	―	―	一紙	47～84こよりにて一括
11	67	記(洋釘・菓子・かわらけ代金勘定につき)	明治27.8.15	窪田多次良	中西喜市良様	一紙	
5	259	証(梅干700目など諸代金領収につき)	明治28.7.―	滋賀県下近江国滋賀郡大津町下北国町 小林 友三郎	―	一紙	252～308袋にて一括
9	96	記(領収につき)	明治29.6.23	添上柳生村字柳生 今中庄作	上津 中西喜一殿様	一紙	
9	82	〔債権関係書類雛形〕	明治30	―	日本銀行大阪支店御中	一紙	47～84こよりにて一括
4	7	当座預金通帳	明治33.10.―	株式会社郡山銀行春日支店	中西櫛治郎殿	通帳	
8	80	貯蓄預金通帳	明治33	伊賀貯蓄銀行波多野村出張店	中西櫛治郎殿	縦帳	
9	49	金円借用証書	明治36.1.―	奈良県山辺郡波多野村大字西波多	―	一紙	47～84こよりにて一括
9	66	保証書(山辺郡豊原村大字箕輪担当権設定につき)	明治36	―	奈良区裁判所針ヶ別所出張所御中	縦帳	47～84こよりにて一括
4	71	貯蓄預金通帳	明治37.1.―	中西奈良江	―	通帳	
5	248	金円借用証	明治37.2.15	西波多 今中岩松	中西喜市郎	一紙	封筒あり
9	100	築面計算表	明治37.2.―	山辺郡波多野村大西 野村薬局	中西櫛次郎殿	一紙	
5	239	金子借用証(金5円)	明治39.1.18	杉本万治郎	中西櫛治郎殿	一紙	239～240封筒にて一括
5	240	金子借用証	(明治39)1.18	杉本万治郎	中西殿	一紙	
5	134	信用頼母子講掛金領収通	明治39.7.―	講元 進藤長三郎、世話掛 井岡嘉治郎、進 藤長平、中西櫛治郎	中西亀太郎殿	横半帳	
5	136	信用頼母子講掛金領収通	明治39.7.―	講元 進藤長三郎、世話掛 井岡嘉治郎、進 藤長平、中西櫛治郎	藤田兼松殿、川端尋吉殿	横半帳	
5	143	信用頼母子講掛金領収通	明治39.7.―	講元 進藤長三郎、世話方 中西櫛治郎、井 岡幸太郎、進藤長平	中西櫛治郎殿	横半帳	
5	216	金円借用証書(封筒)	明治39.11.6	東浦 中西亀太郎	―	封筒	
5	179	借入金員証・金子借用之証(一括)	明治39.11.20	有田貢	中西櫛治郎殿、久保真次郎殿	一括	封筒にて2点一括
5	288	金円借用証(金15円)	明治39.12.20	借主 井久保櫛治郎	債主 中西櫛治郎殿	一紙	252～308袋にて一括、288封 筒あり
4	164	有体動産買得証(一括)	明治40.3.31	藤田石松	中西櫛治郎殿	一括	封筒にて4点一括
14	3	御通	明治40.12.―	金政商店 金政善平	長尾卓三殿	縦帳	
5	186	(金円借用証一括)	明治40	奈良県山辺郡波多野村大字西波多 中西櫛治 郎	奈良県山辺郡針ヶ別所村字坂 中尾 衛治、杜久四郎	一括	封筒にて3点一括
4	37	当座預金通帳(明治41～43年)	明治41.4.4	三重県阿山郡上野町株式会社伊賀上野銀行、 株式会社伊賀貯蓄銀行	中西櫛治郎殿	通帳	
3	425	貸金証書 広頼母子講(一括、金円借用証書、耕地小作証書、覚書、追加 契約書など、明治41年～昭和10年)	明治41.4.5	―	―	一括	368～435つもにて一括、425: 10点一括
5	158	〔保険金払込覚、明治生命保険株式会社波多野代理店郵便を使用〕	明治41.4.22	―	―	一紙	

4	186	保険金請求一件(一括)	明治41.9.一	奈良県山辺郡波多野村 明治生命保険株式会社波多野代理店	死亡被保人 久保なか氏	一括	封筒にて20点一括
4	145	借入金証書 担保共 勸業債券一通 貯蓄債権二通 寄貸講通	明治41.12.28	浦石太郎殿より	山辺郡波多野村 中西樞治郎様	一紙	封筒あり
9	74	キ(魚一本ぶり・下駄代など代金勘定につき)	明治42.1.26	上津 け々	中西奈良治郎様	一紙	47～84こよりにて一括
12	25	貸付金証書入(一括)	明治42.3.16	—	—	一括	封筒にて8点一括
7	48	(伊賀上野銀行当座預金通帳一括)	明治42.6.25	株式会社伊賀上野銀行波多野支店	波多野村大字西波多 中西樞次郎殿	一括	封筒にて2点一括
5	137	信用頼母子講掛金領収通	明治42.9.22	講元 進藤岩松、世話掛 中西樞治郎、ほか5名	中西樞治郎殿	横半帳	—
5	146	信用頼母子講掛金領収通	明治42.9.22	講元 進藤岩松、証人 尾植梅松、世話方 中西樞治郎、ほか4名	角谷岩松殿	横半帳	—
5	142	共済頼母子講掛金領収通	明治42.10.13	講元 進藤兵吉、保証人 峠惣喜松、同 進藤辰蔵	中西樞治郎殿	横半帳	—
4	52	保険証券目録(明治42年～大正元年)	明治42.11.22	明治生命保険株式会社波多野代理店	—	縦帳	—
9	92	(一括、領収証など)	明治43	—	—	一括	封筒にて18点一括
3	280	(書状、借入金返済延引につき)	西(明治カ).10.15	奥坊常八	中西喜平治様	一紙	238～312ひもにて一括
3	281	覚	(明治カ).正.一	中西喜平次	ヤキ御主様	一紙	238～312ひもにて一括
3	282	覚	(明治カ).正.一	—	—	一紙	238～312ひもにて一括
11	57	(書状、利子金清算につき)	(明治).旧正.26	下空間村 藤田喜一郎	中西喜市郎様	一紙	—
7	144	(書状、金銭返却につき)	(明治).3.29	花垣村大字国堺 井野政雄	西波多村 中西喜市郎様	一紙	131～145こよりにて一括、144封筒あり
9	15	舌代(百円御願申上につき)	(明治).4.24	岡集平	中西喜平治様	一紙	14～15包紙にて一括
3	202	(金41銭領収証)	(明治カ).5.21	雷山惟恒	畑上津 中西様	一紙	—
3	260	覚	(明治初カ).6.10	片平 脇中儀蔵	上津 中西喜左衛門様	一紙	238～312ひもにて一括
10	130	金員借用証書	(明治).7.30	第二大区六小区山辺郡切幡村借用主 新田仙治、井久保栄次郎、井岡栄五郎	—	一紙	—
8	162	(金子借用願状)	(明治カ).12.6	杉原村 杉本多蔵	上津村 中西喜平治様	一紙	153～171こよりにて一括、162包紙あり
3	195	覚(白奉書・上黒嶋代など代金5円2銭勘定につき)	(明治カ).12.26	駒井太郎	中西喜様	一紙	—
3	159	(金円勘定覚)	(明治カ)	—	—	一紙	—
3	176	(金円勘定覚)	(明治カ)	—	—	一紙	—
3	184	記(金円差引勘定につき)	(明治カ)	—	—	一紙	—
3	189	(紙数代金勘定帳)	(明治カ)	—	—	横帳	—
3	193	(金円出入帳断簡)	(明治カ)	—	—	帳はずれ	—
3	259	借用証文通(包紙)	(明治初カ)	片平村 儀蔵	—	包紙	238～312ひもにて一括
3	295	借用証書(包紙)	(明治カ)	お方 川畑清五郎	—	包紙	238～312ひもにて一括
3	297	御印紙附借用証文書通(包紙)	(明治)	山辺郡二小区岩屋村 益並伝五郎	—	包紙	238～312ひもにて一括
3	410	金円借用証書	(明治)	—	—	一紙	368～435ひもにて一括、407～414こよりにて一括
3	414	覚(月瀬村岡田平蔵分金円勘定につき)	(明治)	—	—	一紙	368～435ひもにて一括、407～414こよりにて一括
3	433	大極上品色好サラン代五拾銭(袋)	(明治)	下京第三区蛸薬師通新町西 奥村喜十郎	—	袋	368～435ひもにて一括

5	218	〔書状、金銭借用依頼につき〕	(明治)	□□宇吉	中西喜右郎様	一紙	封筒あり
5	276	保険 洋傘製造販売	(明治カ)	大阪市松屋町通和泉町北入東側 小林商店	—	一紙	252～308袋にて一括
5	280	〔製菓覚〕	(明治カ)	—	—	一紙	252～308袋にて一括
5	307	〔勘定覚綴〕	(明治カ)	—	—	仮綴	252～308袋にて一括、307:184点仮綴
5	173	領収証	大正2.4.18	辻奈良松	中西繪治郎殿	一紙	封筒あり
4	175	□□開田一件入(一括、借用証書など)	大正2.4.—	借主 開田素之輔、連帯借主 奥西善三郎	波多野村大字西波多 中西喜久雄殿	一括	
10	43	保険台帳	大正5.1.—	明治生命保険会社波多野代理店	—	整帳	
8	101	貸金請求証書	大正7.2.1	井岡藤太郎	中西繪治郎殿、中辻定治郎殿	一紙	
8	117	貸金請求証書	大正7.2.1	井岡藤太郎	中西繪治郎殿、中辻定治郎殿	一紙	
8	94	約束手形	大正7.12.30	川井正矩	川井未松殿	一紙	94～97封筒にて一括、封筒上書「川井一件」
8	96	約束手形	大正7.12.24	川井正矩	川井未松殿	一紙	94～97封筒にて一括
8	95	約束手形	大正8.1.26	川井正矩	川井未松殿	一紙	94～97封筒にて一括
8	97	売渡書	大正8.1.26	川井正矩	中西繪治郎殿	一紙	94～97封筒にて一括
4	352	〔一括、明治生命保険代理店客運用記録など〕	大正7	—	—	一括	4点一括
4	141	売渡書	大正8.11.18	牧田村字上之代 山崎吉治郎	中西繪治郎殿	一紙	
4	129	売渡書	大正8.11.19	横田村大字上之蔵 山崎吉次郎	中西繪治郎殿	一紙	
8	46	金銭消費貸借契約証書	大正9.3.15	債務者 中西繪治郎、保証人 竹村常次郎	株式会社産業銀行	一紙	
8	49	〔綴、上野町伊賀上野銀行宛中西喜久雄・中西繪治郎借用金証書、目録、伊賀上野銀行承認書〕	大正9.9.15	—	—	仮綴	3点仮綴
8	52	年賦償還金円借用証書	大正9.11.27	奈良県山辺郡波多野村大字西波多借主 繪治郎、同村大字同保証人 藤田安太郎	株式会社奈良県農工銀行取締役頭取 木本源吉殿	整帳	
5	39	上野銀行口(領収証など一括、大正9～12年)	大正9	株式会社伊賀上野銀行	中西喜久雄	一括	38～43:37の袋にて一括、39封筒にて25点一括
5	40	農工銀行口(領収証など一括、大正9～13年)	大正9	株式会社奈良県農工銀行	中西喜久雄	一括	38～43:37の袋にて一括、40封筒にて10点一括
9	58	大正九年下半期末伊賀上野銀行貸借対照表基ニテ考察	大正9	—	—	整帳	47～84こよりにて一括
4	294	代理店引継書(明治生命保険株式会社波多野代理店)	大正10.5.25	明治生命保険株式会社波多野代理店	—	整帳	封筒あり
4	366	為替手形(金1,700円)	大正10.5.31	奈良県山辺郡波多野村 中西繪治郎	—	一紙	
8	53	為替手形(京阪神銀行集会所擇定)	大正10.6.15	廣栄二郎	山辺郡波多野村西波多 中西繪治郎	一紙	
8	54	借用金証書	大正10.9.30	債務者 中西繪治郎、保証人 藤田安太郎、保証人 神谷大次郎	三重県阿山郡上野町大字東町貸主 株式会社伊賀上野銀行御中	整帳	
5	42	産業銀行中村土地口(領収証など一括)	大正11.1.11	株式会社産業銀行奈良北支店	中西喜久雄	一括	38～43:37の袋にて一括、42封筒にて4点一括
4	341	抵当権一部拋棄証書	大正11.2.25	奈良県奈良市中院町株式会社奈良県農工銀行取締役頭取 木本源吉	中西繪治郎殿	整帳	
4	74	救済寄賞講金領収通	大正11.2.—	救済寄賞講講元 井久保長治郎	中西繪治郎様	横帳	
4	368	約束手形(金500円)	大正11.6.26	奈良県山辺郡波多野村 中西繪治郎	株式会社産業銀行(奈良支店) 取締役 木本源吉殿	一紙	
5	10	第二組寄賞講掛金領収之通	大正11.8.—	中西喜七、西久保政雄、中西喜久雄	中西喜久雄	横半帳	

5	11	第二組寄附掛金領収之通	大正11.8.—	中西喜七、中西喜久雄、西久保政雄	中西喜久雄	縦帳	
4	33	抵当権一部拋棄証書	大正11.11.27	奈良県奈良市中院町株式会社奈良県農工銀行 取締役頭取 木本源吉	中西繪治郎殿	縦帳	
11	12	大阪アルカリ株式会社株式五十株（一括）	大正11.12.15	大阪アルカリ株式会社取締役社長 長谷川雄 五郎	株主 井上俊一郎	一括	封筒にて9点一括
5	38	産業銀行持債担保口（領収証など一括、大正11～13年）	大正11	株式会社産業銀行春日支店	中西喜久雄	一括	38～43：37の袋にて一括、38 封筒にて14点一括
7	196	〔一括、救済寄附通帳、寄附親母子講持株譲受渡証など、大正11年～昭和11年〕	大正11	—	—	一括	封筒にて7点一括
8	55	借用証書	大正11	奈良県山辺郡波多野村大字西波多債務者 中 西繪治郎、保証人 藤田安太郎	奈良県奈良市中院町 株式会社奈良 県農工銀行取締役頭取 木本源吉殿	縦帳	
8	44	金円借用証書	大正12.2.9	借主 中西繪治郎、連帯保証人 中西喜久雄	株式会社四日市銀行御中	縦帳	
8	88	抵当権変更登記申請書（目録仮綴）	大正12.2.13	登記権利者 中西繪治郎	上野裁判所御中	仮綴	
9	30	土地の覚（農工銀行抵当物件明細、産業銀行春日支店抵当物件明細など）	大正12.3.8	中西本店土地所有者 中西繪治郎、中西喜久 雄	—	縦帳	
8	27	金銭消費貸借契約証書	大正12.3.25	借主 中西繪治郎、中西喜久雄	株式会社産業銀行春日支店御中	縦帳	
8	43	領収証（抵当権借用金）	大正12.3.31	奈良県山辺郡波多野村西波多債務者 中西繪 治郎、同 中西喜久雄	株式会社産業銀行御中	縦帳	
10	78	信用寄附通帳（一括）	大正12.7.5	山辺郡波多野村大字西波多 新谷多三次、中 西喜久雄	—	一括	2点一括
8	38	抵当権放棄証書	大正12.9.20	抵当権者 株式会社産業銀行春日支店支配人 久保直次郎	中西繪治郎殿、中西喜久雄殿	縦帳	
8	13	通知書	大正12.9.26	株式会社伊賀上野銀行清算事務所	中西繪治郎殿	一紙	3～13封筒にて一括
8	47	抵当権解除証書	大正12.9.26	抵当権者 株式会社四日市銀行右法定代理人 取締役 高田隆平	中西繪治郎殿	縦帳	
8	50	貸金受取証書（登記名義人表示変更登記申請書・抵当権変更登記申請書仮 綴）	大正12.9.26	清算人 雲井憲二郎	中西繪治郎殿	仮綴	
8	16	抵当権一部拋棄証書	大正12.10.3	株式会社奈良県農工銀行取締役頭取 木本源 吉	中西繪治郎殿	縦帳	
8	29	抵当権拋棄証書	大正12.10.3	抵当権者 株式会社産業銀行春日支店支配人 久保直次郎	中西喜久雄殿	縦帳	
8	10	領収証（御用立金6,000円）	大正12.11.19	株式会社産業銀行春日支店	中西繪治郎殿	一紙	3～13封筒にて一括
8	56	領収書（合算年賦均等償還金）	大正12.12.13	株式会社奈良県農工銀行	中西繪治郎殿	一紙	
5	229	産銀頭取二申込票	大正13.4.19	中西、久保	—	縦帳	
8	1	産銀頭取之申込	大正13.4.19	中西、久保	—	縦帳	
8	85	特別当座預金通帳	大正13.6.4	株式会社産業銀行春日支店	藤田安太郎殿	縦帳	
8	11	領収証（手形貸付担保500円）	大正13.6.9	株式会社産業銀行春日支店	中西喜久雄殿	一紙	3～13封筒にて一括
5	219	〔決議書、銀行へ抵当引渡につき〕	大正13.6.25	—	—	一紙	
8	12	領収証（今中常市分御用立金）	大正13.10.7	株式会社産業銀行春日支店	中西繪治郎外一人殿	一紙	3～13封筒にて一括
12	21	借用金証書	大正13.12.10	山辺郡波多野村大字西波多借主 中西繪治 郎、同所借主 中西喜久雄	西久保政雄殿	一紙	封筒あり
8	57	受取書	大正13.12.15	株式会社奈良県農工銀行取締役頭取 木本源 吉	中西繪治郎殿	一紙	

8	30	抵当権一部放棄証書	大正14.1.27	株式会社産業銀行春日支店支配人 久保直次郎	久保直次	中西喜久雄殿	鞆帳	
7	195	第十二回貸金証書 西岡秀徳(一括、頼母子講株売渡証書、救済寄貸講通帳、金円借付証書など、大正14年～昭和10年)	大正14.2.20	—	—	—	一括	封筒にて4点一括
7	199	貸金証書 債務者中谷辰蔵 同中森久治郎(一括、救済寄貸講通帳、金円借付証書、頼母子講株売渡証書、大正14年～昭和10年)	大正14.2.20	—	—	—	一括	封筒にて3点一括
7	201	第参回貸金証書 債務者中森鶴蔵(一括、救済寄貸講通帳、頼母子講株売渡証書、金円借付証書など、大正14年～昭和11年)	大正14.2.20	—	—	—	一括	封筒にて4点一括
7	202	貸付金証書 債務者中上甚八郎(一括、救済寄貸講通帳、金円借付証書、頼母子講株売渡証書、大正14年～昭和11年)	大正14.2.20	—	—	—	一括	封筒にて3点一括
7	209	第拾四回貸付金 債務者大久保乙松(救済寄貸講通帳、金円借付証書、頼母子講株売渡証書、大正14年～昭和11年)	大正14.2.20	—	—	—	一括	封筒にて4点一括
10	72	救済寄貸講通帳(一括)	大正14.2.20	中西櫛治郎	—	—	一括	15点一括
12	20	救済寄貸講通帳(頼母子講株売渡証書あり)	大正14.2.20	松本清九郎	—	中西櫛治郎	鞆帳	封筒あり
8	58	抵当権一部放棄証書	大正14.3.10	株式会社産業銀行春日支店支配人 久保直次郎	久保直次	中西櫛治郎殿、中西喜久雄殿	一紙	
10	71	寄貸講金通帳	大正14.7.10	馬場直松	—	—	鞆帳	
8	48	抵当権一部放棄証書	大正14.7.21	株式会社産業銀行春日支店支配人 久保直次郎	久保直次	中西櫛治郎・中西喜久雄殿	鞆帳	
8	98	抵当権一部放棄証書	大正15.3.1	株式会社産業銀行春日支店支配人 久保直次郎	久保直次	中西櫛治郎・中西喜久雄殿	鞆帳	
8	90	抵当権一部放棄証書	大正15.7.1	株式会社産業銀行春日支店支配人 久保直次郎	久保直次	中西櫛治郎・中西喜久雄殿	鞆帳	
10	70	救済寄貸講通帳(一括)	大正15.4.26	講元 廣亀吉	—	—	一括	27点一括
12	3	金円借付証書	大正15.8.10	奈良県山辺郡波多野村大字西波多借主 中西櫛治郎、中西喜久雄	中西	山辺郡波多野村大字西波多頼母子講金代表者 中西喜七殿	鞆帳	
7	200	第四回貸金証書(借入金証書)	大正15.8.26	三重県名賀郡花垣村大字治田債務者 清田久雄	—	—	一紙	封筒あり
10	76	救済寄貸講通帳(一括)	大正15.11.5	講元 今中菊石	—	—	一括	7点一括
11	4	救済寄貸講通帳	大正15.11.5	講元 今中菊石、講元引受世話掛 興弘光、世話掛 中西喜久雄	—	—	鞆帳	
8	4	(領収証)	大正15.11.14	奈良県山辺郡波多野村 株式会社産業銀行春日支店	中西喜久雄殿	—	一紙	3~13封筒にて一括、4封筒あり
5	41	産業銀行口(手形金受取書)	大正15.11.17	株式会社産業銀行春日支店	中西喜久雄	—	一紙	38~43:37の袋にて一括、41封筒あり
4	363	為替手形(金17,500円)	大正4.2	奈良県山辺郡波多野村大字西波多 中西櫛治郎	—	—	一紙	
7	2	寄貸講特別会計補助簿(葬式道順図のはきみ込みあり)	大正	中西喜久雄	—	—	鞆帳	
8	59	借付証書	大正	債務者 中西櫛治郎、保証人 藤田安太郎	藤田安太郎	株式会社奈良県農工銀行取締役頭取 木本源吉殿	鞆帳	
8	91	借付証書	大正	債務者 中西櫛治郎、保証人 藤田安太郎	藤田安太郎	株式会社奈良県農工銀行取締役頭取 木本源吉殿	鞆帳	
5	43	雑領収証(一括)	(大正カ)	—	—	—	一括	38~43:37の袋にて一括、43封筒にて12点一括

8	60	[中西楯治郎救済寄貸講領収証一括]	昭和2.9.—	—	廣龜吉救済寄貸講講主 廣龜吉、管理人 廣宇三郎、同 廣多平、同 下垣内千代太郎、同 窪田今造、同 中西喜久雄、同 井岡貞蔵	—	針ヶ別所警察署長 櫻本秀則殿	—	一括	69点一括
	53	御届書	昭和2.9.—	—	—	—	—	—	一括	—
	9	約束手形	昭和2.12.8	—	中西喜久雄	—	株式会社産業銀行春日支店殿	—	一紙	3~13封筒にて一括
	197	講元中西楯治郎頼母子届書控(一括、昭和3~9年)	昭和3.2.25	—	—	—	株式会社産業銀行春日支店殿	—	一括	封筒にて11点一括
	8	約束手形	昭和3.7.12	—	中西喜久雄	—	株式会社産業銀行春日支店殿	—	一紙	3~13封筒にて一括
	5	領収書(債権譲渡通知あり)	昭和4.1.15	—	奈良県北葛城郡王寺町大字王寺 竹田富美、右法律上代理人親権者 竹田仁蔵	—	奈良市法蓮町 中西楯治郎殿	—	一紙	3~13封筒にて一括、5封筒あり
	81	特別当座預金通帳	昭和4.2.—	—	株式会社伊賀農商銀行波多野店	—	—	—	一紙	—
	20	[収支帳]	昭和4	—	井岡貞蔵	—	—	—	一紙	—
	204	第十二回貸金証書 債務者今中常市(一括、金円借用証書、頼母子講株売渡証書など、昭和5~11年)	昭和5.9.2	—	—	—	—	—	一括	封筒にて4点一括
	41	債権並二抵当権譲渡契約書	昭和5.9.27	—	株式会社産業銀行清算人 木本源吉	—	株式会社六十八銀行取締頭取 嶋田平右衛門殿	—	一紙	—
	42	債権並二抵当権譲渡通知書	昭和5.9.27	—	株式会社産業銀行清算人 木本源吉	—	中西喜久雄殿	—	一紙	—
	31	[通知、債務不履行につき]	昭和6.2.—	—	株式会社六十八銀行代理人 峰本新太郎	—	中西喜久雄殿	—	一紙	—
	40	[書状、債務完済に充当の担保土地、談評価額にて相対売却交渉につき]	昭和6.3.3	—	山辺郡波多野村大字西波多 中西喜久雄	—	峰本新太郎殿	—	一紙	—
	23	[頼母子講勘定覚一括、昭和6~11年]	昭和6.7.1	—	—	—	—	—	一括	封筒にて4点一括
	39	訴状(貸金請求訴訟につき)	昭和6.8.4	—	原告 株式会社六十八銀行、右原告訴訟代理人 峰本新太郎	—	奈良地方裁判所御中	—	一紙	—
	45	[綴、金銭消費貸借契約証書、抵当物件目録一覧、奈良市橋本町株式会社六十八銀行支配人木田勝裁判所受付抵当権設定領収書]	昭和6.10.19	—	—	—	—	—	一紙	3点仮綴
	18	株式会社三井銀行営業案内	昭和6	—	株式会社三井銀行	—	—	—	一紙	—
	32	[通知、抵当権抹消のため領収書送達につき]	昭和7.3.2	—	株式会社六十八銀行産銀清算課	—	中西喜久雄殿	—	一紙	—
	54	頼母子講株売渡証書	昭和7.8.—	—	山辺郡波多野村大字西波多売渡人 川向源次郎	—	中西喜久雄殿	—	一紙	—
	7	(借金)催告状(回答書あり)	昭和8.3.10	—	弁護士中村正敏法律事務所	—	中西喜久雄殿	—	一紙	3~13封筒にて一括、7封筒あり
	3	領収証(一括)	昭和9.1.19	—	奈良市光明院町株式会社産業銀行、清算事務所 奈良市中筋町	—	山辺郡波多野村西波多 中西喜久雄殿	—	一括	3~13封筒にて一括、封筒上書「整理証拠書類、3封筒にて一括
	208	金円借用証書	昭和10.10.30	—	山辺郡波多野村大字菅生 田畑道男	—	中西楯治郎頼母子講々金管理人 中西喜七殿	—	一紙	—
	203	貸金証書 債務者今仲基蔵(一括、金円借用証書、頼母子講株売渡証書)	昭和10.12.20	—	—	—	—	—	一括	封筒にて2点一括
	15	[手帳]	昭和10	—	野村銀行	—	—	—	一紙	—
	210	第九回貸金証書 債務者(大字春田) 森田善六(一括、救済寄貸講通帳、頼母子講株売渡証書、金円借用証書など)	昭和11.1.16	—	—	—	—	—	一括	封筒にて4点一括
	205	第拾七回貸金証書 債務者井久保守吉(一括、頼母子講株売渡証書、金円借用証書、救済寄貸講通帳など)	昭和11.1.30	—	—	—	—	—	一括	封筒にて4点一括
	206	貸金証書 債務者岡田鹿蔵(一括、金円借用証書、頼母子講株売渡証書など)	昭和11.2.1	—	—	—	—	—	一括	封筒にて3点一括

7	207	第七回貸金証書 債務者今久保豊次郎（一括、金円借用証書、頼母子講株売渡証書、救済寄貸講通帳）	昭和11.2.10	—	—	—	—	一括	封筒にて3点一括
5	124	覚（頼母子講譲渡につき）	昭和12.3.10	神古佐太郎、中西喜七、藤田安太郎、中西喜久雄	今井本吉殿、右原義宣殿、今北常男殿、上岡直蔵殿	—	—	一紙	—
8	15	計算書（井久保守吉代関係一括）	昭和12.6.6	中西喜久雄	—	—	—	一括	封筒にて4点一括
4	127	〔領収証一括、大阪上六太軌百貨店、三重県上野町恵美須町宇尾崎洋服店など〕	昭和13.3.22	—	—	—	—	一括	7点一括
5	26	領収証（広蔵吉頼母子講解消金210円）	昭和19.1.7	下浦俊雄	広蔵吉頼母子講世話掛 広多平	—	—	一紙	—
5	32	領収証	昭和19.2.4	中谷藤三	広頼母子管理人 中西喜久雄	—	—	一紙	—
5	180	獎金附勝札	昭和20.7.—	株式会社日本勧業銀行	—	—	—	一紙	—
5	64	〔金円出入覚帳〕	昭和26.7.—	—	—	—	—	ノート	—
7	148	頼母子講株売渡証書	昭和	山辺郡波多野村 藤田久五郎	—	—	—	一紙	—
9	95	頼母子講株売渡証書	昭和	井上喜寿郎、田畑道男	—	—	—	一紙	—
10	108	〔頼母子入札関係一括〕	昭和	—	—	—	—	一括	封筒にて42点一括
10	171	頼母子講株売渡証書	昭和	山辺郡波多野村大字西波多売渡人 岩久保源吉	—	—	—	一紙	—
7	110	〔利足金勘定帳、菅生平八・下ツ政次郎分など〕	辰（近代）	—	—	—	—	横帳	61～113一括
11	19	記（東京浅黄金巾・足袋、手拭代など諸品代金勘定につき）	（近代）8.23	ふし田（印、〔大和山辺郡波多野村西波多藤田〕）	中西喜市郎様	—	—	一紙	—
9	101	郵便料金取立書	（近代）10.28	朝日新聞	西波多 中西	—	—	一紙	—
11	55	証（米8斗御送り、大豆1石御渡し下さるべくにつき）	（近代）11.11	法花村 服部徳右衛門（印、〔伊州法花服部徳右エ門〕）	上津 中西御氏様	—	—	一紙	—
5	251	金円借用証券（断簡）	（近代）11.—	—	—	—	—	断簡	—
9	47	〔書状、新契報告書代手料通知書同封御送付につき〕	（近代）12.1	林五郎	中西喜久雄様	—	—	一紙	47～84こよりにて一括
4	6	波多野村金借券（封筒）	（近代）	菅生	—	—	—	封筒	—
4	143	〔羽練代など諸代金勘定覚〕	（近代）	—	—	—	—	一紙	—
4	144	〔穴入分・山崎内分肥料代など諸代金勘定覚〕	（近代）	—	—	—	—	一紙	—
4	180	〔書状、地下足袋引き取り依頼につき〕	（近代）	田島	西波多野 中西君	—	—	一紙	封筒あり
4	233	〔約束手形・為替手形一括〕	（近代）	—	—	—	—	一括	16点一括
4	309	〔一括、中西橋治郎重要書類、銀行関係など〕	（近代）	—	—	—	—	一括	封筒にて4点一括
4	311	〔書状、資金融通につき、中西橋治郎名刺あり〕	（近代）	伊賀上野町 廣原太郎	奈良市禰福院町 中西橋治郎殿	—	—	一紙	封筒あり
4	316	〔書状、産銀の方見込つくまで帰宅せすにつき〕	（近代）	喜久雄	父上様	—	—	一紙	—
4	396	〔為替、中西橋治郎殿より参円〕	（近代）	シンカー裁縫機械会社	—	—	—	一紙	—
5	8	第十二号 救済寄貸講通帳	（近代）	講元 窪田松太郎、代理 窪田乙松	進藤敬殿	—	—	横半帳	—
5	59	〔金円出入覚〕	（近代）	—	—	—	—	一紙	—
5	83	差引残	（近代）	—	—	—	—	一紙	—
5	100	領収証綴	（近代）	大塚上野線道路改修委員	—	—	—	一紙	—
5	123	奈良県農工銀行抵当権一部解除一件	（近代）	—	—	—	—	一紙	—
5	129	〔産業銀行抵当権設定・解除帳綴〕	（近代）	—	—	—	—	一紙	—
5	159	藤田一件要書（一括、金円借用証など）	（近代）	—	—	—	—	一括	封筒にて6点一括

5	166	(金銭出入算)	(近代)	—	—	—	一紙	封筒にて2点一括
7	14	第四回寄貸講貸金証書(一括、金円借用証書など)	(近代)	借主 大窪鶴藏	—	—	一括	封筒にて2点一括
7	15	第十五回貸金証書(一括、金円借用証書、救済寄貸講通帳、頼母子講株売渡証書)	(近代)	債務者 岩久保源夫	—	—	一括	封筒にて5点一括
7	16	中谷機三股頼母子通帳(救済寄貸講通帳、頼母子講株売渡証書一括)	(近代)	—	—	—	一括	封筒にて2点一括
7	17	第五回貸金証書(救済寄貸講通帳、頼母子講株売渡証書一括)	(近代)	債務者 今仲基藏	—	—	一括	封筒にて2点一括
7	18	第十六回貸金証書(一括、金円借用証書、頼母子講株売渡証書、救済寄貸講通帳など)	(近代)	債務者 前川正一	—	—	一括	封筒にて4点一括
7	19	貸金証書(救済寄貸講通帳、金円借用証書、頼母子講株売渡証書一括)	(近代)	債務者 吉元伝三郎	—	—	一括	封筒にて3点一括
7	20	第十回貸金証書(一括、金円借用証書、頼母子講株売渡証書など)	(近代)	債務者 辰見留石	—	—	一括	封筒にて3点一括
7	55	第拾五回(半株)貸金証書(一括、金円借用証書など)	(近代)	債務者 吉元伝三郎	—	—	一括	封筒にて2点一括
7	56	第拾五回(半株)貸金証書(一括、契約証など)	(近代)	債務者 井尾庄太郎	—	—	一括	封筒にて3点一括
7	57	講元中西繪治郎第巻回借用証書(一括、救済寄貸講通帳など)	(近代)	—	—	—	一括	封筒にて7点一括
7	58	第拾巻回貸金証書(一括、抵当権設定消費貸借契約証書など)	(近代)	債務者 川端正一、川端倉三	—	—	一括	封筒にて7点一括
7	59	第巻号貸附金証書入(一括、小作証など)	(近代)	中西繪治郎	—	—	一括	封筒にて13点一括
7	60	貸付金証書(一括、救済寄貸講通帳など)	(近代)	債務者 前田清市郎	—	—	一括	封筒にて4点一括
7	81	(金円勘定算、神戸手平口・米代など)	(近代)	—	—	—	一紙	61～113一括
7	84	(金円勘定算)	(近代)	—	—	—	一紙	61～113一括
7	88	(金円勘定帳)	(近代)	—	—	—	横帳	61～113一括
7	103	記(金円勘定につき)	(近代)	—	—	—	一紙	61～113一括
7	107	(金円勘定帳)	(近代)	—	—	—	横帳	61～113一括
7	155	(一括、証書入など)	(近代)	—	—	—	一括	封筒にて23点一括
7	151	貸附金証書入(一括、借用証など)	(近代)	中西繪治郎	—	—	一括	封筒にて19点一括
7	198	貸付金証書 債務者進藤兵衛(一括、金円借用証書、頼母子講株売渡証書など)	(近代)	—	奈良県山辺郡波多野村 中西喜久雄	—	一括	封筒にて7点一括
8	14	産業銀行関係書類(袋)	(近代)	—	—	—	袋	—
9	21	(金円勘定帳)	(近代)	—	—	—	罫帳	—
9	56	西行杏株ニ対スル株主勘定比較	(近代)	—	—	—	罫帳	47～84こよりにて一括
9	70	乾物券(はがき)	(近代)	伊賀上野農人町 浜島利助	—	—	はがき	47～84こよりにて一括
9	99	(領収証一括)	(近代)	—	—	—	一括	10点一括
11	13	明治生命保険株式会社保険案内	(近代)	明治生命保険株式会社	—	—	一紙	—

【産業・組合】

10	125	乍恐奉申上候(生布海苔積登りにつき関所通行手形)	(近世),6.13	榎並屋庄左衛門	御関所御役人中様	—	一紙	—
3	291	口上(泉州より大坂瓦間屋へ通船願いにつき、3・292～293の包紙として再利用)	(近世),6.27	—	御番所様	—	一紙	288～3120.もにて一括、291～293包紙にて一括
2	13	(邑地35駄たちん・高尾35駄たちん・わたやたちん・北嘉舟ちん銀265両勘定算)	(近世)	—	—	—	一紙	—
8	161	借用申金子之事(茶前金として金10両借用)	明治7.2.—	下津村借主 長藏	上津むら 中西喜左衛門様	—	一紙	183～171こよりにて一括、161包紙あり

3	412	(酒造高書上)	文 (明治8カ)	—	—	—	—	一紙	368～435のものにて一括、407～414こよりにて一括
3	414-1	炭竈営業御願	明治9.1.—	第貳大区六八区山辺郡西波多村願人 広多三郎	奈良県権令 藤井千尋殿	—	—	一紙	368～435のものにて一括、407～414こよりにて一括
8	165	証 (酒造用資金借用につき)	明治9.3.—	山辺郡運瀬村借主 中田利平	同郡西波多村 中西勘兵衛様	—	—	一紙	153～171こよりにて一括、165包紙あり
3	419	清酒造石税・焼酎造石税 (一括、明治14～15年)	明治14	添上添下山辺広瀬平群郡役所	山辺郡西波多村 井岡彦太郎	—	—	一括	368～435のものにて一括、419:6点一括
4	8	(引札、明治16年略暦あり)	明治15.10.18	呉服太物類并二唐物類 大塩村 中西政吉	—	—	—	引札	—
4	12	(引札、明治16年略暦あり)	明治15.10.18	呉服太物類并二唐物布類 向井嘉治郎	—	—	—	引札	—
11	39	資格届 (茶園開業につき)	明治25.3.23	波多野村茶業組合委員	大字西波多惣代 中西喜一郎殿	—	—	一紙	—
10	20	山辺・平群郡組合証明票売別帳	明治25	波多野村大字西波多 中西喜市郎	—	—	—	横帳	—
5	269	(組合規約更正書認可書類)	明治27.4.5	奈良県知事 古澤滋	—	—	—	一紙	252～308袋にて一括
5	133	実業興振会要書類 (一括、実業興振会会則、出席名簿など)	明治32.1.—	—	—	—	—	一括	封筒にて40点一括
3	316	担保物件入 (西波多信用購買組合関係一括、明治32年～昭和13年、明治32年9月20日奈良興農工銀行株式代金振込通知書、大日本帝国政府支那事 務院全国庫債券、大正14年大日本帝国政府五分利公債証書、明治40年～昭和9年割増金付割引勸業債券など)	明治32.9.20	—	—	—	—	一括	—
9	91	(地価割請求書)	明治33.4.10	山辺郡大和米改良組合組長 中西小七郎	村大字西波多 中西喜市郎	—	—	一紙	—
4	159	大和米改良組合一件 (一括)	明治33	—	—	—	—	一括	封筒にて6点一括
5	36	組合員名簿	明治40.9.—	西波多購買組合	—	—	—	一紙	—
7	27	出勤出張簿	明治40.9.—	西波多購買組合	—	—	—	一紙	—
4	123	西波多信用購買組合出資券 (一括)	明治44.1.20	組合員 中西楢治郎、組合員 中西喜久雄	—	—	—	一括	14点一括
6	223	有限責任西波多信用購買組合出資券一口券 (一括)	明治44.1.20	理事 中西楢治郎、理事 中西喜治郎、理事 藤井芳威、理事 野村健治郎	—	—	—	一紙	—
4	35	当座預金通帳	明治44.1.—	株式会社産業銀行春日支店	西波多信用購買組合組長 中西楢治郎殿	—	—	通帳	—
3	177	口上 (水車願提出につき)	(明治)2.15	六八区戸長役所	西波多村年番什長御中	—	—	一紙	—
4	283	(牛乳販売区域協定書)	大正3.9.28	奈良県山辺郡針ヶ別所大字下深川 博義軒 乾牧畜場	奈良県山辺郡波多野村西波多 中西楢治郎	—	—	一紙	封筒あり
4	44	吾組合の契	大正4.3.—	奈良県山辺郡波多野村有限責任西波多信用購買組合組長理事 中西楢治郎、役員一同	—	—	—	一紙	後欠
9	55	総会決議録	大正10.1.31	有限責任備前信用購買組合組長理事 安良芳吉郎	—	—	—	一紙	47～84こよりにて一括
5	48	出資券譲渡証	大正11.12.9	藤田龜松	—	—	—	一紙	—
5	47	出資券売渡証	大正11.12.—	進藤兵吉	中西喜久雄殿	—	—	一紙	—
4	319	(米検査票一括)	大正11	—	—	—	—	一紙	封筒にて同一物30点一括
4	252	小倉山康豆腐株式会社趣意書・定款・自論見書・収支予算書	大正12.1.13	—	—	—	—	一紙	—
4	364	小倉山康豆腐株式会社趣意書・定款・自論見書・収支予算書	大正12.1.13	—	—	—	—	一紙	—
6	221	有限責任西波多信用購買組合出資証券一口券 (一括)	大正12.4.30	組合長理事 中西楢治郎	—	—	—	一紙	同一物118点
6	222	有限責任西波多信用購買組合出資証券二口券 (一括)	大正12.4.30	組合長理事 中西楢治郎	—	—	—	一紙	同一物20点
6	224	有限責任西波多信用購買組合出資証券五口券 (一括)	大正12.4.30	組合長理事 中西楢治郎	—	—	—	一紙	同一物34点





4	142	〔奈良県内組合書上断簡〕	(近代)	—	—	—	断簡	
4	188	協同農村へのあゆみ 清き五月川の流れ	(近代)	—	—	—	一紙	
4	196	〔組合規約断簡〕	(近代)	—	—	—	帳はずれ	
4	272	定(酒値段につき)	(近代)	酒造営業人	—	—	一紙	
4	275	定(酒販売値段につき)	(近代)	酒造営業人	—	—	一紙	
4	324	伊大利一号白桑(桑葉拓本一括)	(近代)	—	—	—	一括	6点一括
4	327	伊大利一号一名大桑原(桑葉拓本、361とはさみ込み一括)	(近代)	—	—	—	一紙	
4	337	〔白桑葉拓本〕	(近代)	—	—	—	一紙	
4	361	早生春蚕用清十郎(桑葉拓本、327とはさみ込み一括)	(近代)	—	—	—	一紙	
5	185	外資輸入見積高(最低)	(近代)	—	—	—	一紙	
8	64	〔西波多信用購買組合関係書類一括〕	(近代)	—	—	—	一括	28点一括
8	76	特撰銘茶芳香佳味泉の華(袋)	(近代)	奈良県山辺郡波多野村 福井緑泉園	—	—	袋	
13	4	新組合什器消耗品購入計画	(近代)	保証責任西波多信用購買組合	—	—	堅帳	
13	5	運搬組合の内容(定期貸付明細、年賦貸付明細、未収入利足明細など)	(近代)	—	—	—	堅帳	
13	6	組合員名簿	(近代)	保証責任西波多信用購買組合	—	—	堅帳	

【宗教】

3	19	田地証文之事(其元御支配の田地年々作徳米7升ずつ、講中へ御計らいつき)	文化13.2.—	下津村 伊勢講、同村講頭 新平、同村年寄 舟蔵、同村同断 金蔵、同村庄屋 嘉七、ほか3名	同村 清蔵殿	一紙		
10	165	御寄附金拝借証文之事(金15両、午12月28日付長谷寺役所金蔵院裏書あり「表書之金子、令旨済者也」)	天保12.8.—	奥田主馬殿領分和州山辺郡下津村借主庄屋 佐蔵、同郡同村講人年寄 喜右衛門、同郡同村村惣代 甚七、掛所吉住猪兵衛の奥印あり	長谷寺御上座衆中様、勸学院両御役者中様	一紙	虫損甚大	
10	166	御寄附金拝借証文之事(金15両、未12月25日付長谷寺役所金蔵院裏書あり「表書之通、皆済事」)	天保12.8.—	奥田主馬殿領分和州山辺郡大西村借主庄屋 源七、同郡同村講人年寄 庄左衛門、同郡同村村惣代 儀右衛門、掛所吉住猪兵衛の奥印あり	長谷寺御上座衆中様、勸学院両御役者中様	一紙		
3	145	往来一札(奥田主馬殿御領下和州山辺郡畑上津村百姓通行4人、富士山参詣につき)	嘉永元.6.—	和州山辺郡畑上津村 増福寺	国々御関所、村々御役人中	一紙	包紙あり	
10	115	奉拝借銀子之事(当村絶人株御上納銀要用のため、多武峯銀の内上津村分1貫目借用)	嘉永元.7.—	多武之峯引請主大西村庄屋 磯右衛門、同村年寄 儀兵衛、同村同断 清右衛門	御役所御掛所 中西御氏様	一紙	113～124こよりにて一括	
12	2	をどりばん	安政2.6.26	中西政吉	—	—	写本	
3	2	借用申銀子之事(神野寺修費料金1両、無利足にて借用)	安政5.極.—	借用主伏拝村神野寺 龍光、同村年寄 儀助、同村庄屋 常八	上津村 中西源大夫様	一紙	包紙あり	
3	312-4	乍恐御届奉申上候(和州吉野郡国栖郷大野村東林寺先住職退寺、本山京都知恩院より提督後住職に差向につき、312の包紙として再利用)	文久2.8.28	大野村東林寺住職 惺善、旦家惣代兼村役人 惣代庄屋 半兵衛	鈴木源内様御役所	一紙	238～312ひもにて一括	
3	153	〔銀札49宛2分請取覽〕	(近世).8.6	増福寺	源大夫様	一紙	152～153包紙にて一括	
3	242	神武天皇即位紀元二千五百三十三年 明治六年太陽暦(断簡)	明治6	製本所 村上勘兵衛	—	—	帳はずれ	238～312ひもにて一括
3	243	無住無拠真言宗阿弥陀寺薩寺御願	明治7.8.—	上津村副戸長 中西喜平次	奈良県権令 藤井千尋殿	堅帳	238～312ひもにて一括	
10	75	氏神春日社御口	明治25.9.—	奈良県山辺郡 [ ]	—	—	横帳	表紙破損
12	10	証(東大寺二月堂寄付金領収につき)	明治28.9.22	東大寺二月堂受納所	山辺西畑(マヅ) 中西喜三郎殿	一紙		
9	52	徳島県警蔵山奥院金毘羅境内全図	明治30.4.—	東京市浅草区孝町二丁目 青山豊太郎	—	—	絵図	47～84こよりにて一括

314	阿弥陀寺屋根換及経営新建費用帳	明治37.3.—	中西本家	—	横帳	
110	当宮宮井ニ会計簿(表紙のみ)	明治39	大当宮 今中静夫、合当宮 菊田喜男	—	帳はずれ	
186	口上(春日若宮参詣につき)	(明治)	願主人 長楽講 神翁伊三郎、なら今みかど 町世話人 松竹屋弥平治、同 世話人中	—	一紙	
213	社寺墓証	(明治カ)	—	—	一紙	
214	春日若宮御祭寄付(寄付金書上帳)	(明治カ)	—	—	竖帳	
12	富士講精算及献立帳	大正4.8.5	—	—	横帳	
148	春日神社造宮諸願書控(一括、大正4～6年)	大正4.10.—	大字西波多区長 前川亀石	—	一括	26点一括
89	大阪朝日新聞 神武天皇遷原宮即位図	大正5.2.11	大阪朝日新聞	—	新聞	
42	座祭り当屋覚工帳	大正6.10.—	大当屋 中西喜久雄長男善正、今当屋 井岡 梅太郎長男	—	横帳	
59	仮証	大正11.5.27	常智院	施主 中西櫓治郎殿	一紙	47～84こよりにて一括
151	神社寺院一件書類(一括、大字西波多共有金学資金現在明細書、村社春日 神社予算認可願、氏神春日神社祭典寛など、大正15年～昭和22年)	大正15.2.16	—	—	一括	20点一括
96	氏神春日神社御供燈明料及社守給料・式内春日神社燈明料・小使給料職課 徴収帳	昭和2.1.15	区長 中西喜久雄、代理者 進藤辰蔵、相談 役 中西喜七	—	横半帳	
24	春日神社造宮新夫婦祝儀帳	昭和15.11.3	氏子惣代 前川亀石、中西喜七、進藤辰蔵、 区長 藤田安太郎、代理者 藤田久五郎、相 談役 尾植長太郎	—	横帳	
26	昭和十五年十一月三日(明治節)季式 氏神春日神社造宮収支決算明細帳	昭和15.11.3	氏子惣代 前川亀石、中西喜七、進藤辰蔵、 区長 藤田安太郎、代理人 藤田久五郎、相 談役 尾植長太郎	—	横帳	
323	郷社春日神社燈明料・氏神春日神社御供燈明料・寺院関係時米・墓地管理 料・宮守給料其他諸給料職課徴収帳	昭和24.1.15	氏神檀家総代 藤田安太郎、奥弘光、中西喜 久雄、年与 尾上基太郎、尾植武照	—	竖帳	
371	昭和二十四年度上津社寺費歳入歳出予算書	昭和24	—	—	一紙	
375	昭和二十六年上津社寺費歳入歳出予算書	昭和26	—	—	一紙	
81	廿七年度宮うつし決算	昭和27	—	—	一紙	
373	昭和三十一年度社寺費歳入歳出予算書	昭和31.1.15	—	—	一紙	
372	昭和三十四年度社寺費歳出予算書	昭和34.1.15	—	—	一紙	
125	薬師寺 第二号	昭和44.7.10	薬師寺	—	刊本	
27	証(天理教会新築御志金領収につき)	(近代)5.3	中川徳蔵	中西喜市郎様	一紙	
67	神宮大麻頒布謝状	(近代)	中西	—	一紙	47～84こよりにて一括
266	御田圃図	—3.15	春日神社蔵版	—	一紙	238～312ひもにて一括、266 包紙あり
173	(布袋図)	—	—	—	絵図	

【教育・文化・婦人会・青年団】

484	大和国波多の由来記号	天正13	中西□坊出口	坊	掛軸	
34	(往来物)	宝暦7.10.24	生国常州真壁本木村 大楽院本端	—	写本	
7	村名書交手形(往来物)	慶応3.4.吉	—	—	写本	
71	楓狩刺本地	(近世)	大坂船町 天満屋玉水源次郎新版	—	刊本	

8	72	新左衛門館の段 覺仇討	(近世)	京 菊屋七良兵衛、菱屋孫兵衛、松原通経屋 町通 墨屋吉兵衛板	—	刊本	—
8	75	再板 毛谷村の段 彦山権現	(近世)	大坂船町 天満屋玉水源次郎新版	—	刊本	—
7	33	難波戦記	(近世カ)	山辺郡上津村 中西喜左衛門	—	写本	—
10	31	明治五年一月ヨリ同十二年九月三十日迄 学校資本金出納付計算簿	明治5.1.—	西波多村総代 福井吉次郎	—	横帳	—
3	217	学資金献上之義ニ付御願書	明治7.11.—	第二大区山辺郡上津村願人 中西喜平次、井 岡嘉治郎、ほか8名、戸長、副戸長の奥印あ り	奈良県権令 藤井千尋殿	縦帳	—
3	158	生徒謝儀受取帳	明治8.7.—	六小区世話掛	上津村 中西菊次郎	横半帳	—
4	326	掌中日本全図	明治9.2.19	梅原龜七	—	絵図	—
3	188	証(学校掛金受取につき)	明治9.3.5	神谷利平、久保勇藏	西波多村 中西喜市郎殿	一紙	—
3	237	証(人員掛金勘定につき)	子(明治9).7.30	六小区学校世話掛り 久保勇藏	西波多村年番御中様	一紙	—
11	65	一新講(定宿帳)	明治10.1.—	一新講	—	縦帳	—
11	5	鹿兒島征討日記 第六(裏表紙「奈良郡役所部内三聯合山辺郡西波多村 中西蔵書」)	明治10.3.8	発売所 京都新京極通嶋薬師角 大田権七、 ほか6名	—	刊本	—
10	34	学校資本金貸付帳	明治12.10.—	西波多村 中西喜市郎	—	横帳	—
7	31	小うたひ百番目録	明治15.正.—	中西□□□	—	刊本	—
5	273	(京都菁菁学校初課程表)	明治21.1.—	京都菁菁学校	—	一紙	252~308袋にて一括
10	83	学資共有金分借ニ対スル契約書	明治23.1.21	—	—	縦帳	—
11	34	(通知、生徒飯用割木供出につき)	明治23.10.20	春日高等尋常小学校	大字西波多惣代御中	一紙	封筒あり
11	33	(書状、授業料5円御送付につき)	明治23.10.21	春日高等尋常小学校	西波多惣代 中西喜市郎殿	一紙	封筒あり
11	6	(教育)勸語	明治23.11.1	中西権次郎	—	縦帳	—
11	31	伝令書(明治23年11月分授業料、春日高等尋常小学校へ御納につき)	明治23.11.13	担当 川上康太郎	波多野村大字西波多 中西総代殿	一紙	封筒あり
11	30	(通知、明24年学齢者のうち疾病家計困難の者届出につき)	明治23.11.21	山辺郡波多野村役場	大字西波多惣代 中西喜市郎殿	一紙	封筒あり
10	45	教育費補助金徴収帳	明治24.2.6	大字西波多惣代 中西喜市郎、組長 井岡嘉 次郎、福井吉藏、尾植梅松立会	—	横帳	—
11	36	(書状、別紙届書御送付願につき)	明治24.7.16	大字春日 不動院	大字西波多惣代 中西喜市郎様	一紙	—
10	12	教育費補助金徴収帳	明治24.8.10	大字西波多惣代 中西喜市郎、組頭 井岡嘉 次郎、福井吉藏、尾植梅松立会	—	横帳	—
4	231	県下長者見立	明治24.11.3	新大和新聞	—	一紙	—
10	11	教育費補助金徴収帳	明治25.1.26	大字西波多惣代 中西喜市郎、組頭 井岡嘉 次郎、尾植梅松、福井吉藏立会	—	横帳	—
11	40	(通知、生徒進級式につき)	明治25.3.18	山辺郡波多野村大字春日尋常小学校	大字西波多惣代 中西喜市郎殿	一紙	封筒あり
10	8	教育費補助金地面掛り徴収帳	明治25.8.29	大字西波多惣代 中西喜市郎、組頭 井岡嘉 次郎、福井吉藏、尾植梅松立会	—	横帳	—
5	270	大阪朝日新聞附録 大阪鉄道会社汽車発着時間及乗車賃金表 附線路案内 略記	明治26.6.1	大阪朝日新聞	—	新聞	252~308袋にて一括
5	282	奈良行費用記	明治26.12.6	—	—	一紙	252~308袋にて一括
5	303	(奈良行き記録)	明治26.12.6	—	—	一紙	252~308袋にて一括
5	255	小笠原流丸忠孝(歌舞伎番組)	明治29.2.1	劇場番附製造人 玉置清七版	—	一紙	252~308袋にて一括
5	253	大阪実業学館趣意書	明治29.4.—	認可大阪実業学館館主 土井晋吉	—	一紙	252~308袋にて一括

5	254	〔大阪朝日新聞切り抜き、勲章叙賜〕	明治29.8.15	大阪朝日新聞	—	—	新聞	252～308袋にて一括
10	27	明治卅一年度教育費補足金徴収帳	明治32.1.14	大字西波多惣代 中西喜市郎、評議員 井岡嘉治郎、同 福井吉蔵立会	—	—	横帳	—
10	36	明治三十一年度教育費補足金徴収帳	明治32.4.23	西波多惣代 中西喜市郎、評議員 井岡嘉治郎、同 福井吉蔵	—	—	横帳	—
9	48	入学願書	明治38.1.一	奈良県山辺郡波多野村大字西波多 井岡貞蔵	—	—	一紙	47～84こよりにて一括
4	161	時事新報華太及勘察加(カムチャツカ)全図	明治38.6.10	時事新報社	—	—	絵図	—
4	85	臨時増刊 滑稽新聞 号外	明治38.9.20	大阪市西区江戸堀南通四丁目 滑稽新聞社	—	—	新聞	—
3	481	春日学校寄付三件謝状(一括、明治39～44年)	明治39.12.5	奈良県知事正五位勲四等 川路利恭	奈良県山辺郡波多野村大字西波多 中西権次郎	—	一括	437～483包紙にて一括、481：封筒にて3点一括
10	81	学資金基帳	明治41	大字西波多学資金管理者 中西権治郎	—	—	縦帳	—
3	473	寄付金採納書(春日校基本金50円)	明治42.7.29	波多野村長 前川亀石	山辺郡波多野村大字西波多 中西権治郎	—	一紙	437～483包紙にて一括、473～474封筒にて一括
3	263	〔願書、中学校学資金、会議所持参につき〕	亥(明治).3.26	神谷利平	上津村副戸長御中	—	縦綴	238～312ひもにて一括
3	160	記(費用勘定につき、5月3日付西波多村年番什長宛学校世話掛り久保勇造添書あり)	(明治).4.一	久保勇蔵	西波多村元上村年番什長	—	縦帳	—
5	260	〔都踊覧〕	(明治カ)	—	—	—	一紙	252～308袋にて一括
5	274	〔漢文随筆稿〕	(明治カ)	—	—	—	一紙	252～308袋にて一括
5	278	建国体裁	(明治カ)	—	—	—	一紙	252～308袋にて一括
5	297	〔算術問題〕	(明治カ)	—	—	—	縦帳	252～308袋にて一括
8	93	〔楠木正行画賛写、四條驛神社にて〕	明治	翠雲山人	—	—	絵図	—
10	84	共有金学資金(一括、大正3年～昭和22年)	大正3.1.21	大字西波多共有金管理長	—	—	一括	27点一括
4	163	帝国府県地図 三重県 和紫路会製図	大正4.5.25	和紫路屋	—	—	絵図	—
13	3	記録及会則	大正4.11.一	奈良県農林学校々友会山辺支部山間部支会	—	—	縦帳	—
8	92	〔大正天皇、ニコライ二世など肖像画〕	大正6.1.1	—	—	—	絵図	—
10	21	二老成り口帳	大正6.2.8	中口口郎	—	—	横帳	—
8	87	尋常小学国語書キ方手本 第二学年用 上	大正6.12.17	—	—	—	刊本	—
11	9	筆戦句闘輯	大正7.11.11	久下兵三郎	—	—	刊本	—
8	86	尋常小学国語書キ方手本 第四学年用 上	大正9.6.14	—	—	—	刊本	—
4	153	名古屋市名勝地誌 名古屋市街新地図	大正10.4.5	—	—	—	絵図	—
4	169	奥地踏測 京都市街全図	大正10.5.20	和紫路屋	—	—	絵図	—
4	165	新築記念 大日本交通全図	大正11.3.1	大阪毎日新聞社	—	—	絵図	—
6	278	〔愛国婦人会奈良支部山辺郡幹事部波多野村委員区長辞令〕	大正11.6.1	愛国婦人会長 下田歌子	中西ヲ子殿	—	一紙	—
4	22	学校時報(綴、第吉～参号)	大正12.7.3	春日尋常高等小学校	—	—	縦綴	—
4	160	講談俱樂部新年号附録 七転八起開運出世双六	大正13.1.1	講談社	—	—	絵図	—
4	152	大阪毎日新聞附録 御成婚御奉告の御儀畢りて(宇治橋写真)	大正13.3.5	大阪毎日新聞	—	—	写真	—
7	178	〔春日尋常高等小学校校舍増設建築委員辞令〕	大正15.5.6	波多野村長 北井熊太郎	中西喜久雄	—	一紙	—
8	84	済生 第八巻第三号	昭和6.3.1	恩賜財団済生会	—	—	刊本	—
4	173	新瀧州国大地図	昭和7.10.20	和紫路屋	—	—	絵図	—
12	31	嗚呼忠臣楠氏之山金剛山絵葉書(4点セット)	昭和8.7.25	—	—	—	絵図	はがき

4	140	〔遷葬記念色紙一括〕	昭和葵西(8)	昭和葵西春遷葬記念波多野国主人	—	—	一括	18点一括
7	12	静岡新報	昭和9.4.26	—	—	—	新聞	—
6	279	〔賞状・廃物利用品座蒲団一等賞〕	昭和10.3.6	波多野村婦人会長 中谷善吉	上西波多支部 中西直江	—	一紙	—
4	329	〔演説原稿、理想的な奈良市建設、4年後の二千六百年に国際オリンピック東京開催につき〕 〔新聞・雑誌記事スラフアツク〕	(昭和11)	—	—	—	一紙	前欠
6	46	〔新聞・雑誌記事スラフアツク〕	昭和12	—	—	—	縦帳	—
4	58	第二回全国都市青年団指導者養成講習会記録	昭和14.11.6	奈良県青年団 中西善正	—	—	縦帳	—
4	404	大阪毎日新聞	昭和16.3.31	大阪市北区堂島上二丁目 大阪毎日新聞	—	—	新聞	—
4	349	春日国民学校ニ於ケル訓育並ニ兼ノ実践案	昭和16.4.—	春日国民学校	—	—	一紙	—
4	223	国民科修身教育系統案	昭和16.11.—	山辺郡春日国民学校	—	—	縦帳	—
4	346	本校行事実践体系	昭和16.11.—	春日国民学校	—	—	縦帳	—
4	344	昭和十六年度教育概要	昭和16	春日国民学校	—	—	縦帳	—
4	348	国民学校ニ於ケル訓育並ニ兼ノ実践案	(昭和16カ)	国民学校	—	—	一紙	—
4	336	戦時教育指導実践案	昭和17.3.—	奈良県山辺郡春日国民学校	—	—	縦帳	—
4	343	昭和十七年度学校経営要項(児童長・組合長心得あり)	昭和17	春日国民学校	—	—	縦帳	—
4	342	教育概要	昭和18.11.—	山辺郡春日国民学校	—	—	縦帳	—
4	26	安堵作業教育の実際	昭和19.10.—	奈良県生駒郡安堵国民学校	—	—	縦帳	—
4	116	豊類綴	昭和23	上津公民館教養部	—	—	仮綴	—
5	23	民主々義と憲法の改正 附経済のこと(24のはさみ込み文書あり)	(1949カ)	—	—	—	縦帳	—
5	24	農地改革三周年記念日に当ってツツカーサ元帥が吉田首相に送られた書簡(23のはさみ込み文書)	(1949.10.21)	—	—	—	一紙	—
6	194	〔賞状・廃物利用品一等賞〕	昭和26.12.20	上津総合展覧会委員長波多野村農業協同組合 上津支部長 井戸根藤太郎	中西千加	—	一紙	—
4	320	生活改善運動とその実行要目について	昭和29.5.1	波多野村長 生活改善推進委員会々々長 橋本 薫	—	—	一紙	—
4	108	昭和二十九年波多野村教育の概要	昭和29	奈良県山辺郡波多野村教育委員会	中西会長殿	—	縦帳	—
6	195	賞状(波多野村総合品評会成績につき)	昭和30.12.11	波多野村総合品評会会長 濱田潤一郎	中西千加	—	一紙	—
4	76	春日青年会機関紙 虹 第四号	昭和30.12.—	春日青年会修養部	—	—	縦帳	—
4	107	波多野村新生活実践協議会規約 波多野村新生活実践要目	(昭和30以降)	—	—	—	縦帳	—
4	104	第四回波多野村婦人会運営研究会参考資料 於大字営生公民館	昭和31.4.19	—	—	—	縦帳	—
4	99	第五回波多野村婦人会運営研究会参考資料 片平婦人会運営概況 於八柱神社参禮所	昭和31.9.8	—	—	—	縦帳	—
4	271	新生活実践運動移動展示室の開設について	昭和31.10.3	山添村長職務執行者 浜田潤一郎	上西波多 中西婦人会会長殿	—	一紙	—
4	405	愛郷新聞 第151号	昭和31.12.19	愛郷新聞社	—	—	新聞	—
4	100	波多野婦人学級運営研究会参考資料	昭和32.10.9	於吉田自作寺 吉田婦人学級	—	—	縦帳	—
4	79	山添青年団機関紙 山添青年 第三号	昭和32.10.30	山添村青年団文化委員会機関紙編集部	—	—	縦帳	—
6	189	賞状(昭和32年度山添村青年団主催第1回農業祭総合品評会手芸品二等賞)	昭和32.12.8	山添村総合品評会会長 濱田潤一郎、山添村青年団長 西忠則	中西千加	—	一紙	—
4	112	そんちょうとかたなるゆうへ	昭和32	山添村教育委員会	—	—	縦帳	—
4	402	山添村婦人会結成までの経過報告	昭和32	—	—	—	一紙	—







4	189	(はがき、近況報告につき)	明治38.6.22	出征 臨時鉄道大隊付 陸軍一等看護長 森川鶴松	大阪臨時陸軍總工場付 陸軍二等計手 中西樞次郎殿	はがき	
4	172	(はがき、近況報告につき)	明治38.8.6	臨時鉄道大隊陸軍一等看護長 森川鶴松	大阪臨時陸軍縫工所 中西計手殿	はがき	
7	129	(陸軍一等計手辞令)	明治38.9.20	第四師団經理部	陸軍二等計手 中西樞治郎	一紙	114～130封筒にて一括
3	474	叙勲書 (明治三十七八年勲七等瑞宝章および金50円授賜につき)	明治39.4.1	實勲局長裁從二位勲一等子爵 大給恒	陸軍一等計手 中西樞治郎	一紙	437～483包紙にて一括、473～474封筒にて一括
3	479	(感謝状、明治三十七八年戦役本社救護実施につき)	明治39.6.1	日本赤十字社長伯爵 松方正義	奈良支部山辺委員部波多野村補助分区委員 中西樞次郎	一紙	437～483包紙にて一括
3	451	招待状 (特別大演習施行宴会につき)	明治41.11.10	奈良県知事 青木良雄	山辺郡波多野村西波多日本赤十字社特別社員 中西樞治郎殿	一紙	437～483包紙にて一括
3	440	在郷軍人分會長辞令 (帝國在郷軍人会波多野村分會長囑託につき)	明治44.2.21	帝國在郷軍人会總裁陸軍大將大勲位功二級 貞愛親王	正会員陸軍一等計手中 中西樞治郎	一紙	437～483包紙にて一括、440封筒あり
3	450	伏見總裁宮殿下賜帝國在郷軍人会分會長辞令 (封筒)	明治44.4.―	―	奈良県山辺郡波多野村大字西波多 中西樞治郎	封筒	437～483包紙にて一括
9	69	帝國軍人後援会入会証 (封筒)	明治45.3.25	奈良県山辺郡波多野村大字西波多 中西樞治郎	―	封筒	47～84こよりにて一括
3	373	(書状、補充兵隊下戦列隊の補充につき)	(明治)3.4	奈良県山辺郡波多野村 久保直次郎	大津宮所補大隊第一中隊 中西樞治郎殿	一紙	368～435ひもにて一括、373封筒あり
5	257	(朝屋夕本数書上、第四師団監督部野紙を使用)	(明治)カ)	―	―	一紙	252～308袋にて一括
5	298	(陸軍総則問答書)	(明治)	―	―	一紙	252～308袋にて一括
4	171	第11695号附録 歐羅巴戦局地図	大正3.8.25	大阪朝日新聞	―	一紙	
4	125	(帝國在郷軍人会波多野村分会顧問辞令)	大正11.5.1	帝國在郷軍人会總裁元帥陸軍大將大勲位功二級 貞愛親王	山辺郡波多野村々々長 中西樞治郎	一紙	
7	35	入宮式覽	大正14.11.30	中西武之助	―	一紙	
7	123	(陸軍三等勲医辞令)	昭和4.3.30	内閣總理大臣從二位勲一等功三級男爵 田中義一	陸軍一等踏鉄工長 中西武之助	一紙	114～130封筒にて一括
4	281	世紀に輝く南京入城式	昭和12.12.19	大阪朝日新聞	―	新聞	
4	359	世紀に輝く南京入城式	昭和12.12.19	大阪朝日新聞	―	新聞	
4	168	離海線戦局地図	昭和13.5.17	大阪朝日新聞	―	新聞	
4	154	週報附録 支那事变第一年戦闘經過図	昭和13.6.―	陸軍省新聞班、海軍省海軍軍事普及部	―	新聞	
4	158	中支方面日支両軍態勢要図 陸軍省新聞班調製	昭和13.9.6	大阪朝日新聞	―	新聞	
4	162	少年俱樂部第二十五卷第十二号附録 陸海空軍猛進撃ゲーム	昭和13.10.1	中村星果案、榎戸浩画、少年俱樂部編集発行 人 須藤豊三	―	新聞	
7	44	臨時召集入隊諸覽	昭和13.11.1	中西喜正	―	新聞	
4	360	大阪毎日新聞 (アメリカ兵慰問の様子)	昭和16.3.31	大阪市北区堂島上二丁目 大阪毎日新聞	―	新聞	
4	167	独・ソ戦況要図	昭和16.7.20	朝日新聞社	―	新聞	
14	10	従軍手帳	昭和17.1.―	陸軍血兵部	―	手帳	
5	175	大日本帝國政府割増金附戦時郵便貯金切手	昭和17.8.―	―	―	手帳	
8	70	普通貯金通帳	昭和18.12.18	保証責任波多野村信用販売購買利用組合	義勇軍 前川正一般	手帳	
5	80	昭和十九年度波多野村統後奉公会歳入歳出決算書	昭和19	波多野村統後奉公会	―	手帳	
4	246	(はがき、戦争中映画の夕へ開催につき)	(昭和19～20カ)	奈良県山辺郡波多野 中西喜正	三重県上野県上野市丸の内 廣栄大郎様	はがき	

4	243	〔軍事郵便はがき、近況報告につき〕	(昭和).9.17	中支派遣團部部隊折井部隊 久保先之助	奈良県山辺郡波多野村西波多 中西喜久雄様、皆々様	はがき	
4	155	支那事変要図	(昭和)	—	—	絵図	
4	211	〔兵士写真一括〕	(昭和カ)	—	—	写真	11点一括
4	395	〔はがき、暑中見舞につき〕	(昭和)	中支派遣薩原誠部隊小松部隊本部陸軍輜重兵曹長 森下金利様	奈良県山辺郡波多野村 中西喜久雄様	はがき	

### 【家 経営・相続】

15	1	質屋仲ヶ間(鑑札)	嘉永7.6.—	取締 森岡庄作	山辺郡上津村 喜左衛門	木札	
2	7	〔酒造関係綴、上津村喜左衛門宛窪庄村助次郎酒造株代金10両預り、酒造道具など〕	嘉永7.閏.17	—	—	仮綴	3〜7袋にて一括、7:4点仮綴
2	25	酒造株買算用書并二代銀請取書(包紙、〔代々たいじのもの也〕)	嘉永7.8.5	喜左衛門	—	包紙	
3	322	永代譲渡手帳	安政4.3.吉	喜左衛門	—	摺帳	
3	88	覚(荷米講御加入金1両代札71匁4分受取、無利10ヶ年割合にて返済につき)	安政4.4.—	南空置村荷継 油屋庄右衛門	梅屋喜左衛門殿	一紙	
3	104	永代替替証文之事(我等の茶畑と其元殿の荒畑を替々につき)	文久2.12.—	持主 新次	中西喜左衛門殿	一紙	
3	109	差入申証文之事(茶仕入銀15貫目、其元殿名前にて南都米屋替七殿方にて借用につき)	慶応3.6.7	菅生村 利七、請人 与二右衛門	上津村 酒屋喜左衛門殿	一紙	包紙あり
3	51	覚(西年分2斗代子5月迄利足共26匁8分3リ・元銀200目代金差引算用相済につき、寛6月26日証文返し)	子(近世).5.28	酒屋喜左衛門(印、〔和州上津 □喜川〕)	彦蔵様	一紙	
3	101	覚(子年分元利金銀勘定につき)	丑(近世).7.29	上つ 酒や	北の 浅右衛門殿、同 平兵衛殿	一紙	
3	132	〔書状、其本(ㄨㄨ)殿より買付の上茶もいまだ残り申すなどにつき、包紙として再利用〕	卯(近世カ).9.3	片平村 幸田佐四郎(印、〔和州畑郷片平 ヲコ 幸佐〕)	上津村 酒屋喜右(ㄨㄨ)衛門様	一紙	
2	21	覚(梅売付手形、高尾・邑地分梅70駄、下空間・岩屋村分梅10駄)	午(近世).10.19	岩屋村 糸ほしや伝五郎代林平	上津村 喜左衛門様	一紙	
2	28	覚(米1石8斗5升代金銭御算用下さるべくにつき)	午(近世).11.—	酒屋喜左衛門	菅生村 當次郎様	一紙	
2	12	〔上津村喜左衛門宛岩屋村糸ほし屋伝五郎梅代金銀受取覚綴、梅代金96両1匁2朱・札銀233匁など〕	午(近世).12.28	—	—	仮綴	4点仮綴
3	155	借入金之事(茶代金120両3分・銀660文)	未(近世).5.—	酒屋喜左衛門(印、〔和州上津 ヲル中 酒喜川〕)	下津村 藤井銀蔵様	一紙	
2	19	覚(金7両1朱受取につき)	未(近世).8.8	上つ 喜左衛門(印、〔和州畑上津 カネキ 梅屋川〕)	藤井銀蔵様	一紙	
2	9	覚(梅・小豆代銀勘定につき)	丑(近世).12.—	北村屋嘉兵衛	上津村 喜左衛門殿	一紙	
2	1	酒造方書上扣	巳(近世).2.晦	山辺郡上津村 喜左衛門(表紙:中西喜左衛門)	酒屋惣代 伊右衛門様(表紙:南都御番所様)	摺帳	
2	26	〔覚、大塩村周蔵小豆9斗、上津喜左衛門殿へ相渡しにつき〕	(近世).正.26	上津 平兵衛	笠置 あぶらや庄左衛門様	一紙	
2	20	覚(金4両1部・札2匁6分・錢17文請取につき)	(近世).4.21	上津 酒や喜左衛門(印、〔和州畑上津 カネキ 梅屋川〕)	下津村 銀蔵様	一紙	
2	14	覚(梅40丸代銀5貫200目売附手形)	(近世).11.5	糸ほしや伝五郎	上津村 喜左衛門殿	一紙	
3	423	乍恐御願奉申上候(酒造醸造高につき)	明治5.10.12	山辺郡上津村 中西喜平治	奈良県御宇	摺帳	368〜435ひもにて一括
3	272	村方酒売買帳(表紙のみ)	明治6.1.吉	—	—	帳はずれ	238〜312ひもにて一括
3	409	奉差上請書之事(明治6年酒造高)	明治6.3.4	中西喜平次	御出張御中様	摺帳	368〜435ひもにて一括、407〜414こよりにて一括

3	255	茶買入控帳(表紙のみ)	明治6.5.吉	—	—	—	—	帳はずれ	238～312ひもにて一括
7	96	明次(▽▽)六酉年分店勘定帳	明治7.1.—	中西喜平次	—	—	—	横帳	61～113一括、96～98反綴
3	268	奉差上請書之事(癸酉御免許高請酒80石)	明治7.4.—	上津村稼人 中西喜平次、行事 岡本平吉、吉川平重郎、副戸長 井岡嘉次郎	奈良県御出役御中	—	—	縦帳	238～312ひもにて一括
5	157	分家御願(綴)	明治7.5.—	願人戸長 中西喜平次、副戸長 井岡嘉次郎、一小区副区長 神谷利平	奈良県権合藤井千尋殿代理奈良県権参事 小池浩輔殿	—	—	反綴	—
5	160	(土地分与届綴、次男分家につき)	明治7.5.—	願人戸長 中西喜平次、副戸長 井岡嘉次郎、一小区副区長 神谷利平	奈良県権合藤井千尋殿代理奈良県権参事 小池浩輔殿	—	—	反綴	—
3	273	村方酒売買帳(表紙のみ)	明治8.1.11	—	—	—	—	帳はずれ	238～312ひもにて一括
7	98	明治七戌年分店勘定覚帳	明治8.2.—	中西喜平次	—	—	—	横帳	61～113一括、96～98反綴
3	228	証(戌年醸造願高80石税金入手につき)	明治8.8.23	上空間邸 福田市平	上津村 中西喜平治様	—	—	一紙	—
3	430	新酒御検査御請書	明治9.1.3	第二大区六小区山辺郡西波多村稼人 中西喜平次	—	—	—	一紙	368～435ひもにて一括
7	97	明治八乙亥年分店勘定改帳	明治9.2.—	中西喜平次	—	—	—	横帳	61～113一括、96～98反綴
7	99	丑二月改 店勘定改帳	明治10.2.—	中西	—	—	—	横帳	61～113一括
7	100	丑二月改 店勘定改金銭貸方引分帳	明治10.2.—	中西喜一郎	—	—	—	横帳	61～113一括
15	3	(酒造鑑札一括)	明治10.8.—	堺県五等属増井廣高代理 渡辺奥治	西波多村 中西喜一郎様	—	—	木札	11点一括
7	91	明治十五年分店勘定改帳	明治11.2.—	中西喜一郎	—	—	—	横帳	61～113一括
7	94	丑年奇々元利取上ケ調書	明治11.2.—	—	—	—	—	横帳	61～113一括
3	418	証(酒税支払につき)	明治11.11.30	酒造御代 松田源三郎	中西喜市郎様	—	—	一紙	368～435ひもにて一括
7	95	店勘定改帳	明治11.11.—	中西喜一郎	—	—	—	横帳	61～113一括
11	61	覚(ナギキ印梅受取につき)	卯(明治12カ)10.10	上津村 喜左衛門口 油惣	邑地村 善九郎殿	—	—	一紙	—
7	101	(金円勘定帳)	明治12.12.—	—	—	—	—	横帳	61～113一括
7	92	十三年度一月改 店勘定改帳	明治13.1.—	中西喜一郎	—	—	—	横帳	61～113一括
7	73	(貸金覚、明治13～39年度)	明治13	—	—	—	—	一紙	61～113一括
7	102	店勘定改帳	明治13	中西喜市郎	—	—	—	横帳	61～113一括
3	429	証(明治14年度酒造免許税額収につき)	明治14.10.29	郡長 稲葉通久	山辺郡西波多村 中西喜市郎納	—	—	一紙	368～435ひもにて一括
7	109	店勘定改帳	明治14	中西喜市郎	—	—	—	横帳	61～113一括
7	83	(金円勘定覚、酒米・粟代など)	(明治カ)15.2.—	—	—	—	—	一紙	61～113一括
3	239	水揚帳第55号(表紙のみ)	明治15	—	—	—	—	帳はずれ	238～312ひもにて一括
7	113	貸出し金元利出入取調	明治15	—	—	—	—	横帳	61～113一括
7	112	明治十五年分店勘定改帳	明治16.2.—	中西喜市郎	—	—	—	横帳	61～113一括
11	14	酒の通	明治16.10.—	中西喜市郎	川畑常松様	—	—	一紙	—
7	93	明治十六年未ノ分店勘定改帳	明治17.2.—	中西喜市郎	—	—	—	横帳	61～113一括
4	187	酒造場建物并諸器械調書(一括)	明治17	中西喜一郎	大阪府知事殿	—	—	一括	—
7	105	奇々年申(明治17年)店勘定取調帳	明治18.2.—	中西喜市郎	—	—	—	横帳	61～113一括
3	416	納証(金6銭)	明治18.5.26	大阪府大和国山辺郡西波多村酒造業 中西喜市郎	大阪縣裁判所奈良支庁御中	—	—	一紙	368～435ひもにて一括
3	426	裁判言渡書(明治15年第61号布告酒税規定違反罰金に処す)	明治18.5.26	大阪縣罪才判所奈良支庁判事補 西野中治、書記 矢野太郎	大阪府大和国山辺郡西波多村酒造業 業人 中西喜市郎	—	—	縦帳	368～435ひもにて一括

3	406	納証(酒造違犯科料金)	明治18.6.25	代人大阪府大和国添上郡奈良東笹錦町平民権 金田又平	大阪軽罪裁判所奈良支庁御中	一紙	368~435ひもにて一括
3	415	納証(酒作り)商中西喜市郎、酒づくり違犯販売追徴金)	明治18.6.25	金田又平	大阪軽罪裁判所奈良支庁御中	一紙	368~435ひもにて一括
7	104	店勘定取調帳	明治19.2.-	中西喜市郎	—	横帳	61~113一括
3	365	長男彦楠御願	明治19.11.12	山辺郡西波多村 中西喜市郎、長男 中西楠 治郎	郡長 稲葉通久殿	罫帳	
3	381	[通知、長男彦楠御許可につき]	明治19.11.25	春日村外七ヶ村戸長役場	西波多村 中西喜市郎殿	一紙	368~435ひもにて一括、381 封筒あり
3	330	長男彦楠二付戸籍面訂正御届	(明治19年)	中西喜市郎、中西楠治郎	春日村外七ヶ村戸長 中森桂次郎殿	一紙	
3	340	長男彦楠二付戸籍面訂正御届(中西楠治郎)	(明治19年)	中西喜市郎、中西楠治郎、御願証人 中西義 治郎	戸長□□	一紙	
3	366	送籍御願	(明治19年)	山辺郡西波多村中西喜市郎長男 楠治郎	郡長 稲葉通久殿	罫帳	
7	111	明治十九年店勘定帳	明治20.1.-	中西喜市郎	—	横帳	61~113一括
3	391	[書状下書]	明治20.2.27	奈良県山辺郡西波多村 中西喜一郎	郡長 稲葉通久殿	一紙	368~435ひもにて一括
3	395	離縁復籍御願(中西喜市郎養嗣子中西昌昭離縁、奥に中西喜市郎家戸籍あり)	明治20.6.24	山辺郡西波多村願人 中西喜市郎、実家同郡 三ヶ谷村 浦久保宇三郎、親戚証人 中西喜 次郎	郡長 稲葉通久殿	罫帳	368~435ひもにて一括
7	90	明治貳拾年各々年店勘定帳	明治21.2.-	中西喜市郎	—	横帳	61~113一括
7	89	明(治)廿亥子二年一々年店勘定帳	明治22.2.9	中西喜市郎	—	横帳	61~113一括
7	86	明治二十二年各々年店勘定帳	明治23.2.-	中西喜市郎	—	横帳	61~113一括
3	276	証券引換書(綴)	明治23.5.13	中西喜三郎	中西喜市郎	仮綴	238~312ひもにて一括、 276:24点仮綴
11	27	[通知、認可所御回送、資産処分願へ御添付につき]	明治23.12.18	山辺郡波多野村役場	大字西波多惣代 中西喜市郎殿	一紙	封筒あり
7	79	明治二十三年店勘定帳	明治24.2.10	中西喜市郎	—	横帳	61~113一括
5	187	中西氏所得金高居要書類袋(封筒)	明治24.6.-	奈良県山辺郡波多野村大字西波多 中西喜市 郎	—	封筒	187~215封筒にて一括
3	428	[公債・株式目録]	明治24	—	—	横帳	368~435ひもにて一括
7	80	明治二十四年度店勘定帳	明治25.1.31	波多野村 中西喜市郎	—	横帳	61~113一括
3	240	水揚帳第75号(表紙のみ)	明治25	—	—	帳はずれ	238~312ひもにて一括
7	75	明治二十五年利子揚り高	明治25	—	—	横帳	61~113一括
7	82	明治廿五年度店勘定帳	明治26.2.20	波多野村 中西喜市郎	—	横帳	61~113一括
4	60	金銭出入帳	明治27.1.-	中西喜市郎	—	横帳	
7	70	明治廿七年度店勘定会計決算	明治27.1.-	西波多 中西	—	横帳	61~113一括
7	71	明治二十六年度会計収支決算	明治27.1.-	西波多 中西	—	横帳	61~113一括
14	5	貸金書出帳	明治27.1.-	西波多 中西氏	—	横帳	
7	87	明治二十六年度店おろし調帳	明治27.2.-	中西	—	横帳	61~113一括
8	69	親友家資積立講金領収元帳	明治27.5.-	—	—	罫帳	
7	68	明治二十八年店勘定会計決算帳	明治29.1.-	西波多 中西	—	横帳	61~113一括
4	53	公債証書原簿	明治30.1.-	中西本店	—	罫帳	
7	64	明治二十九年店勘定会計決算帳	明治30.2.1	中西本店	—	横帳	61~113一括
7	66	明治三十年店勘定会計決算帳	明治31.1.-	中西本店	—	横帳	61~113一括

4	218	貯金台帳・貸金台帳用紙受取一件代金入(一括)	明治31.11.一	—	—	—	—	一括	封筒にて4点一括
4	221	貯蓄金通帳其他諸用書類入(一括、伊賀貯蓄銀行・郡山銀行通帳など)	明治31	中西権治郎	—	—	—	一括	封筒にて7点一括
7	74	明治三十一年度会計収支決算帳	明治32.2.16	中西本店	—	—	—	横帳	61～113一括
3	389	〔株式会社奈良農工銀行定時株主総会委任状一括〕	明治32.12.30	—	—	—	—	一紙	368～435ひもにて一括、389 同一物4点
7	43	明治卅二年度会計決算帳	明治33.2.10	中西本家	—	—	—	横帳	—
3	452	売渡証(軍事公債証書)	明治34.2.21	植田健平	波多野村大字西波多	中西喜市郎殿	—	一紙	437～483包紙にて一括、452 封筒あり
7	69	明治卅三年度会計決算帳	明治34.3.10	中西本家	—	—	—	横帳	61～113一括
4	47	各種預り金(明治34～37年)	明治34.9.1	—	—	—	—	縦帳	—
4	64	預り金調	明治34.9.1	—	—	—	—	縦帳	—
5	148	株券売渡証	明治34.11.一	山辺郡波多野村大字中ノ庄売渡人	清水記載	波多野村大字西波多買受人	中西権治郎殿	一紙	—
4	48	財産原簿 土地之部	明治34	中西氏	—	—	—	縦帳	—
5	149	株券売渡証	明治35.1.20	山辺郡波多野村大字葛尾	中井鶴松	波多野村大字西波多	中西権治郎殿	一紙	—
5	156	公債証書売渡証書	明治35.1.23	奈良県山辺郡波多野村大字葛尾	中井鶴松	波多野村大字西波多	中西権治郎殿	一紙	—
7	78	明治三十四年収支決算下帳	明治35.2.1	—	—	—	—	横帳	61～113一括
7	65	明治三十四年度会計決算帳	明治35.3.13	中西本店	—	—	—	横帳	61～113一括
5	120	金銭物品取口(帳カ)	明治35.7.一	中西喜[ ]	—	—	—	縦帳	—
8	131	印鑑証明脚願	明治35.9.一	中西喜三郎	波多野村長	久保直次郎殿	—	一紙	—
4	134	委任状	明治36.2.25	山辺郡波多野村大字西波多	中西喜市郎	—	—	一紙	—
4	62	自明治卅六年度 諸収入金内訳簿(明治36～40年)	明治36.3.1	中西本店	—	—	—	縦帳	—
7	67	明治三十五年度会計決算帳	明治36.3.10	中西本店	—	—	—	横帳	61～113一括
5	178	売渡証(奈良農工銀行債券)	明治36.10.3	奈良市角振町	和田勝藏	—	—	一紙	—
8	62	現金出納簿	明治36.10.一	明治生命保険株式会社波多野代理店	—	—	—	縦帳	—
5	183	(農工銀行)株券売渡証	明治36.11.22	添上郡月瀬村大字尾山	松本勘三郎	山辺郡波多野村大字西波多	中西権治郎殿	一紙	封筒あり
7	76	明治卅六年度会計決算帳	明治36	—	—	—	—	横帳	61～113一括
9	65	委任状	明治36	山辺郡波多野村大字西波多	中西喜市郎	—	—	一紙	47～84ごよりにて一括
4	51	預金台帳	明治37.3.31	中西本店	—	—	—	縦帳	—
3	457	家督相続届副本・隠居許可決定書(一括、中西喜市郎から中西権治郎へ家督相続)	明治37.7.24	—	—	—	—	一括	437～483包紙にて一括、457 封筒あり
4	307	分業口登記申請	明治37.10.14	山辺郡波多野村大字西波多申請人	中西権治郎	奈良区裁判所針ヶ別所出張所御中	—	一紙	封筒あり
9	68	国庫債券買得証書	明治37.12.17	奈良県山辺郡波多野村大字西波多	中西権治郎	川原武平殿	—	一紙	47～84ごよりにて一括、68封 筒あり
5	135	隠居許可申請(綴)	明治37	中西喜市郎、中西権治郎	—	奈良区裁判所御中	—	仮綴	—
5	176	国庫仮債券買受登録請求書	明治37	中井鶴松	—	日本銀行大阪支店[ ](御中カ)	—	一紙	—
5	177	国庫仮債券買受登録請求書	明治37	石原駒造	—	日本銀行大阪支店[ ](御中カ)	—	一紙	—
12	14	〔収支簿〕	明治37	—	—	—	—	横半帳	—



3	432	酒量・油量取調代	(明治)	西波多村 中西喜市郎	戸長役場御中様	一紙	368～435ひもにて一括
3	435	(酒造高勘定帳)	(明治)	—	—	横帳	368～435ひもにて一括
3	388	異動届	(明治)	戸主 中西喜市郎	山辺郡西波多村戸長 中森基次郎殿	一紙	368～435ひもにて一括
3	390	代人許可願(病気につき)	(明治)	中西喜市郎	春日村外七ヶ村戸長 中森基次郎殿	一紙	368～435ひもにて一括
4	226	整理証拠書類	明治	明治生命保険株式会社	—	一紙	—
3	374	(書状、天理郵便鉄道株式会社創立につき、はがき・領収証同封)	大正元.8.20	奈良亀佐二子 向井楯市	山辺郡波多野村大字西波多 中西楯治郎様	一紙	368～435ひもにて一括、374封筒あり
6	184	(賞状、大正元年度模範茶園成績優良につき)	大正元.12.16	奈良県山辺郡長 内田久太郎	波多野村大字西波多 中西楯治郎	一紙	—
4	18	貸金原簿 毎年襲用	大正2.1.—	中西本家	—	縦帳	—
3	463	社債買受申込書	大正2.3.20	現物仲買団 有野康元商店	—	一紙	437～483包紙にて一括
6	182	(賞状、模範茶園賞)	大正2.12.4	奈良県山辺郡長従六位勲六等 内田久太郎	波多野村大字西波多模範茶園管理者 中西楯治郎	一紙	—
6	228	(金銭出納簿、大正3～4年)	大正3.9.28	—	—	ノート	—
4	73	開墾整地帳	大正3.12.—	中西本家	—	縦帳	—
5	132	帝国五分利附公債引換証券(100円)	大正4.1.15	内国債株式会社取締役社長 尾澤豊太郎	中尾喜蔵殿	一紙	—
4	28	家督相続二付登記申請	大正5.11.2	中西楯治郎	奈良区裁判所斜ヶ別所出張所御中	縦帳	—
4	378	整理証拠書類(一括、借入金証書など、大正7～9年)	大正7.4.8	中西本家	—	一括	16点一括
7	22	貸附金台帳	大正8.1.—	中西本家	—	縦帳	—
4	128	(肥料売渡証書)	大正8.11.25	奈良県山辺郡波多野村 中西楯治郎	大津平一郎殿、福山治兵衛殿	一紙	—
12	4	土地台帳 他町村之分	大正9.1.—	中西本家	—	縦帳	—
12	6	土地台帳 喜久雄名義之分	大正9.1.—	中西本家	—	縦帳	—
12	7	土地台帳 波多野村之分	大正9.1.—	中西本家	—	縦帳	—
6	225	帝国蚕業株式会社株券五拾株券(一括)	大正9.10.10	帝国蚕業株式会社取締役社長 鈴木敬策	株主 中西楯治郎殿	一紙	同一物2点
9	54	大正九年度事業報告書	大正10.1.31	—	—	縦帳	47～84こよりにて一括
5	147	財産目録貸借対照表・決算基本調査書	大正10.12.31	中西本家	—	縦帳	—
10	47	大正拾年度小作収納簿	大正10	中西本家	—	縦帳	—
10	17	金銭出納帳	大正11.12.22	中西楯治郎	—	横帳	—
4	21	大正拾壹年度小作収納簿	大正11	中西本店	—	縦帳	—
4	357	御階簿	大正11	—	中西様	横半帳	—
8	23	決算書	大正11	中西本店	—	縦帳	—
8	22	全所有土地反別筆数(上野土地除く、負債の部、資産の部、一括)	大正12.3.1	—	—	一括	3点一括
7	154	重要書類(一括、資産勘定帳、産業銀行奈良支店見替担保品預り証など、大正12年～昭和10年)	大正12.3.30	—	—	一括	封筒にて4点一括
17	21	褒状(桑園一等賞)	大正12.4.16	奈良県山辺郡波多野村農会長勲七等 中西楯治郎	山辺郡波多野村 中西喜久雄	一紙	—
4	65	大正十二年自三月 出納簿	大正12.5.25	中西本店	—	縦帳	—
5	220	整理案(中西家財産整理)	大正12.5.25	—	—	一紙	—
5	221	整理案(綴、中西家財産整理)	大正12.5.25	—	—	仮綴	—
5	224	(借入金整理案財産見積帳)	大正12.5.—	—	—	縦帳	—

5	234	整理案(借金整理)	大正12.5.-	-	-	-	一紙	
5	222	整理案(中西家山林財産整理)	大正12.6.-	-	-	-	豎帳	
5	145	整理案(債務清算につき)	大正12.11.11	-	-	-	豎帳	
5	162	整理案(借金整理、145と関連カ)	(大正12カ)	-	-	-	一紙	
5	172	整理案(中西家財産整理、145と関連カ)	(大正12カ)	-	-	-	一紙	
5	150	中西本人分担箇所調(繰)	大正12.11.11	-	-	-	仮綴	
5	226	親族土地分担箇所調	大正12.11.11	-	-	-	豎帳	
9	46	親族会決議	大正12.11.11	-	-	-	豎帳	
5	167	親族負担/分担案	(大正12カ)	-	-	-	一紙	
5	227	親族会々提供財産調(最低額)	(大正12カ)	-	-	-	一紙	
5	228	秘 親族負担・中西本人負担土地箇所調 価格見直し	(大正12カ)	-	-	-	豎帳	
5	231	借入金弁済方法案 第二	(大正12カ)	-	-	-	一紙	
5	233	借入金弁済方法案	(大正12カ)	-	-	-	一紙	
5	245	(遺、親族8名にて金2万円貸付につき)	(大正12カ)	-	-	-	一紙	
4	46	結算書(朝日樟脳引札、宇治茶引札、狂犬病予防週間連絡表のはきみ込みあり)	大正13.5.31	中西本家	-	-	豎帳	
4	40	計算書	大正13.6.30	中西檜治郎	-	-	豎帳	
5	225	(土地・建物など資産書上)	大正13.6.30	-	-	-	一紙	
5	236	産業銀行へ所有方を交渉中の土地調	大正13.8.25	中西本店	-	-	豎帳	
7	23	貸附金台帳	大正13.8.-	中西本店	-	-	豎帳	
13	1	大正五年毎月始メ 納税簿	大正13.9.20	中西本家	-	-	豎帳	
8	6	借入金証書(家政整理につき)	大正13.12.10	借主 中西喜久雄、中西檜治郎	松本嘉久造殿	-	一紙	3-13封筒にて一括、6封筒あり
8	63	結(ワマ) 算書	大正14	中西本家	-	-	豎帳	
7	3	自大正十五年度 納税簿	大正15	中西本家	-	-	豎帳	
7	29	家計一覽簿(昭和2~7年)	昭和2.1.1	-	-	-	豎帳	
4	150	(一括、奈良県法蓮町女高師北宇治製茶株式会社販売所茶間屋波多の圖ヲ以テ、中西茶店店主中西檜治郎關係など)	昭和8.10.1	-	-	-	一括	封筒にて一括、封筒上書「恩賜特別証券保管通帳 特別郵便野金通帳 奈良県山辺郡波多野村陸軍一等計手勲七等中西檜治郎」
8	21	領収証(昭和9年度年貢米代金)	昭和10.4.22	株式会社産業銀行	中西喜久雄	-	一紙	
8	34	売買契約証書	昭和10.8.21	株式会社産業銀行売主清算人 宮本邦之助	買主 中西政治郎代理 中西喜久雄	-	豎帳	
8	33	中西本分家協約証	昭和10.10.5	本家 中西喜久雄、分家 中西喜三郎、中西喜正、中西督明	-	-	豎帳	
7	32	協約書(中西家家政整理につき)	昭和10.10.-	中西喜三郎、中西喜久雄、中西喜左衛門、中西喜正、中西督明	-	-	一紙	
12	11	〔貸借対照表〕	昭和11.1.1	-	-	-	豎帳	
17	4	仕入原帳	昭和11	波多野園老舗	-	-	豎帳	
8	73	〔カーボン転写手紙控、昭和12~13年〕	昭和12.9.5	奈良市法蓮町女高師北 銘茶各種卸小売 中西茶店	-	-	豎帳	
7	4	決算書	昭和13.2.-	中西本家	-	-	豎帳	

3	367	宣告(盗難被奪の竹、返却につき)	昭和13.11.2	奈良区裁判所	堺県大和国山辺郡西波多村 中西喜市郎	中西喜	一紙	
8	68	昭和十五年会計試算表	昭和14.12.31	中西本家	—	—	縦帳	
8	37	領収書(中西家家政整理の用立て貸金解消金)	昭和15.4.7	添上郡月瀬村大字月瀬 今岡謙治郎	中西喜久雄殿	—	一紙	
12	17	定期貯金証書	昭和19.8.30	中西喜久雄	—	—	一紙	封筒あり
5	108	茶業囑託技術員推薦ノ件(中西喜久雄履歴書あり)	昭和20.5.30	山辺郡波多野村波多野村農業会会長 馬場直道	奈良県農業会長 中山愷男	—	縦帳	
12	19	(明治生命保険株式会社大阪支店など保険料関係一括)	昭和21.2.25	—	—	—	一括	
5	105	(書状、茶出荷につき)	昭和21.11.9	中西喜久雄	大西藤四郎	—	一紙	
5	113	領収証	昭和21.12.25	中西喜久雄	福住村農業会御中	—	一紙	
5	15	昭和二十一年度会計決算書	昭和21	—	—	—	縦綴	
5	16	昭和二十二年会計決算書	昭和22	—	—	—	縦綴	
12	33	生命保険証券(一括)	昭和23.7.14	—	—	—	一括	封筒にて3点一括
4	5	(茶売上覚帳)	昭和23	奈良市法蓮町女高師北 銘茶各種卸小売 中西茶店	—	—	縦帳	
5	17	昭和二十三年度会計決算書	昭和23	—	—	—	縦綴	
5	18	昭和二十四年度会計決算書	昭和24	—	—	—	縦綴	
5	19	昭和二十五年会計決算書	昭和25	—	—	—	縦綴	
6	212	(賞状、総合展覧会白菜一等賞)	昭和26.12.20	上津総合展覧会委員長波多野村農業協同組合 上津支部長 井戸根藤太郎	中西喜正	—	一紙	
5	27	昭和二十六年会計決算書	昭和26	—	—	—	縦綴	
6	241	賞状(波多野村主催農産物品評会白菜一等賞)	昭和27.12.14	波多野村総合品評会会長 橋本薫	上津 中西喜正	—	一紙	
5	28	昭和二十七年会計決算書	昭和27	—	—	—	縦綴	
5	7	昭和二十八年年度 出納帳	昭和28.2.1	中西本家	—	—	縦帳	
5	29	昭和二十八年会計決算書	昭和28	—	—	—	縦綴	
4	177	証(当社増資株式振込金10万円のうち金3万円領収につき、武之助書状あり)	昭和29.1.12	奈良県飼料畜産株式会社社長 吉川久一	中西喜正殿	—	一紙	
6	201	賞状(波多野村山羊共進会日本サーネン種三等賞)	昭和29.9.10	日本山羊登録協会奈良県支部長 田中元	中西喜正	—	一紙	
6	216	賞状(山羊品評会成績につき)	昭和29.9.10	波多野村長 橋本薫	中西喜正	—	一紙	
6	203	賞状(昭和29年度山辺郡波多野村農産物品評会成績優秀につき)	昭和29.12.20	奈良県知事 奥田良三	中西喜正殿	—	一紙	
6	204	賞状(昭和29年度上津支部主催総合展覧会葉菜白菜一等賞)	昭和29.12.20	波多野村農業協同組合 久保万寿	中西喜正翁	—	一紙	
6	202	賞状(奈良県山辺郡波多野村農業協同組合上津支部主催農産物総合品評会大根葱等賞)	昭和29.12.30	奈良県山添地方事務所長 森口美左男	中西喜正	—	一紙	
5	30	昭和二十九年会計決算書	昭和29	—	—	—	縦綴	
6	197	賞状(波多野村主催農畜産物品評会穀菽類・米特賞)	昭和30.12.11	奈良県経済部長 柏木宏二	中西喜正	—	一紙	
6	208	賞状(波多野村総合品評会穀菽類・米特賞)	昭和30.12.11	波多野村農業協同組合長 久保万寿翁	中西喜正	—	一紙	
6	210	賞状(波多野村総合品評会蕎麥類・白菜二等賞)	昭和30.12.11	波多野村総合品評会会長 濱田潤一郎	中西喜正	—	一紙	
6	211	賞状(総合展覧会成績につき)	昭和30.12.20	上津総合展覧会委員長波多野村農業協同組合 上津支部長 谷口清	中西喜正	—	一紙	
6	209	賞状(上津総合展覧会総合賞)	昭和30.12.30	波多野村長 濱田潤一郎	中西喜正	—	一紙	

6	205	(賞状、上津総合展覧会白菜一等賞)	昭和31.12.20	上津総合展覧会委員長波多野村農業協同組合 上津支部長 進藤祐吉	中西喜正	一紙	
6	207	賞状(上津総合展覧会成績優秀につき)	昭和31.12.20	奈良県農業共済組合連合会会長 吉岡義一	中西喜正	一紙	
6	198	賞状(山添村波多野地区農林産物品評会穀類一等賞)	昭和31.12.23	山添村波多野地区農林産物品評会会長 濱田潤一郎	中西喜正	一紙	
6	199	賞状(昭和31年度山添村波多野地区農林産物品評会成績につき)	昭和31.12.23	山添村波多野地区農林産物品評会会長 濱田潤一郎	中西喜正	一紙	
6	200	賞状(山添村主催農林産物品評会木炭一等賞)	昭和31.12.23	奈良県林務部計画普及課長 山田耕	山添村 中西喜正	一紙	
6	206	賞状(農林産物品評会穀類一等賞)	昭和31.12.23	奈良県経済部農業改良課長 久納佑宇	中西喜正	一紙	
6	229	賞状(昭和32年度山添村青年団主催第1回農業祭総合品評会水稻苗代二等賞)	昭和32.12.8	山添村総合品評会会長 濱田潤一郎、山添村青年団長 西忠則	中西喜正	一紙	
6	230	賞状(昭和32年度山添村青年団主催第1回農業祭総合品評会玄米一等賞)	昭和32.12.8	山添村総合品評会会長 濱田潤一郎、山添村青年団長 西忠則	中西喜正	一紙	
6	236	賞状(昭和32年度山添村青年団主催第1回農業祭総合品評会白菜三等賞)	昭和32.12.8	山添村総合品評会会長 濱田潤一郎、山添村青年団長 西忠則	中西喜正	一紙	
6	237	賞状(昭和32年度山添村農業祭米一等賞)	昭和32.12.8	奈良県農業協同組合中央会長 増井善一	中西喜正	一紙	
6	240	賞状(昭和32年度山添村青年団主催第1回農業祭総合品評会森林保育(15年以下)三等賞)	昭和32.12.8	山添村総合品評会会長 濱田潤一郎、山添村青年団長 西忠則	中西喜久雄	一紙	
6	254	賞状(昭和32年度山添村青年団主催第1回農業祭総合品評会森林保育(15年以上)三等賞)	昭和32.12.8	山添村総合品評会会長 濱田潤一郎、山添村青年団長 西忠則	中西喜久雄	一紙	
6	213	賞状(第2回山添村農業祭総合品評会米一等賞)	昭和33.12.7	山添村総合品評会会長 濱田潤一郎、山添村青年団長 今北義伯	上津 中西喜正	一紙	
6	214	賞状(昭和33年度第2回山添村農業祭総合品評会白菜二等賞)	昭和33.12.7	山添村総合品評会会長 濱田潤一郎、山添村青年団長 今北義伯	中西喜正	一紙	
6	215	賞状(昭和33年度上津総合展覧会米特賞)	昭和33.12.20	奈良県農業共済組合会長 吉岡義一	中西喜正	一紙	
6	253	賞状(山添村・山添村青年団主催第4回農産物品評会蔬菜の部二等)	昭和35.12.11	山添村総合品評会会長 西忠義、山添村青年団長 石橋清	大字西波多 中西喜正	一紙	
8	2	親族会決定事項	昭和4.29	奈良県山辺郡波多野村 中西喜久雄	一紙	封筒あり	
5	115	(書状、御茶代金受取につき)	(昭和).12.25	波多野村役場内 中西喜久雄	福住村農業会 大西藤四郎殿	一紙	
8	74	(住所録メモ帳、奈良市法蓮町女高師北銘茶各種卸小売中西茶店野紙を使用)	昭和	—	—	縦帳	
7	85	(金円勘定簿)	卯(近代).2.28	中西	—	一紙	61~113一括
12	28	(茶摘み給はがき、新茶ご相談感謝につき)	(近代).5.23	奈良市法蓮町 上野佐五郎	奈良県山辺郡波多野村 中西喜久雄	はがき	
4	91	(日記)	(近代).6.7	—	—	縦帳	
4	41	精算書	(近代)	—	—	一紙	
4	69	出納帳	(近代)	—	—	縦帳	
4	70	出納及農経費帳	(近代)	—	—	縦帳	
4	126	肥料売渡証書	(近代)	—	—	一紙	
4	149	国庫債券一件(一括)	(近代)	—	—	一括	封筒にて6点一括
5	37	領収証入(38~43の袋)	(近代)	—	—	袋	38~43:37の袋にて一括
5	56	所在地明細帳	(近代)	中西本家	—	縦帳	

5	61	Loan Book	(近代)	K. Nakanishi	—	—	ノート	
5	67	備忘 決算米	(近代)	中西	—	—	縦帳	
5	85	国庫債券調(山辺郡波多野村、日本製茶輸出株式会社優先株メモあり)	(近代)	—	—	—	縦帳	
5	107	貸附金台帳	(近代)	—	—	—	縦帳	
5	130	国庫債券登記名変更請求書(綴)	(近代)	—	—	—	仮綴	
5	235	生計売見積書	(近代)	—	—	—	一紙	
5	247	貸借対照表	(近代)	—	—	—	一紙	
8	36	(中西家財産書上帳)	(近代)	—	—	—	縦帳	
8	79	(金銭出納簿)	(近代)	—	—	—	縦帳	
8	83	複式簿記帳(英字、一括)	(近代)	—	—	—	一括	20点一括
9	50	履歴書	(近代)	—	—	—	一紙	47~84こよりにて一括
9	86	重要書類入(一括、収入予定、負債、土地買入覚など)	(近代)	—	—	—	一括	封筒にて12点一括
10	56	浮貸記	(近代)	—	—	—	横半帳	
10	111	中西本家系譜並ニ記録の大略(コピー)	(近代)	—	—	—	コピー	
12	8	(会計帳簿、英語で記載)	(近代)	—	—	—	横帳	
14	11	収入(帳簿)	(近代)	—	—	—	縦帳	
14	12	原簿(土地など貸借表、英語)	(近代)	—	—	—	縦帳	
14	19	(手帳、金融メモ)	(近代)	株式会社三井銀行	—	—	縦帳	
17	19	売却贈本	(近代)	波多野園	—	—	縦帳	
3	238	新聞屋(裏表紙のみ)	—	—	—	—	帳はずれ	238~312ひもにて一括
3	275	(横帳断簡)	—	—	—	—	帳はずれ	238~312ひもにて一括

### 【家 教育・文化】

2	34	(中西源大夫都久花押書)	(近世)	—	—	—	一紙	
6	178	(小学初等科第四級卒業証書)	明治15.9.25	大阪府山辺郡第一学区公立春日小学校	大阪府平民 中西櫓次郎	—	一紙	
6	175	(小学初等科第三級卒業証書)	明治16.3.30	大阪府山辺郡第一学区春日小学校	大阪府平民 中西櫓次郎	—	一紙	
6	172	(賞状、修業試験(優等につき))	明治16.4.21	大和国山辺郡第一学区春日小学校	中西櫓次郎氏	—	一紙	
6	186	(小学中等科第六級卒業証書)	明治16.5.19	大阪府奈良郡役所部内第十五学区公立春日小学校	大阪府平民 中西櫓次郎	—	一紙	
6	169	(小学初等科第二級卒業証書)	明治16.10.27	大阪府山辺郡第一学区公立春日小学校	大阪府 中西櫓次郎	—	一紙	
6	166	(小学初等科第三級卒業証書)	明治17.3.30	大阪府山辺郡第一学区公立春日小学校	大阪府平民 中西櫓次郎	—	一紙	
6	164	(小学初等科卒業証書)	明治17.6.3	大阪府山辺郡第一学区公立春日小学校	大阪府平民 中西櫓次郎	—	一紙	
6	163	種痘済証書	明治18.4.17	大和国山辺郡菅生村種痘担当医 岡集平	大和国山辺郡西波多村 中西喜市郎	—	一紙	
11	59	(書状、法花村中氏老母死去につき)	明治18.6.7	治田村 市田長重郎	西波多村 中西喜市郎様	—	一紙	封筒あり
6	185	(小学中等科第五級卒業証書)	明治18.10.31	大阪府奈良郡役所部内第十五学区公立春日小学校	大阪府平民 中西櫓次郎	—	一紙	
15	2	図書目録(購入年明治18~35年)	明治18	中西氏所蔵	—	—	縦帳	

6	161	〔賞状、優等賞〕	明治19.5.16	公立春日小学校試験場採点掛五等訓導 文之進、戸長 中森基治郎	河村 大阪府奈良郡役所部内第十五学区公立春日小 学校	大阪府奈良郡役所部内第十五学区春 日小学校中等科第四級生徒 中西櫓 次郎	一紙	
6	183	〔小学中等科第四級卒業証書〕	明治19.5.16	大阪府奈良郡役所部内第十五学区公立春日小 学校	大阪府平民 中西櫓次郎	大阪府平民 中西櫓次郎	一紙	
6	162	〔賞状、定期試験学力優等につき〕	明治19.12.5	公立春日小学校試験場採点係五等訓導 文之進、戸長 中森基治郎、ほか6名	河村 大阪府奈良郡役所部内第十五学区春 日小学校中等科第三級生徒 中西櫓 次郎	大阪府奈良郡役所部内第十五学区春 日小学校中等科第三級生徒 中西櫓 次郎	一紙	
6	180	〔小学校中等科第三級卒業証書〕	明治19.12.5	大阪府奈良郡役所部内第十五学区公立春日小 学校	大阪府平民 中西櫓次郎	大阪府平民 中西櫓次郎	一紙	
9	43	家乗	明治20.12.—	西波多郎 中西櫓次郎	—	—	横半帳	
6	165	賞〔月例試業成績優秀につき〕	明治21.12.25	大和専門学校	東川櫓次郎	東川櫓次郎	一紙	
6	167	〔本校舎長任命状〕	明治21.12.—	大和専門学校	東川櫓次郎	東川櫓次郎	一紙	
9	42	所蔵書籍録	明治22.1.—	東和 中西香溪	—	—	横半帳	
10	77	家乗	明治24.5.—	大和国山辺郡波多野村大西波多 郎	—	—	縦帳	
4	39	詩歌書集	明治24	平城山東於開庵塾居 香溪山人	—	—	縦帳	
10	4	婚姻結婚納目録及初儀頂戴控	明治25	中西櫓次郎	—	—	横帳	
5	272	〔書状、近況報告につき〕	明治27.8.11	月瀬村尾山 松本嘉久造	中西櫓次郎殿	中西櫓次郎殿	一紙	252～308袋にて一括
3	370	〔書状、千太郎と結婚につき〕	明治29.2.25	波多野村 久保直次郎	大阪東区内本町二丁目御祓筋西入 中西喜市郎様、中西櫓治郎様	大阪東区内本町二丁目御祓筋西入 中西喜市郎様、中西櫓治郎様	一紙	368～435ひもにて一括、370 封筒あり
3	372	〔書状、近況報告につき〕	明治29.3.20	山辺郡波多野村 久保直次郎	大阪市内本町御祓筋西入 中西喜三 郎様、中西櫓次郎様	大阪市内本町御祓筋西入 中西喜三 郎様、中西櫓次郎様	一紙	368～435ひもにて一括
3	369	〔書状、近況報告につき〕	明治29.4.11	大字〇山 松本	大阪市内本町二丁目中西喜三郎方 中西櫓次郎殿	大阪市内本町二丁目中西喜三郎方 中西櫓次郎殿	一紙	368～435ひもにて一括
4	184	中西櫓次郎より来状入袋	明治29.8.—	—	—	—	袋	
10	22	嫁入持参荷物貰受二係り覚帳	明治32.3.23	中西なら江	—	—	横帳	
3	321	富士登山旅行記	明治33.7.—	中西香溪	—	—	縦帳	
6	259	褒賞〔優等書方〕	明治36.9.12	阿線宁教育会長從七位 佐佐木基	奈良県山辺郡春日尋常高等小学校尋 常科第二学年 中西喜久雄 九年	奈良県山辺郡春日尋常高等小学校尋 常科第二学年 中西喜久雄 九年	一紙	
4	77	年中行事	明治37.7.—	中西氏	—	—	縦帳	
10	3	故中西源太夫五十回忌法会帳	明治38.12.12	—	—	—	横帳	
10	58	故智覚童子香典帳 俗名中西三郎	明治43.12.15	—	—	—	横帳	
6	13	〔尋常小学校第二学年課程修業証書〕	明治44.3.30	奈良県山辺郡波多野村立春日尋常高等小学校	中西武之助	中西武之助	一紙	1～18包紙にて一括
6	152	〔賞状、学業優秀につき〕	明治44.3.30	奈良県山辺郡春日尋常高等小学校	尋常科二年 中西武之助	尋常科二年 中西武之助	一紙	
4	234	〔絵はがき、富士山愉快につき〕	明治44.8.3	マヌヲ	大和国山辺郡波多野村 中西櫓次郎 殿	大和国山辺郡波多野村 中西櫓次郎 殿	はがき	
6	15	〔尋常小学校第三学年課程修業証書〕	明治45.3.20	奈良県山辺郡波多野村立春日尋常高等小学校	中西武之助	中西武之助	一紙	1～18包紙にて一括
6	155	〔賞状、学業優秀につき〕	明治45.3.30	春日尋常高等小学校	尋常科第三学年 中西武之助	尋常科第三学年 中西武之助	一紙	
11	24	〔書状、盗一条につき〕	〔明治〕.7.5	柴町三丁目 中西喜三郎	大和国山辺郡西波多村 中西喜市郎 殿	大和国山辺郡西波多村 中西喜市郎 殿	一紙	封筒あり
11	17	〔書状、大坂大水につき〕	〔明治〕.7.6	京船新西入 中西喜七	大和国山辺郡西波多村 中西喜市郎 殿	大和国山辺郡西波多村 中西喜市郎 殿	一紙	封筒あり

11	22	〔書状、至急上京につき、8月8日付書状あり〕	(明治).8.7	京都神楽師新町 中西亀太郎	大和国山辺郡西波多村 中西喜一郎様	一紙	封筒あり
5	300	〔書状下書、近況報告につき〕	(明治カ).9.12	—	—	一紙	252～308袋にて一括
5	291	〔書状、胸痛など病状につき〕	(明治カ).10.31	—	岡君	一紙	252～308袋にて一括
3	375	〔挨拶状〕	(明治)	大住大三治	西波多村 中西喜市郎殿	一紙	368～435ひもにて一括、375封筒あり
3	387	〔中西喜市郎占文〕	(明治)	—	—	一紙	368～435ひもにて一括
5	284	〔消印済切手貼付一括〕	(明治カ)	—	—	一括	252～308袋にて一括、284:121点一括
5	285	〔書状下書、病気見舞いにつき〕	(明治カ)	—	—	一紙	252～308袋にて一括
5	306	〔書状、買い物につき〕	(明治カ)	—	—	一紙	252～308袋にて一括
6	10	〔尋常小学校第四学年課程修業証書〕	大正2.3.30	奈良県山辺郡波多野村立春日尋常高等小学校	中西武之助	一紙	1～18包紙にて一括
6	150	〔書状、学業優秀につき〕	大正2.3.30	春日尋常高等小学校	尋常科第四学年 中西武之助	一紙	—
6	154	〔書状、蔬菜類品評会成績二等賞〕	大正2.12.13	春日尋常高等小学校	尋常科五学年 中西武之助	一紙	—
6	151	〔書状、年間精勤につき〕	大正2.12.25	春日尋常高等小学校	尋常科五学年 中西武之助	一紙	—
7	52	結婚式覚帳	大正3.2.吉	中西喜久雄	—	横帳	—
6	149	〔書状、学業優秀につき〕	大正3.3.20	春日尋常高等小学校	尋常科第五学年 中西武之助	一紙	—
6	14	〔尋常小学校第五学年課程修業証書〕	大正3.3.30	奈良県山辺郡波多野村立春日尋常高等小学校	中西武之助	一紙	1～18包紙にて一括
6	5	〔書状、年間精勤につき〕	大正3.12.25	春日尋常高等小学校	中西武之助	一紙	1～18包紙にて一括
14	26	Note Book (歌メモ)	大正3	—	—	竖帳	—
7	9	結婚式覚帳	大正4.2.吉	中西富江	—	横帳	—
6	6	〔書状、学業優秀につき〕	大正4.3.30	春日尋常高等小学校	中西武之助	一紙	1～18包紙にて一括
6	11	〔尋常小学校教科卒業証書〕	大正4.3.30	奈良県山辺郡波多野村立春日尋常高等小学校 長 奥西亀松	中西武之助	一紙	1～18包紙にて一括
6	158	〔書状、年間精勤につき〕	大正4.12.25	春日尋常高等小学校	高等科第一学年 中西武之助	一紙	—
9	75	〔年賀はがき〕	大正5.1.1	—	—	はがき	47～84こよりにて一括
6	12	賞(成績優良につき)	大正5.1.22	山辺郡役所	春日尋常高等小学校高等科第一学年 中西武之助	一紙	1～18包紙にて一括
6	16	〔第一学年課程修業証書〕	大正5.3.30	奈良県山辺郡波多野村立春日尋常高等小学校	中西武之助	一紙	—
6	153	〔書状、学業優秀につき〕	大正5.3.30	春日尋常高等小学校	高等科第一学年 中西武之助	一紙	—
6	8	〔第四組副長任命状〕	大正5.4.1	春日尋常高等小学校	中西武之助	一紙	1～18包紙にて一括
6	157	〔書状、蔬菜類品評会三等賞〕	大正5.7.31	春日尋常高等小学校	高等科二学年 中西武之助	一紙	—
10	54	家祖中西源太夫三百年祭法会(参列者名簿)	大正5.11.2	—	—	横帳	—
10	2	長男喜正出産祝々儀控帳	大正5.12.2	中西喜久雄	—	横帳	—
6	156	〔書状、蔬菜類品評会三等賞〕	大正5.12.25	春日尋常高等小学校	中西武之助	一紙	—
9	29	結婚式覚帳 千代江嫁入	大正6.2.4	—	—	横帳	—
6	7	〔書状、成績優良につき〕	大正6.2.22	奈良県山辺郡役所	高等科二学年 中西武之助	一紙	1～18包紙にて一括
6	9	〔第二学年課程修業証書〕	大正6.3.30	奈良県山辺郡波多野村立春日尋常高等小学校	中西武之助	一紙	1～18包紙にて一括
6	18	賞(学業優秀につき)	大正6.3.30	奈良県山辺郡春日尋常高等小学校	高等科第二学年 中西武之助	一紙	1～18包紙にて一括
6	3	〔水泳修業証書〕	大正6.7.19	三重県立第三中学校校長 宇都宮虎雄	第一学年 中西武之助	一紙	1～18包紙にて一括

6	2	〔第三学期級長任命状〕	大正7.1.8	三重県立第三中学校校長 宇都宮虎雄	中西武之助	第一学年 中西武之助	一紙	1〜18包紙にて一括
6	4	〔賞状、剣道寒稽古中精励につき〕	大正7.2.11	三重県立第三中学校校長 宇都宮虎雄	—	—	一紙	1〜18包紙にて一括
4	88	備忘日記	大正7.4.25	中西	—	—	一紙	1〜18包紙にて一括
6	1	観海流泳水術中段目録	大正7.8.8	観海流本部	中西武助殿	—	一紙	1〜18包紙にて一括
6	17	〔三里半大漢試験合格証書〕	大正7.8.8	観海流教師 種村秀橘、観海流副教師 谷川甲子郎	中西武助	—	一紙	1〜18包紙にて一括
10	68	□瑞枝 [ ]	大正7	—	—	—	横帳	破損甚大にて開城不能
10	15	妙龍童女葬儀帳 俗名中西龍 亡九才	大正8.2.24	—	—	—	横帳	—
4	83	備忘日記 (大正8〜9年)	大正8.5.1	中西	—	—	一紙	—
6	159	〔第五学年課程修業証書〕	大正9.3.30	奈良県山辺郡波多野村立春日尋常高等小学校	井上おかず	—	一紙	—
4	31	懐中ノート (日記)	大正10.1.1	—	—	—	手帳	—
6	277	〔日本赤十字社正社員辞令〕	大正10.11.9	日本赤十字社総裁大勲位功二級勲仁親王、日本赤十字社長従二位勲一等 平山成信	中西ヲラ氏	—	一紙	—
4	32	懐中ノート (日記)	大正11.1.1	奈良県 中西禎治郎	—	—	手帳	—
4	238	〔年賀はがき〕	大正11.1.1	波多野村 中西禎治郎	—	—	はがき	—
17	17	〔日記、大正11〜12年〕	大正11.1.1	—	—	—	一紙	—
6	260	〔賞状、成績佳良につき〕	大正11.11.30	奈良県山辺郡役所	春日尋常高等小学校尋常科第一学年 中西露子	—	一紙	—
7	45	香典帳 俗名中西リエ	大正11.12.22	—	—	—	横帳	—
4	236	〔はがき、橋次郎母りる死去葬儀参列御礼につき〕	大正11.12.23	奈良県山辺郡波多野村 中西禎次郎	—	—	はがき	—
6	261	賞 (成績優秀につき)	大正12.3.30	春日尋常高等小学校	尋常科第一学年 中西露子	—	一紙	—
6	262	修業証書 (尋常小学校第二学年課程)	大正12.3.30	奈良県山辺郡波多野村立春日尋常高等小学校	中西露子	—	一紙	—
8	100	〔中西露子結婚費用関係一括〕	大正12.5.7	—	—	—	一括	封筒にて11点一括
2	5	〔書状、喜久雄の出たこととは心配だが、中西家のためにつき〕	大正12.5.29	—	—	—	一紙	3〜7袋にて一括
2	4	〔封筒、3の封筒カ、中西家生没年メモあり〕	(大正12カ) 9.13	喜久雄	親戚各位様	—	封筒	3〜7袋にて一括
2	3	〔書状、会社へ入って事務員勤務、有史以来の大震災に肝を潰すなどにつき〕	(大正12カ)	喜久雄	親戚各位へ	—	一紙	3〜7袋にて一括、袋上書「証書 中西喜久雄」
14	9	POCKET DIARY 1924 (新年拜賀式、第三学期始業式、皇太子殿下御成婚式など)	大正13.2.19	—	—	—	一紙	—
4	56	自大正十四年四月 通知簿 (昭和3年3月24日付五学年修業証書あり)	大正14.4.—	春日尋常高等小学校尋常科 中西喜正	—	—	一紙	—
6	276	〔賞状、学業優等につき〕	大正15.3.27	奈良県奈良市奈良第二尋常高等小学校	尋常科第四学年 中西露子	—	一紙	—
13	2	〔書状控、カーボン紙利用〕	大正15.12.2	奈良県山辺郡波多野村 中西喜久雄	—	—	一紙	—
6	217	カセット集 (新聞・雑誌広告切り抜き)	(大正末〜昭和初カ)	中西靖子	—	—	一紙	—
7	36	香典帳 俗名中西喜市郎	昭和2.2.5	—	—	—	横帳	—
7	37	香典帳 故中西喜市郎	昭和2.2.5	—	—	—	横帳	—
7	38	葬儀覚 中西喜市郎	昭和2.2.5	—	—	—	横帳	—
6	263	〔賞状、学業優等につき〕	昭和2.3.24	奈良県奈良市立奈良第二尋常高等小学校	尋常科第五学年 中西露子	—	一紙	—
6	45	通知簿	昭和2.4.—	奈良県山辺郡春日尋常高等小学校	春日尋常高等小学校尋常科 中西靖子	—	一紙	—
4	54	日誌	昭和2.8.—	中西	—	—	一紙	—

6	38	児童手帳(昭和2～3年度)	昭和2	月瀬尋常小学校 今岡瑞枝	—	手帳	
6	42	通知簿(昭和3～6年)	昭和3.4.—	奈良県山辺郡春日尋常高等小学校	春日尋常高等小学校尋常科 中西瑞枝	縦帳	
5	66	〔便箋綴、昭和3～7年〕	昭和3.11.25	奈良県山辺郡波多野村 中西喜久雄	—	縦綴	
6	43	通知簿	昭和4.4.—	奈良県山辺郡春日尋常高等小学校	春日尋常高等小学校尋常科 中西雅照	縦帳	
3	394	〔書状、金円御札、および子ども名付けにつき〕	昭和5.12.5	山辺郡波多野村 中西喜久雄	奈良市鶴福院町中西旅館内 中西楯治郎殿	一紙	368～435ひもにて一括
6	39	通知簿	昭和6.4.1	奈良県山辺郡春日尋常高等小学校	春日尋常高等小学校高等科 中西瑞枝	縦帳	
6	37	〔夏休み宿題帳〕	昭和6.8.1	春日小学校第五学年 中西靖子	—	縦帳	前欠
5	58	〔便箋綴、昭和7～14年〕	昭和7.9.2	奈良県山辺郡波多野村 中西喜久雄	—	縦綴	
5	82	日誌	昭和7	中西喜久雄	—	縦帳	
16	18	〔日記〕	昭和7	中西楯治郎	—	縦帳	
6	44	通知簿	昭和8.4.1	奈良県山辺郡春日尋常高等小学校	春日尋常高等小学校高等科 中西靖子	縦帳	
4	182	〔書状、御尊父様お悔やみにつき〕	昭和9.5.2	東京府北多摩郡小平村 東京商科大学予科事務一同	奈良県山辺郡波多野村字西波多中西喜久雄氏方 増田四郎様	一紙	封筒あり
4	183	〔書状、御尊父様お悔やみにつき〕	昭和9.5.5	鍵田忠次郎	中西喜久雄様	一紙	
7	41	葬儀覚元 俗名中西楯治郎	昭和9.5.6	—	—	横帳	
4	285	〔はがき、京城からの近況報告につき〕	昭和9.5.11	初武	奈良県山辺郡波多野村西波多 中西ナヲ様	はがき	
6	35	夏休の学習帳 高二	昭和9.8.1	中西靖子	—	縦帳	
4	239	〔はがき、近況報告につき〕	昭和9.9.8	鳥取県米子市森屋旅館 井岡光成	奈良県山辺郡波多野村西波多 中西喜久雄殿	はがき	
4	181	〔書状、中西喜久雄父死去お悔やみにつき〕	昭和(9カ)	奈良県郡山町西観音寺 駒井弥吉	山辺郡波多野村字上津 中西喜久雄様	一紙	
6	226	昭和九年夏休 書方	昭和9	高二 中西靖子	—	縦帳	
6	41	通知簿	昭和10.4.1	奈良県山辺郡春日尋常高等小学校	春日尋常高等小学校高等科 中西雅照	縦帳	
14	28	〔手帳、歌メモ〕	昭和13	—	—	縦帳	
4	190	〔増田四郎・中西英子結婚式案内状〕	昭和15.4.29	奈良県添上郡月瀬村尾山 増田勘三郎、奈良市登大路町四番地ノ三 中西栄之	山辺郡波多野村西波多 中西喜久雄様、直江様	一紙	
7	51	結婚式覽帳 瑞枝	昭和15.10.吉祥	—	—	横帳	
7	39	病氣御見舞拜受控帳	昭和18.9.17	中西喜久雄	—	横半帳	
7	46	香典帳 中西雅照	昭和20.6.5	—	—	横帳	
4	250	〔はがき、産婦人科開業報告につき〕	昭和25.12.12	東京都豊島区高松二丁目 森川産婦人科医院 森川益夫、森川満夫	奈良県山辺郡波多野村字西波多 中西喜久雄様、中西チカ工様	はがき	
4	241	〔はがき、近況、大あらしにつき〕	昭和25.9.3	奈良市鹿野園 中西直之助	山辺郡波多野村大字上津 中西喜久雄殿	はがき	
4	308	〔同窓会欠席連絡〕	昭和26.1.3	大阪市天王寺区上宮町大阪親和クラブ内 井岡駿一	中西喜正様	一紙	

4	232	〔診察報告書〕	昭和26.1.14	大阪市天王寺区上口町 井岡峻一	奈良県山辺郡波多野村大字西波多 中西喜正様	一紙	封筒あり
4	244	〔書状、達成8歳誕生祝いにつき〕	昭和26.5.24	奈良市上久保町八四〇 中西武之助	山辺郡波多野村上津 中西達成様	はがき	
3	347	備忘録	昭和27.5.-	-	-	縦帳	
4	401	修了証	昭和28.3.7	波多野村立春日小学校長 藤田喜男	第二学年 中西千加	一紙	
7	40	還暦祝御祝儀拝受帳	昭和29.1.吉	中西喜久雄	-	横半帳	
4	284	第二学級修了証	昭和29.3.10	波多野村立春日小学校長 藤田喜男	中西千加	一紙	
14	22	DIARY 1954(歌メモ)	昭和29	-	-	縦帳	
4	399	修了証(母親学校)	昭和30.3.12	波多野村立春日小学校長 藤田喜男	中西千加	一紙	
4	288	〔書状、講習会のお願につき〕	昭和31.9.30	奈良県山辺郡都祁村吐山 倉本龍	山辺郡波多野村上津 中西ちか子様	一紙	封筒あり
4	355	〔書状、近況報告につき〕	昭和31.10.8	奈良県山辺郡都祁村吐山 倉本酒造株式会社 倉本龍	中西チカ子	一紙	封筒あり
4	253	〔はがき、暑中見舞につき〕	昭和33.7.22	堺市鳳東町 竹内時計店	奈良県山辺郡山添村大字上津 中西 喜正様	はがき	
4	249	〔絵はがき、近況報告につき〕	昭和34.5.18	奈良より 浜田潤一郎	山辺山添村大字西波多野 中西喜正 様	はがき	
4	245	〔はがき、名張毒ぶどう酒事件見舞御礼につき〕	昭和36.4.5	奈良県山辺郡山添村大字葛尾 浜田潤一郎、 浜田耕作	奈良県山辺郡波多野村上津 中西喜 正様	はがき	
4	199	〔依頼状、下宿代引き上げにつき〕	昭和36.4.28	稲森清六	中西喜正様	一紙	封筒あり
4	200	〔退職挨拶状〕	昭和36.5.1	山添村春日 豊永利一	上津 中西喜正様	一紙	封筒あり
4	206	〔見舞礼状〕	昭和36.5.1	奈良県山辺郡山添村大字葛尾 濱田潤一郎	中西喜久雄様、御一同さま	一紙	封筒あり
4	262	〔はがき、近況報告につき〕	昭和36.5.7	中西達成	奈良県山辺郡山添村上津 中西喜 正・千加様	はがき	
4	269	夏季休暇中のクラブ活動等の連絡について	昭和36.7.20	三重県立上野高等学校長 福森治	奈良県山辺郡山添村上津 中西喜正 様	はがき	
4	268	〔はがき、暑中見舞につき〕	昭和36.7.28	三重県鈴鹿市船生町 都家日佐丸	奈良県山辺郡山添村上津 中西喜正 様	はがき	
4	273	〔はがき、暑中見舞につき〕	昭和36.8.5	奈良市草小路町 吉川潔	奈良県山辺郡山添村上津 中西達成 君	はがき	
4	264	〔はがき、暑中見舞につき〕	昭和36.8.8	上野市中町 西口秀子	奈良県添上郡(マ)山添村 中西 ちか様	はがき	
4	279	〔はがき、近況報告につき〕	昭和36.8.30	上野市農人町 井戸義矩	奈良県山辺郡山添村上津 中西達成 君	はがき	
4	258	〔はがき、出火見舞につき〕	昭和36.9.10	山辺郡山添村大塩 徳谷清	奈良県波多野町区内山添村上津 中 西喜正様	はがき	
4	280	〔書状、近況報告につき〕	昭和36.9.27	増田英子	奈良県山辺郡山添村上津 中西喜久 雄様、皆々様	一紙	
4	267	〔はがき、火事見舞御礼につき〕	昭和36.9.-	山辺郡山添村大塩 柳生兼太郎	山辺郡山添村大字上津 中西喜正様	はがき	
4	259	〔はがき、ズボン仕立て直しにつき〕	1961.10.2	中西達成	奈良県山辺郡山添村上津 中西千加 様	はがき	
4	266	〔はがき、引越報告につき〕	昭和36.10.12	三重県上野市東丸の内 豊永利一(慢速)	奈良県山辺郡山添村上津 中西菊麿 様	はがき	
4	96	あみだ寺俳句帳	昭和38.1.1	中西千加	-	縦帳	

4	345	〔年賀はがき〕	昭和39.元旦	白樹	波多野局区内上津 中西菊麻呂様	はがき	
4	282	〔はがき、近況報告につき〕	昭和39.6.23	上野市福居町 谷川しづ	奈良県山辺郡山添村上津 中西喜久雄様	はがき	
4	224	〔書状、除幕式参加御礼につき〕	昭和40.8.7	京都市左京区吉田中大道 鈴藤頭四郎	奈良県山辺郡山添村西波多 中西菊麻呂様、井岡光村様	一紙	封筒あり
4	260	〔年賀はがき〕	昭和41.1.1	三重県上野市東町岡三証券株式会社伊賀上野支店 中瀬勘治殿	奈良県山辺郡山添村字西波多 中西喜久雄様	はがき	
4	263	〔年賀はがき〕	昭和41.1.1	奈良県山辺郡都祁村白石茶間屋仲見園茶舗 小西一郎、小西啓隆	山添村大字西波多 中西喜久雄様	はがき	
5	1	〔書状、西本願寺別院参詣写真送付につき、写真同封〕	昭和41	東京都板橋区仲町五番地 大谷房太郎	奈良県山辺郡山添村西波多 中西喜久雄	一紙	
4	247	〔年賀はがき〕	昭和42.1.1	奈良市鹿野園 大西露子	山辺郡山添村上津 中西喜久雄様、御一同様	はがき	
4	390	〔年賀はがき〕	昭和42.1.2	耕子	奈良県山辺郡山添村上津 中西菊麻呂様	はがき	
4	240	〔年賀はがき〕	昭和42.1.4	奈良市川之上突抜北方町 山口峰玉	山辺郡山添村上津 中西菊麻呂様	はがき	
4	191	〔書状、月ヶ瀬村方面補助事業現地監査報告につき〕	昭和42.11.8	奈良県高取町清水谷 亀井教孝(淡子)	中西菊麻呂様	一紙	
4	212	〔書状、句会招待御礼につき〕	昭和42.11.9	生駒町俵口 奥野颯詠子	奈良県山辺郡山添村西波多 中西菊麻呂様	一紙	
4	257	〔年賀はがき〕	昭和43.1.1	奈良市東大寺北林院東大寺長老 狹川明俊	県下山辺郡山添村西波多 中西菊麻呂様	はがき	
5	131	〔俳画、いく歳の齡目出度き牡丹かな〕	昭和巴酉(43).初夏	菊麻呂	—	一紙	
4	255	〔年賀はがき〕	昭和44.1.1	奈良市西ノ京町薬師寺住職 高田好胤、長老 橋本凝胤	奈良県山辺郡山添村上津 中西喜久雄様	はがき	
4	354	〔年賀状〕	1968.元旦	津市江戸橋二丁目泉公舎 三重県薬事環境衛生課 久保光之助	奈良県山辺郡西波多 中西喜久雄様、豊正様	一紙	
4	248	〔年賀はがき〕	昭和44.1.2	京都市左京区吉田二本松町京都大学正門前 中西康夫	奈良県山辺郡山添村西波多 中西喜久雄様	はがき	
4	256	〔年賀はがき〕	昭和44.1.3	奈良市川之上突抜北方町 山口峰玉	山辺郡山添村上津 中西菊麻呂様	はがき	
4	397	〔年賀はがき、御題花観梅花(桜花之詩次韻) 以代履端景福之詞〕	昭和45.元旦	天の 岡崎成典	上津 中西喜久雄様	はがき	
4	398	〔年賀はがき〕	昭和45.元旦	尾山 坂西嶺月	山辺郡山添村上津 中西菊麻呂様	はがき	
4	391	〔はがき、お兄様喜寿のお祝につき〕	昭和45.3.3	東京国立市 増田四郎・瑛子	奈良県山辺郡山添村上津 中西喜久雄様、御姉上様	はがき	
4	205	〔書状、句会欠席につき〕	昭和45.10.7	歌藤一麦	県下山辺郡山添村西波多 中西菊麻呂様	一紙	封筒あり
4	204	〔書状、俳句入選、体験談依頼につき〕	昭和46.1.27	歌藤一麦	山辺郡山添村字西波多 中西菊麻呂様	一紙	
4	228	〔書状、絵画弟子入り願につき〕	昭和46.3.14	大阪市東淀川区南江口町一丁目 奥西保治郎	奈良県山辺郡山添村西波多 中西喜久雄様	一紙	
4	229	〔書状、保武海外勤務近況につき、写真あり〕	昭和46.12.4	東京都国分寺市南町1-12-17 増田四郎	奈良県山辺郡山添村西波多 中西喜久雄様	一紙	封筒あり
4	388	〔年賀はがき〕	昭和47.元旦	奈良市東大寺北林院東大寺長老 狹川明俊	県下山辺郡山添村西波多 中西菊麻呂様	はがき	

4	389	(年賀はがき)	昭和47.元旦	奈良県山辺郡山添村大字切幡 肥料農業資材 浦肥料店 浦政麿	山辺郡山添村上津 中西喜久雄様	はがき	
4	230	第十七回全国川柳作家年鑑公募要領	昭和47.1.6	神戸市長田区五位ノ池町 ふあうすと川柳社	奈良県山辺郡山添村西波多 中西菊 麻呂様	一紙	
4	185	〔書状、俳句教室新人多数お誘い御礼につき〕	昭和51.3.13	石川雅正	中西千加様	一紙	封筒あり
4	380	(年賀はがき)	(昭和).1.1	—	奈良県山辺郡添上(ㄨㄨ)村上津 中 西菊麻呂様	はがき	
4	381	(年賀はがき)	(昭和).1.1	奈良市下狹川町 土坂善平治	山辺郡山添村西波多 中西喜久雄様	はがき	
4	219	〔書状、近況報告、写真送付につき〕	(昭和).4.8	大阪府河内市若江岩田 石本文子	奈良県山辺郡山添村字上津 中西千 加江様	一紙	封筒あり
4	387	〔はがき、お礼につき〕	(昭和).8.13	奈良市鹿野園町 大西隆	山辺郡山添村上津 中西喜久雄様	はがき	
4	227	〔書状、句集御礼につき〕	(昭和).9.9	東京都国分寺市南町1-12-17 増田四郎	奈良県山辺郡山添村西波多 中西喜 久雄様	一紙	封筒あり
4	287	〔句稿一括〕	(昭和).11.25	名古屋市瑞穂区高田町泉宮中山住宅 豊永優 暲	奈良県山辺具山添村西波多 中西菊 麻呂様	一括	封筒にて7点一括
4	394	〔はがき、句集受取につき〕	(昭和).11.26	西宮市上甲子園一丁目五番六号 阿波野青敏	奈良県山添村西波多 中西菊麻呂 麻呂様	はがき	
4	386	〔はがき、菊を見て句作につき〕	(昭和).11.—	山添村中之庄 中谷淡泉	山添村字西波多上津 中西菊麻呂 雅 兄、外御一同様	はがき	
4	251	〔はがき、市民税申告につき〕	昭和.—.23	奈良市上久保町八四〇 中西武之助	山辺郡波多野村大字西波多 中西喜 正殿	はがき	
4	242	〔はがき、近況報告につき〕	昭和	京ト中釜座美川 丸正佳子	奈良県山辺郡山添村西波多 中西菊 麻呂様、御一同様	はがき	
4	254	〔はがき、下関到着につき〕	(昭和)	下関にて 耕三	奈良市法蓮町 中西菊雄(ㄨㄨ)御 一同様	はがき	
4	350	〔句会記録帳、中西菊麻呂氏古稀と金婚祝賀会など〕	(昭和)	—	—	横半帳	
5	128	〔集合写真ネガ〕	(昭和)	上野市新天地 カメラと材料・トナイ・メガ ネ 高島東郷堂	中西様	ネガ	
5	174	〔俳句稿〕	(昭和)	千加	—	一紙	
6	51	〔手紙手本・創作文・中西靖子手紙〕	(昭和)	—	—	折本	
14	25	うたの手帳	(昭和)	川魚料理旅館 平井亭	—	竖帳	
12	30	〔糞状一括、平成9～24年〕	平成9.5.25	—	—	一括	24点一括
4	237	〔はがき、近況報告につき〕	(近代).2.19	日本赤十字病院奈良支部 藤田小梅	奈良県山辺郡波多野村大字西波多 中西繪治郎殿	はがき	
4	317	○(ㄨㄨ) 倶会員名簿及副序	(近代).3.3	奈良市川之上突抜町 杉本基七	山辺郡波多野村 中西繪治郎様	一紙	封筒あり
4	339	〔書状、今日証書御入手くだされたくにつき〕	(近代).4.6	岩屋村 南忠次郎	西波多村 中西喜市郎様	一紙	
4	393	〔別府二條旅館絵はがき〕	(近代).5.11	中西靖	奈良県山辺郡波多野村西波多 中西 直江様	はがき	
4	351	〔はがき、17日夜に変更の入電ありなどにつき〕	(近代).5.12	武之助	奈良県山辺郡波多野村西波多 中西 喜久雄・母上様	はがき	
4	382	〔はがき、近況報告につき〕	(近代).7.8	武之助	奈良県山辺郡波多野村西波多 中西 喜久雄様	はがき	
4	338	〔朝鮮金剛山絵はがき〕	(近代).9.12	金剛山ニテ 武之助	奈良県山辺郡波多野西波多 中西喜 久雄様	はがき	

9	76	〔書状〕	(近代).9.16	高橋伴光	岩佐栄蔵様	一紙	47～84こよりにて一括
4	384	〔はがき、近況報告につき〕	(近代).10.9	大阪府泉南郡新家村兎田 田島元春	奈良県山辺郡波多野村西波多 中西喜正様	はがき	
4	292	〔書状、結成総会終了につき〕	(近代).10.13	赤坂	中西副会長様	一紙	封筒あり
4	379	〔はがき、近況報告につき〕	(近代).10.13	青野清吉	奈良県大和国波多野村 中西楠治郎様	はがき	
11	46	釋喜道一周忌志(金5円 包紙)	(近代).10.29	—	中西本家様、外縁家一統御中	包紙	
4	385	〔はがき、近況報告につき〕	(近代).11.25	紀伊田辺町 藤田耕三	奈良県山辺郡波多野村西波多 中西喜久雄さあ	はがき	
3	446	〔中西家伝来書〕	(近代)	—	—	豎帳	437～483包紙にて一括
3	448	〔中西家業継書〕	(近代)	—	—	一紙	437～483包紙にて一括
4	55	春日尋常高等小学校尋常科児童之種手帳	(近代)	中西喜正	—	手帳	
4	84	旅行計画	(近代)	—	—	豎帳	
4	90	〔レシビノート〕	(近代)	—	—	ノート	
4	151	婚姻届(夫月瀬村大字月瀬今岡謙次郎、妻波多野村大字西波多中西千代江、雛形)	(近代)	中西千代江、ほか5名	奈良県添上郡月瀬村長	豎帳	封筒あり
4	194	書籍目録	(近代)	—	—	一紙	
4	328	〔句稿〕	(近代)	千加	—	一紙	
4	340	〔はがき、君を襲うのは11月中旬につき〕	(近代)	大阪府泉南郡新家村兎田 田島元春	奈良県山辺郡波多野村大字西波多 中西喜正様	はがき	
4	353	〔中西源太夫逆修寿影写〕	(近代)	—	—	一紙	
5	141	書籍目録	(近代)	—	—	豎帳	
6	176	〔色紙〕	(近代)	大日本赤十字社総裁大勲位 彰仁親王	—	色紙	
7	10	〔香奠帳〕	(近代)	—	—	横帳	
7	11	覚え	(近代)	—	—	横帳	
7	53	結婚式覚え	(近代)	—	—	横帳	
7	54	〔葬式入用帳〕	(近代)	—	—	横帳	
7	150	〔感謝状・辞令一括〕	(近代)	—	—	一括	封筒にて4点一括
9	77	鹿品	(近代)	直江	—	一紙	47～84こよりにて一括
9	78	〔包紙〕	(近代)	—	御母上様へ	包紙	47～84こよりにて一括
9	81	粗品	(近代)	—	—	一紙	47～84こよりにて一括
12	26	〔山本梅逸・菊地容齋略歴〕	(近代)	—	—	一紙	封筒あり
14	13	〔知己親友録、奈良県山辺郡波多野村大字中峯山石橋孝雄改姓今本など〕	(近代)	—	—	豎帳	
14	14	〔小学校自由帳〕	(近代)	中西達成	—	豎帳	
14	16	〔手帳〕	(近代)	—	—	豎帳	
14	23	〔手帳〕	(近代)	—	—	豎帳	
14	24	〔手帳、歌メモ〕	(近代)	—	—	豎帳	
4	174	〔法要役付〕	—	—	—	一紙	
5	74	〔戒名書上〕	—	—	—	一紙	
5	75	〔戒名書上〕	—	—	—	一紙	



3	482	〔大和山林会評議員辞令〕	明治44.12.20	大和山林会々頭 若林實藏	山辺郡波多野村大字春日(マ) 中西櫓二郎殿	一紙	437～483包紙にて一括、482封筒あり
3	445	〔通知 評議員任命につき〕	明治45.4.8	大和山林会	中西櫓次郎殿	一紙	437～483包紙にて一括
3	464	〔通知、救恤にて杯下關につき〕	明治45.7.3	奈良県山辺郡波多野村村長	大字西波多 中西櫓治郎殿	一紙	437～483包紙にて一括
3	437	日本赤十字社奈良支部丹波市委員部波多野村補助分区委員辞令(一括)	明治	山辺郡波多野村役場	—	一括	437～483包紙にて一括、437開封不能
3	318	日誌(8月15日～9月27日)	(大正4年).8.15	県会議員候補者中西櫓治郎選挙事務所	—	罫帳	
4	122	県会議員当選証書	大正4.10.2	奈良県知事 木田川奎彦	山辺郡波多野村大字西波多 中西櫓治郎	一紙	
4	130	〔大饗第一日の儀案内状〕	大正4.11.1	宮内大臣男爵 波多野敬直	奈良県議會議員 中西櫓治郎殿	一紙	封筒あり
4	124	〔大札総務部委員辞令〕	大正4.11.20	奈良県知事 木田川奎彦	奈良県議會議員 中西櫓治郎殿	一紙	
9	80	〔大札記念章頒収押印提出依頼状〕	大正5.2.19	波多野村役場	県会議員 中西櫓治郎殿	一紙	47～84こよりにて一括
6	48	御願(曾尔川・目無川水利使用許可申請につき)	大正5.8.17	曾尔川電気株式会社発起人総代 中西櫓次郎	奈良県知事 木田川奎彦殿	一紙	
17	7	对奈良市議渡契約及訴訟書類入(一括、大正6～11年)	大正6.4.—	の野川電気株式会社	—	一括	35点一括
4	132	〔特別大演習終了後宴會案内状〕	大正6.11.1	宮内大臣子爵 波多野敬直	奈良県副議長 中西櫓治郎殿	一紙	封筒あり
4	148	新大和新聞第八千号記念附録 奈良県地図(中西櫓治郎広告あり)	大正6.11.10	—	—	一紙	絵図
6	24	(和束川水力電気株式会社)起業目録見書(綴)	大正6	—	—	一紙	仮綴
6	171	〔大日本蚕糸会奈良支会山辺郡委員部委員辞令〕	大正7.2.15	大日本蚕糸会奈良支会会長 木田川奎彦	中西櫓次郎氏	一紙	
6	181	〔大日本蚕糸会奈良支会副会長辞令〕	大正7.2.23	大日本蚕糸会総裁大勲位功二級 載仁親王	特別会員 中西櫓次郎氏	一紙	
17	12	官公書入(一括、大正7～10年)	大正7.5.3	の野川電気株式会社	—	一括	30点一括
17	15	大正八年三月二十三日総会一件書類(一括、委任状など、大正7～8年)	大正7.5.13	の野川電気株式会社	—	一括	10点一括
6	27	不動産売買証書	大正7.10.10	藤井吉蔵	—	一紙	
17	6	土地買収損害賠償交渉二関スル書類	大正7.10.19	の野川水力電気会社	—	一紙	
6	22	的野川河川水使用許可書及命令書謄本	大正7.12.12	奈良県知事 木田川奎彦	中西櫓治郎、松田伊右衛門、清水銀藏、ほか4名	罫帳	
16	5	株式引受申込書	大正8.2.11	の野川電気株式会社	—	罫帳	
16	7	定款	大正8.2.11	—	—	罫帳	
16	13	決議録(綴、大正8年2月11日発起人会協議事項及決定記録、同年3月23日創立総会決議録、大正14年10月26日旧重役会決議録など)	大正8.2.11	の野川電気株式会社	—	仮綴	
6	134	当座預金通帳	大正8.2.—	株式会社産業銀行奈良支店	の野川電気株式会社代表者 中西櫓治郎殿	通帳	
16	1	株主名簿 巻株 第三号	大正8.2.—	の野川電気株式会社	—	罫帳	専用箱箱書「の野川電気株式会社保存書類」
16	2	株主名簿 巻株 第壹号	大正8.2.—	の野川電気株式会社	—	罫帳	
16	16	株式引受申込書(写)	大正8.2.—	—	—	罫帳	
6	174	〔奈良県連合保護会評議員推薦状〕	大正8.3.15	奈良県連合保護会会長 木本源吉	中西櫓次郎殿	一紙	
16	3	〔の野川電気株式会社金銭出納簿、大正8～12年〕	大正8.3.23	—	—	罫帳	
16	10	検査役調査報告書	大正8.3.23	の野川電気株式会社	—	罫帳	
16	11	重役会決議録	大正8.3.23	の野川電気株式会社	—	罫帳	
16	9	決算書(財産目録、貸借対照表、損益計算書)	大正8.3.24	の野川電気株式会社	—	罫帳	

6	131	当座預金之通	大正8.3.25	合名会社松田銀行	添上郡東山村 野川電気株式会社 御中	通帳	
6	32	金銭判取帳	大正8.3.—	野川電気株式会社	—	堅帳	
10	49	第壹期分伝票	大正8.3.—	野川電気株式会社	—	横帳	
3	360	野川電気株式会社株券状	大正8.4.15	野川電気株式会社取締役社長 中西権治郎	—	一紙	
6	227	野川電気株式会社株券状拾株券(一括)	大正8.4.15	野川電気株式会社取締役社長 中西権治郎	—	一紙	同一物192点
9	19	野川電気株式会社株券証	大正8.4.15	取締役社長 中西権治郎	株主 上浦仁七郎殿	一紙	
6	19	当座小切手帳(大正8～9年)	大正8.4.23	松田銀行	添上郡東山村 野川電気株式会社 殿	堅帳	
6	146	照会通信副本(野川電気株式会社関係綴、大正8～9年)	大正8.4.—	—	—	仮綴	10点仮綴
3	329	水利使用許可申請書(起業目論見書、工事費概算書、収支予算書などあり)	大正8.5.13	野川電気株式会社发起人申請人総代 奈良 県山辺郡波多野村大字西波多 農 中西権治 郎、ほか8名	奈良県知事 木田川奎彦殿	堅帳	
6	63	契約書(目無川水利名義、東和電気株式会社へ変更につき)	大正8.5.13	東和電気株式会社創立发起人総代 村松魯三 郎、普尔川電気株式会社創立发起人総代 中 西権治郎、立会人 小柳六四郎	—	堅帳	
6	74	普爾川電気株式会社創立发起人氏名(中西権治郎ほか13名)	大正8.5.13	—	—	一紙	68～123包紙にて一括
6	56	領収証(綴、水利使用許可出願保証金)	大正8.5.16	奈良県知事 木田川奎彦	奈良県山辺郡波多野村大字西波多 中西権治郎殿	仮綴	
6	36	[東和電気株式会社发起人総代御届・委任状綴]	大正8.5.27	甲賀英逸、中西権治郎	通信大臣 野田卯太郎殿	仮綴	
6	133	[東和水力電気株式会社定款、第五章附則のみ]	大正8.5.27	—	—	一紙	
6	143	水力出願書二関する件	大正8.5.27	—	—	一紙	
6	71	日誌	大正8.5.—	普尔川電気株式会社創立事務所	—	堅帳	68～123包紙にて一括
6	233	野川電気実施工事水路実測平面图 其一	大正8.5.—	—	—	絵図	
17	23	測量及設計図(一括)	大正8.5.—	野川電気株式会社	—	一括	24点一括
6	61	契約証(普爾川水利使用につき)	大正8.6.3	—	—	一紙	
6	69	[領収証綴]	大正8.6.4	普爾川電気株式会社創立事務所	—	仮綴	68～123包紙にて一括、69： 4点仮綴
6	142	副本綴(契約証など)	大正8.6.4	普尔川電気株式会社創立事務所	—	仮綴	
17	14	工事実施認可申請書(野川水の利用につき)	大正8.6.12	奈良県添上郡東山村大字峯寺 野川電気株 式会社社長 中西権治郎	奈良県知事 木田川奎彦殿	堅帳	
6	96	(普爾川電気株式会社支出伝票・領収証綴)	大正8.6.24	—	—	仮綴	68～123包紙にて一括、96： 7点一括
6	91	記(金円受取につき)	大正8.6.30	奈良市餅鍛殿町 三橋商店	普爾川電気創立事務所御中	一紙	
6	95	証(ゴム印代金領収につき)	大正8.6.30	奈良市下御門町 梅本豊太郎	普爾川電気株式会社御中	一紙	68～123包紙にて一括
6	21	当座勘定通帳	大正8.6.—	株式会社産業銀行奈良支店	普爾川電気株式会社代表者 中西権 治郎殿	通帳	
6	101	領収証(普爾川電気株式会社創立費)	大正8.6.—	普爾川電気株式会社総代 中西権次郎	—	一紙	68～123包紙にて一括、 101：3点一括
6	89	(支出伝票一括、切手20枚900円など)	大正8.7.2	—	—	一括	68～123包紙にて一括、89： 11点一括
6	100	領収書	大正8.7.2	三重県上野町東町 保山自動車株式会社	中西権治郎様	一紙	68～123包紙にて一括



6	130	発起人総代御届(委任状あり)	大正8.11.21	東和電気株式会社発起人総代 東京市京橋区南紺屋町 甲賀英逸、奈良県山辺郡波多野村大字西波多 中西権治郎	通信大臣 野田卯太郎殿	仮綴	
6	88	預証(金100円)	大正8.12.7	曾尔川 田合喜太郎	中西権治郎殿	一紙	68～123包紙にて一括
6	105	特殊(通常小包)郵便物受領証	大正8.12.7	鶴福院 曾尔川電気会社創立事務所	田合喜太郎	一紙	68～123包紙にて一括
6	115	[田合喜太郎出資金100円など諸費勘定宛]	大正8.12.7	—	—	一紙	68～123包紙にて一括
6	62	[東和電気株式会社発起人住所取調催促状]	大正8.12.8	奈良市鶴福院町中西方 曾爾川電気株式会社創立事務所	東京電気興業株式会社名古屋支店方 村松魯三郎殿	一紙	
6	106	領収証(曾爾川電気株式会社創立費)	大正8.12.12	曾尔川電気株式会社発起人総代 中西権次郎	田合喜太郎殿	一紙	68～123包紙にて一括
6	220	電報送達紙	大正8.12.17	発局 ナコヤ ウラハタテウ、発信人 フチ(藤岡裕一)	受信局 ナラシ ツルフクイソチヨウ ナカニシリヨカン ナカニシナラジロウ	一紙	
6	55	[照会、目無川水利使用実地調査訂正につき]	大正8.12.25	奈良県	曾尔川電気株式会社発起人総代 中西権治郎殿	仮綴	
6	92	記(飲食代金領収につき)	大正8.12.26	亀佐旅館	曾尔水力電気株式会社創立事務所御中	一紙	68～123包紙にて一括
6	86	[曾爾川水電発起出願領収証・明細書綴]	大正8.12.30	高野万太郎	曾爾川水電発起人惣代 中西権次郎殿	仮綴	68～123包紙にて一括
6	232	委任状(的野川電気株式会社株券)	大正8.12.—	福田源太郎	—	一紙	
6	25	[目無川・曾爾川水利使用許可申請委任状綴]	大正8	—	曾尔川電気株式会社発起人総代 中西権治郎殿	仮綴	
6	31	(曾尔川電気株式会社発起人)脱退届	大正8	—	曾尔川電気株式会社発起人総代 中西権治郎殿	一紙	同一物3点
6	33	委任状(東和電気株式会社発起人総代へ権限委任)	大正8	東和電気株式会社発起人総代 東京市京[ ](橋区南紺)屋町 甲賀英逸	—	一紙	
6	34	(東和電気株式会社)発起人総代御届(綴)	大正8	東和電気株式会社発起人総代 東京市京橋区南紺屋町 甲賀英逸、奈良県山辺郡波多野村大字西波多 中西権治郎	通信大臣 野田卯太郎殿	仮綴	破損甚大
6	64	発起人加入御届	大正8	曾爾川電気株式会社発起人総代 中西権治郎	奈良県知事 木田川奎彦殿	一紙	同一物3点
6	102	領収証(曾爾川電気株式会社創立費)	大正8	曾爾川電気株式会社総代 中西権次郎	—	一紙	68～123包紙にて一括、102同一物2点
6	104	保証金(公債)二対又ル利子(大正8～10年度、目無川・曾尔川・神末川分)	大正8	—	—	一紙	68～123包紙にて一括
6	147	発起人総代御届	大正8	東和電気株式会社発起人総代 東京市京橋区南紺屋町 甲賀英逸、奈良県山辺郡波多野村大字西波多 中西権治郎	通信大臣 野田卯太郎殿	一紙	
6	148	発起人総代御届(委任状あり)	大正8	東和電気株式会社発起人総代 東京市京橋区南紺屋町 甲賀英逸、奈良県山辺郡波多野村大字西波多 中西権治郎	通信大臣 野田卯太郎殿	仮綴	
6	234	第四号図 河川縦断面図	(大正8カ)	—	—	絵図	
6	235	第三号図 水路一覽図 附流域面積図(控)	(大正8カ)	—	—	絵図	
6	239	奈良県添上郡柳生村・東山村東山電気水路予測平面図(綴)	(大正8カ)	—	—	絵図	
6	244	第三号図 供給区域及水路一覽図 附流域面積図	(大正8カ)	—	—	絵図	242～252袋にて一括
6	245	第二号図 水路予測平面図 附河川平面図	(大正8カ)	—	—	絵図	242～252袋にて一括
6	246	第六号図 取水口及堰堤設計図	(大正8カ)	—	—	絵図	242～252袋にて一括



6	107	〔大正9年度事務所費未済分書上〕	大正9	—	—	—	—	一紙	68～123包紙にて一括
6	125	第七号図 水槽及発電者等設計図	(大正9カ)	—	—	—	—	絵図	124～127封筒にて一括
6	126	第九号図 供給区域図	(大正9カ)	—	—	—	—	絵図	124～127封筒にて一括
6	127	第拾号図 土捨場設計図	(大正9カ)	—	—	—	—	絵図	124～127封筒にて一括
6	59	〔照会、水利使用の件提出方につき〕	大正10.1.11	奈良県	曾尔川電気株式会社創立発起人 中西橋治郎殿	曾尔川電気株式会社創立発起人 中西橋治郎殿	大和電気株式会社取締役社長 阪本仙次殿	一紙	—
6	137	〔通知、大正8年5月27日附にて曾尔村・御杖村・室生村等に電灯電力供給事業経営申請のところ、貴社出願異議なくにつき〕	大正10.1.11	東和電気株式会社発起人惣代 中西橋治郎	曾尔川電気株式会社創立発起人総代申請人 中西橋治郎	曾尔川電気株式会社創立発起人 中西橋治郎殿	大和電気株式会社取締役社長 阪本仙次殿	一紙	—
6	190	〔山辺委員部波多野村分区分区委員辞令〕	大正10.1.12	日本赤十字社奈良支部長 木田川奎彦	曾尔川電気株式会社創立発起人総代申請人 中西橋治郎	曾尔川電気株式会社創立発起人 中西橋治郎殿	中西橋治郎氏	一紙	—
6	242	神末川水利使用許可申請書添付図(袋)	大正10.3.7	曾尔川電気株式会社清算事務所	曾尔川電気株式会社清算事務所	曾尔川電気株式会社清算事務所	曾尔川電気株式会社清算事務所	袋	242～252袋にて一括
6	128	臨時株主総会召集状発送簿	大正10.4.13	曾尔川電気株式会社	曾尔川電気株式会社	曾尔川電気株式会社	曾尔川電気株式会社	仮綴	—
17	11	第四期領収書入(一括)	大正10.4.24	曾尔川電気株式会社清算事務所	曾尔川電気株式会社清算事務所	曾尔川電気株式会社清算事務所	曾尔川電気株式会社清算事務所	一括	10点一括
10	57	第四期分伝票	大正10.4.—	曾尔川電気株式会社清算事務所	曾尔川電気株式会社清算事務所	曾尔川電気株式会社清算事務所	曾尔川電気株式会社清算事務所	横帳	—
6	84	〔依頼状、当座勘定照合、記名捺印につき〕	大正10.5.14	株式会社産業銀行奈良支店	株式会社産業銀行奈良支店	株式会社産業銀行奈良支店	株式会社産業銀行奈良支店	一紙	68～123包紙にて一括
6	173	〔大日本山林会大会委員辞令〕	大正10.6.15	大日本山林会総裁大勲位功四級 守正王	大日本山林会総裁大勲位功四級 守正王	大日本山林会総裁大勲位功四級 守正王	大日本山林会総裁大勲位功四級 守正王	一紙	—
6	79	〔曾尔川保証公債覧〕	大正10.6.—	—	—	—	—	一紙	68～123包紙にて一括
6	170	〔奈良県連合保護会評議員推薦状〕	大正10.7.—	奈良県連合保護会会長 木本源吉	奈良県連合保護会会長 木本源吉	奈良県連合保護会会長 木本源吉	奈良県連合保護会会長 木本源吉	一紙	—
6	129	水利使用願書取下願	大正10.8.9	曾尔川水力電気株式会社創立発起人総代 中西橋次郎	曾尔川水力電気株式会社創立発起人総代 中西橋次郎	曾尔川水力電気株式会社創立発起人総代 中西橋次郎	曾尔川水力電気株式会社創立発起人総代 中西橋次郎	一紙	—
6	58	〔通知、名張川支流目無川並神末川水利使用許可申請書却下につき〕	大正10.8.25	奈良県	曾尔川水力電気株式会社創立発起人 中西橋次郎殿	曾尔川水力電気株式会社創立発起人 中西橋次郎殿	曾尔川水力電気株式会社創立発起人 中西橋次郎殿	一紙	—
6	97	〔通知、発起人総会延期につき〕	大正10.9.11	曾尔川創立事務所	曾尔川創立事務所	曾尔川創立事務所	曾尔川創立事務所	一紙	68～123包紙にて一括
6	80	〔発起人会案内状〕	大正10.9.15	曾尔川電気株式会社創立発起人総代 中西橋治郎	曾尔川電気株式会社創立発起人総代 中西橋治郎	曾尔川電気株式会社創立発起人総代 中西橋治郎	曾尔川電気株式会社創立発起人総代 中西橋治郎	一紙	68～123包紙にて一括
6	98	特殊(通常小包)郵便物受領証	大正10.9.15	鶴福院町 曾尔川電気	鶴福院町 曾尔川電気	鶴福院町 曾尔川電気	鶴福院町 曾尔川電気	一紙	68～123包紙にて一括
6	114	特殊(通常小包)郵便物受領証	大正10.9.15	鶴福院町 曾尔川電気	鶴福院町 曾尔川電気	鶴福院町 曾尔川電気	鶴福院町 曾尔川電気	一紙	68～123包紙にて一括
6	168	〔鉄道五十年祝典招待状〕	大正10.9.25	鉄道大臣 元田肇	鉄道大臣 元田肇	鉄道大臣 元田肇	鉄道大臣 元田肇	一紙	—
6	109	〔金銭出入覧〕	大正10.9.—	—	—	—	—	一紙	68～123包紙にて一括
6	108	〔依頼状、当座勘定照合、記名捺印につき〕	大正10.10.19	株式会社産業銀行奈良支店	株式会社産業銀行奈良支店	株式会社産業銀行奈良支店	株式会社産業銀行奈良支店	一紙	68～123包紙にて一括
6	82	〔依頼状、当座勘定照合、記名捺印につき〕	大正11.2.19	株式会社産業銀行奈良支店	株式会社産業銀行奈良支店	株式会社産業銀行奈良支店	株式会社産業銀行奈良支店	一紙	68～123包紙にて一括
6	103	キ(伊賀上野駅～名張町間代金など3円領収につき)	大正11.7.21	伊山自動車株式会社	伊山自動車株式会社	伊山自動車株式会社	伊山自動車株式会社	一紙	68～123包紙にて一括
10	59	五期分	大正11.10.—	曾尔川電気株式会社清算事務所	曾尔川電気株式会社清算事務所	曾尔川電気株式会社清算事務所	曾尔川電気株式会社清算事務所	横帳	—
16	8	曾尔川電気株式会社金銭出納覧	大正11.11.—	曾尔川電気株式会社清算事務所	曾尔川電気株式会社清算事務所	曾尔川電気株式会社清算事務所	曾尔川電気株式会社清算事務所	一紙	—
6	23	第六期事業報告書	大正11.12.25	東亜電球修理株式会社	東亜電球修理株式会社	東亜電球修理株式会社	東亜電球修理株式会社	一紙	—
4	314	〔封筒 未開封〕	大正12.3.12	奈良築地之内町 福田内蔵三	奈良築地之内町 福田内蔵三	奈良築地之内町 福田内蔵三	奈良築地之内町 福田内蔵三	封筒	—
17	18	〔日記、詩あり、大正12～13年〕	大正12.5.1	—	—	—	—	一紙	—
6	282	〔はがき、大正14年4月13日の野川電気株式会社臨時株主総会委任につき、一括〕	大正14.4.1	—	—	—	—	一紙	68～123包紙にて一括

9	36	契約書 (野川電気株式会社清算につき)	大正14.11.10	中西喜久雄	松田伊左衛門殿	一紙	33～36一括
9	33	〔野川電気株式会社関係書類〕	(大正14年)	—	—	一紙	33～36一括
9	34	財産処分 収支計帳	(大正14年)	—	—	一紙	33～36一括
9	35	財産処分 解散当時資産 収支計帳	(大正14年)	—	—	一紙	33～36一括
6	119	(曾爾川電気) 創立費受入控	(大正).6.-	—	—	一紙	68～123包紙にて一括
6	90	記(御茶料領収につき)	(大正).10.26	榎原町 旅館 油屋	上様	一紙	68～123包紙にて一括
3	349	水利使用許可申請書添付図(350～359の袋として再利用)	(大正)	曾爾川電気株式会社発起人申請人総代 中西 橋治郎	—	一紙	349～359袋にて一括
3	350	第一号図 水路一覽図 付流域面積図	(大正)	—	—	一紙	349～359袋にて一括
3	351	第五号図 水路定規図	(大正)	—	—	一紙	349～359袋にて一括
3	352	第九号図 供給区域一覽図	(大正)	—	—	一紙	349～359袋にて一括
3	353	第十号図 土捨場設計図	(大正)	—	—	一紙	349～359袋にて一括
3	354	第七号図 水路予測平面図 附河川平面図	(大正)	—	—	一紙	349～359袋にて一括
3	355	第七号図 水槽及発電所等設計図	(大正)	—	—	一紙	349～359袋にて一括
3	356	第八号図 流量測定図	(大正)	—	—	一紙	349～359袋にて一括
3	357	第六号図 取水口及堰堤設計図	(大正)	—	—	一紙	349～359袋にて一括
3	358	第三号図 水路予測縦断面図	(大正)	—	—	一紙	349～359袋にて一括
3	359	第四号図 河川縦断面図	(大正)	—	—	一紙	349～359袋にて一括
6	20	執務給与規定	(大正)	野川電気株式会社	—	一紙	袋にて33点一括 袋上書「東和電気二関又ル書類 曾爾川電気株式会社創立事務所」
6	28	重要書類入(袋)	(大正)	曾爾川電気株式会社創立事務所	—	一紙	袋にて33点一括 袋上書「東和電気二関又ル書類 曾爾川電気株式会社創立事務所」
6	49	(野川電気株式会社宛未使用領収証一括)	大正	—	—	一紙	袋にて33点一括 袋上書「東和電気二関又ル書類 曾爾川電気株式会社創立事務所」
6	60	(綴、曾爾村大字掛字古川堰堤・御杖村大字桃保字下川堰堤反別・地主名など)	(大正)	—	—	一紙	袋にて33点一括 袋上書「東和電気二関又ル書類 曾爾川電気株式会社創立事務所」
6	66	〔書状〕	(大正)	宇陀郡曾爾村 松田治郎	—	一紙	封筒あり
6	67	(曾爾川水電水利使用略地図)	(大正)	—	—	一紙	封筒あり
6	68	(サイダー・菓子代など諸代金勘定寛)	(大正)	亀左	曾爾水力電気株式会社創立事務所御中	一紙	68～123包紙にて一括 包紙上書「重要書類 曾爾村電気株式会社創立事務所」
6	70	(経費・小私・公債金書上、野川電気株式会社野紙を使用)	(大正)	—	—	一紙	68～123包紙にて一括
6	73	曾爾電発起人住所氏名(中西橋治郎ほか15名)	(大正)	—	—	一紙	68～123包紙にて一括
6	75	キ(ぶどう・ビール代など諸代金受取につき)	大正	朝日や	会社御中	一紙	68～123包紙にて一括
6	81	(曾爾川水力発電出納寛)	(大正)	—	—	一紙	68～123包紙にて一括
6	83	(依頼状、当座勘定照合、記名捺印につき)	大正	株式会社産業銀行奈良支店	曾爾川電気会社 中西橋治郎	一紙	68～123包紙にて一括
6	85	簿謝(千円、包紙)	(大正)	大和電気株式会社	—	一紙	68～123包紙にて一括
6	87	御勘定書(ビール代など)	大正	奈良市中新屋町 旅館料理 はり新	中西橋治郎様	一紙	68～123包紙にて一括
6	93	キ(創立事務所ゴム印判代金勘定につき)	(大正)	諸印章・ゴム印・附属品・名刺・名刺紙持券印商 梅本光玉堂印房	曾爾川電気株式会社創立事務所御中	一紙	68～123包紙にて一括
6	121	(曾爾川電気発起人会議次第、曾爾川電気を東和電気株式会社に変更)	(大正)	—	—	一紙	68～123包紙にて一括

6	122	発起人中出資金既納者	(大正)	—	—	—	一紙	68～123包紙にて一括
6	135	(電力) 需用見込高調書	(大正)	—	—	—	一紙	破壊甚大
6	136	起業目録見書	(大正)	奈良県山辺郡波多野村大字西波多 中西権治郎、ほか8名	—	—	縦帳	
6	141	(利益金713円決算書断簡)	(大正)	—	—	—	断簡	
6	145	利益金ト投資金ニ対スル割合告割強(電灯料金告ヶ月告灯につき)	(大正)	—	—	—	一紙	
16	6	印鑑簿(株式会社名義書換請求書などはさみ込み文書あり)	(大正)	の野川電気株式会社	—	—	縦帳	
16	15	重要事項控 財産負債計算	(大正カ)	中西権治郎	—	—	縦帳	
17	13	印鑑簿	(大正)	の野川電気株式会社	—	—	縦帳	
17	22	遺地求積図 余水路縦断面図	(大正)	—	—	—	絵図	
17	20	大札記念章之証	昭和3.11.16	賞勲局総裁正四位勲二等 天岡直憲、賞勲局書記官従五位 伊手衛	中西権治郎	勲七等	一紙	包紙あり
17	9	彰功碑除幕式記念	昭和7.1.31	産業組合中央会奈良支会長正五位勲五等 斎藤精	中西権次郎	—	縦帳	
6	187	(奈良県産業組合教育委員辞命)	昭和7.3.1	宮内大臣 一木喜徳郎	—	—	一紙	
6	47	(案内状、陸軍特別大演習終了後、大阪市歩兵第八連隊宮内賜贈場にて賜饗につき)	昭和7.11.1	—	—	—	一紙	
9	106	弔詞(故山辺郡養蚕実行組合長中西権次郎)	昭和9.5.6	山辺郡養蚕実行組合副組合長 三浦信次郎	—	—	一紙	106～115ひもにて一括、106包紙あり
9	107	弔辞(故中西権次郎)	昭和9.5.6	山城宇治銘茶株式会社代表者 松本茂雄	—	—	一紙	106～115ひもにて一括、107包紙あり
9	108	弔辞(故中西権治郎)	昭和9.5.6	立憲政友会奈良県支部長 岩本武助	—	—	一紙	106～115ひもにて一括、108包紙あり
9	109	弔辞(故中西権治郎)	昭和9.5.6	春日小学校長 富村直道	—	—	一紙	106～115ひもにて一括、109包紙あり
9	110	吊(弔)辞(故中西権治郎)	昭和9.5.6	都介野村 中尾長太郎	—	—	一紙	106～115ひもにて一括、110包紙あり
9	111	弔詞(故大和山林会理事中西権治郎)	昭和9.5.6	大和山林会々頭正五位勲四等 児玉政介	—	—	一紙	106～115ひもにて一括、111包紙あり
9	112	吊(弔)辞(故中西権治郎)	昭和9.5.6	波多野村長 中谷善吉	—	—	一紙	106～115ひもにて一括、112包紙あり
9	113	弔詞(故日本赤十字社特別社員勲七等中西権次郎)	昭和9.5.6	日本赤十字社社長正二位勲一等公爵 徳川家達	—	—	一紙	106～115ひもにて一括、113包紙あり
9	114	吊(弔)辞(故中西権治郎)	昭和9.5.6	奈良県蚕種業組合組合長 木口常治郎	—	—	一紙	106～115ひもにて一括、114包紙あり
9	115	弔詞(故奈良県養蚕業組合連合会副会長勲七等中西権治郎)	昭和9.5.6	奈良県養蚕業組合連合会長従五位 平敏孝	—	—	一紙	106～115ひもにて一括、115包紙あり
4	300	(選挙事務連絡)	(近代)11.26	高野萬太郎	中西権治郎	—	一紙	
3	466	(開披不能文書)	(近代)	日本赤十字社奈良支部長 寺原長輝	山辺郡委員部波多野村補助分区委員 中西権次郎殿	—	一紙	437～483包紙にて一括、466封筒あり
4	295	(封筒)	(近代)	県会議員候補者中西権治郎選挙事務所	—	—	封筒	同一物2点
5	122	重要書類(中西権治郎)(封筒)	(近代)	—	—	—	封筒	
6	40	□(株)主名簿(綴)	(近代)	—	—	—	仮綴	190点仮綴

6	231	委任状	(近代)	坪香熊次郎	一紙	
10	82	中西権治郎兄ノ事纏調へ	(近代)	—	整帳	
12	32	中西権治郎氏彰功碑建設記念(絵はがき、3点セット)	(近代)	—	はがき	同一物2点
13	7	東山電気水利史料出願関係図(一括、奈良県添上郡柳生村東山村流域及水路一覽図、水路予測平面図、取水河川々床縦断面図など)	(近代)	東山電気	一括	封筒にて一括

【その他】

3	125	証文普通(包紙)	天保6.12.—	下津村 武藏	—	包紙
2	33	一札入(包紙)	嘉永6.正.—	大にしむら役人共より	上津 中西御氏様	包紙
3	127	(包紙)	卯(近世カ).5.23	村 彦藏	—	包紙
2	32	証文普通(包紙、[申十月九日戻し])	未(近世)8.—	村 清之丞	—	包紙
2	27	(包紙断簡、「上津 平助 米[ ] 彦藏 忠助」)	(近世)	—	—	包紙
3	123	証文普通(包紙)	(近世カ)	大楯村 武平	—	包紙
3	126	証文普通(包紙)	(近世カ)	下津村 新藏	—	包紙
3	128	差入証文普通(包紙)	(近世カ)	葛尾村 善七	同村 清治郎	包紙
3	129	証文一通(包紙)	(近世カ)	村方より	喜左衛門殿方へ	包紙
3	131	証文(包紙)	(近世カ)	下ツ 政二郎	—	包紙
9	41	証文普通(包紙)	巳(明治2カ).3.—	片平村 栄三郎	—	包紙
3	299	証文一通(包紙)	明治8.3.10	助命村 奥中氏	—	包紙
3	308	証文之事(包紙)	明治14.10.20	添上郡石打村 宮崎嘉七	—	包紙
3	309	(包紙)	子(明治カ).1.5	助命村 奥仲直芝	—	包紙
3	311	(包紙)	卯(明治カ).12.6	□□村 西田幸治郎	—	包紙
5	304	(書状下書)	(明治カ).9.7	—	—	一紙
3	175	熨斗 鹿葉料(包紙)	(明治カ)	助命村 奥中調次郎	—	包紙
3	210	のし 鹿酒料(包紙)	(明治カ)	大西村 峠清藏	—	包紙
3	302	証書(包紙)	(明治カ)	井岡政五郎	—	包紙
3	305	弉中 中西善平治(裏表紙のみ)	(明治カ)	—	—	帳はずれ
3	310	廿錢五りん(包紙)	(明治カ)	—	—	包紙
3	413	(断簡)	(明治)	中西善平次、中西善三郎	戸長役場御中	一紙
5	262	(雑記覚)	(明治カ)	—	—	一紙
5	268	(覺断簡)	(明治カ)	—	—	断簡
5	299	(断簡)	(明治カ)	—	—	断簡
5	308	(断簡)	(明治カ)	—	—	断簡
5	250	(封筒入り開破不能文書)	(近代).12.22	—	—	封筒
4	225	要書類(封筒)	(近代)	—	—	封筒
4	325	(覺一括)	(近代)	—	—	一括
4	407	(日記断簡)	(近代)	—	—	帳はずれ

5	230	〔断簡〕	(近代)	中西龜太郎	中西繪治郎様	断簡	
7	153	〔袋〕	(近代)	—	—	袋	
9	22	〔名前書上〕	(近代)	—	—	一紙	
9	79	〔寸法書上〕	(近代)	—	—	一紙	47～84 ごとにて一括
9	84	〔今北清市郎・水野梅次郎名前書上〕	(近代)	—	—	一紙	47～84 ごとにて一括
3	296	証文普通 (包紙)	未.12-—	下津村 伊兵衛	—	包紙	238～312ひもにて一括
9	11	(包紙)	—8.12	—	中西様	包紙	
3	298	証文一通 (包紙)	—	小倉村より	上津村	包紙	238～312ひもにて一括
3	301	証文一通 (包紙)	—	下深川村 右京	—	包紙	238～312ひもにて一括
3	306	〔勘定帳断簡〕	—	—	—	帳はずれ	238～312ひもにて一括
3	378	〔書状下書〕	—	—	—	一紙	368～435ひもにて一括
3	468	御祝儀 (包紙)	—	—	—	包紙	437～483包紙にて一括

山添村文化財調査報告第6集  
山辺郡山添村大字西波多  
古文書調査報告書  
中西家文書目録・解題

編集・発行 奈良県山添村教育委員会  
奈良大学文学部史学科  
〒630-2344  
奈良県山辺郡山添村大字大西151  
TEL 0743-85-0049  
FAX 0743-85-0219  
発行年月日 令和7年(2025)6月30日  
印刷 共同精版印刷株式会社